

関川文雄氏 文書目録

通番	年号	西 暦	文 書 名	備 考
1	保延 1年	1135	関川家或名第一世覚窓玄正居士保延元年	或名を書き出したもの
2	建治 1年	1275	撰時妙 下	
3	天正 2年より 寛文 12年まで	1574	信州飯田御城主之覚	
4	天正 2年	1574	覚	一部のみ
5	(天正 3年)	1575	伝馬衆20名連名	
6	天正 14年	1586	甲陽軍鑑 七	
7	天正 10年	1582	頼貞宛行状	
8	天正 12年	1584	下伊那郡市田村関川一実所持	
9	天正 12年	1584	覚	
10	天正 12年	1584	伝馬三疋の御朱印状	
11	天正 12年	1584	伝馬三疋の御朱印状	
12	天正 12年	1584	古文書写真	(市村成人撮影) コピーも同封
13	天正 14年	1586	甲陽軍鑑 22巻	
14	文禄 2年 天正 2年 寛文 12年 正保 2年	1593	各年文書の写し	
15	文禄 3年	1594	京極修理大夫より市田駅への書状	
16	慶長 3年より 元文年間迄	1598	飯田町の出来事書留帳	十六枚
17	慶長 13年	1608	春日淡路市田宿伝馬書状	
18	慶長 19年	1614	忠右衛門外一人より弥次右衛門宛	年貢を御蔵へ納めたという受取書
19	元和 3年	1617	脇坂淡路守家臣具鍋藤左衛門より市田宿への書状	
20	元和 3年	1617	脇坂中務少輔殿より書下ケ	
21	寛永 10年	1633	覚	肝煎の連判證文
22	寛永 19年	1642	江戸島山道行	
23	正保 4年	1647	市田の内原町畑方名寄帳	
24	正保 4年	1647	市田ノ内原町畑方名寄帳	
25	正保 4年	1647	市田村ノ内伝馬町畑畑寄帳	
26	正保 4年	1647	御検地帳	市田原町上田巻反二付巻石五斗代、中田巻反二付巻石四斗代、上田巻反二付巻石三斗代、中田巻反二付巻石式斗代
27	正保 4年	1647	御検地帳 写	五人組帳・その他写
28	慶安 3年	1650	定	荷物扱其の他についておきて
29	明暦 2年	1656	脇坂淡路守家臣渡辺九兵衛より市田宿へ書状	
30	明暦 3年	1657	謹上 勘解由次官殿一和本	
31	明暦 4年	1658	御定相対貸銭覚	貸銭算出の基礎明白
32	万治 3年	1660	牛牧村御年貢納方	喜右衛門より市田、弥次右衛門へ
33	寛文 5年	1665	牛牧村御年貢納方之事	
34	寛文 7年	1667	作憑申上候御訴訟之事	市田伝馬町中より御奉行様迷惑の数々々々條書きにして
35	寛文 9年	1669	請状仕〇〇金之事	
36	寛文 11年	1671	年貢米書出し	
37	寛文 11年	1671	牛牧村ト(分)御年貢米	
38	寛文 11年	1671	借用申金子之事	
39	寛文 12年	1672	御触	條々今度御所替につき
40	寛文 12年	1672	市田伝馬町御年貢米王判帳	
41	寛文 13年	1673	覚	本駄賃荷物おきへ通し馬其の他について
42	寛文 13年	1673	定(免許書)	
43	延宝 2年	1674	永流	上市田町
44	延宝 3年	1675	荷物運びの下人中途でこわし候由二而相果候	
45	延宝 3年	1675	借用申金子之事	
46	延宝 5年	1677	仁王山争論書類	13袋に入っている
47	延宝 6年	1678	双方申合山河之事	
48	延宝 7年	1679	信州伊那郡市田郷より山吹四ヶ村山論並市田郷山吹領と大鳴三ヶ村野山境論糺明之上申付候覚	裁許状に絵図面に野山境に加印巻通づつ下置候
49	延宝 7年	1679	当毛引 上市田村	十兵衛他三人より上市田庄屋へ
50	延宝 7年	1679	覚	
51	延宝 7年	1679	信州伊那郡市田郷方 山吹領四ヶ村山論並市田郷山吹領大鳴三ヶ村野山境論糺明之上申付覚	表絵図
52	延宝 7年	1679	信州伊那郡市田郷方山吹領四ヶ村 山論並市田郷山吹領と大鳴三ヶ村 野山境論糺明之上申付覚	
53	延宝 8年	1680	永代売渡シ申畑之事	
54	天和 元年	1681	借用申金子之事	
55	天和 3年	1683	此兼掛一駄其村方馬出し飯田へ送り届べき者也	
56	貞享 2年	1685	丑ノ御種米貸渡覚帳	
57	貞享 2年	1685	口書之覚	市田清七一庄屋
58	貞享 2年	1685	借用証書	
59	貞享 3年	1686	畑御検地御改之帳	
60	貞享 3年	1686	西宮略録記	
61	貞享 3年	1686	西宮略録記	
62	貞享 4年	1687	御定納米納拂明細帳	
63	貞享 5年	1688	頭書長暦凡例	

64	元禄 元年	1688	地付山論裁許之事	信州伊那郡市田郷と同郡山吹四ヶ村
65	元禄	1688	未之三月米高割勘定帳	
66	元禄 1年	1688	庄屋と百姓の出入(争い)がなかった	
67	元禄 元年	1688	信州伊那郡市田郷と同郡山吹四ヶ村地付山論裁許之事	表絵図
68	元禄 2年 正徳 5年	1689	上市田村当流	三点
69	元禄 4年	1691	上市田村未ノ永流	
70	元禄 6年	1693	大島、飯田之の駄賃銭相渡ス所日記	
71	元禄 6年	1693	原町分米、取米書上	
72	元禄 7年	1694	乍恐口上書之覚	
73	元禄 7年	1694	乍恐以書付々御訴訟申上候事	絵図ノ裏ニ訴訟状記入
74	元禄 9年	1696	御成敗式目	自筆本
75	元禄 9年	1696	売渡シ申細之事	
76	元禄 11年	1698	寺領願之覚	地引渡し候御役人氏名
77	元禄 12年	1699	市田郷と山吹四ヶ村と山論裁許の事	
78	元禄 13年	1700	一札之事	
79	元禄 14年	1701	原町日検覚	上田、下田等
80	元禄・宝永 永・正徳以後	1701	上市田村税割賦帳	綴込四、五枚
81	元禄 14年	1701	御巡見様御通りについて	色々の準備
82	元禄 14年	1701	質物ニ相渡申田地之事	
83	元禄 14年	1701	借用申金子之事	
84	元禄 15年	1702	覚	江戸大伝馬町馬込勘解由より問屋衆中へ
85	元禄 15年	1702	畑替地手形の事	畑地交換の手形 二点
86	元禄 15年	1702	覚	溜池出来につき今後水等盗みとらぬやう
87	元禄 15年	1702	覚 一、六寸五拾六本	上市田村惣百姓より御奉行所へ
88	元禄 15年	1702	九宮之図	
89	元禄 15年	1702	相渡シ申田地之事	
90	元禄 15年	1702	相渡シ申細之事	
91	元禄 15年	1702	上市田村永引覚	
92	元禄 16年	1703	石田嘉平治(役人)より松源寺、安養寺へ	寺領地願の通
93	元禄 17年	1704	定 御触	
94	宝永 御書 出	1704	覚(牛牧村入作)	式百参拾依分春日淡路守様牛牧村分等一牛牧村入作覚
95	宝永 元年	1704	預り申金子之事	
96	宝永 元年	1704	定(免許書)	
97	宝永 2年	1705	大坂淀屋三郎左衛門欠訴之覚	大蔵七百三十戸前他、金銀の嶋五拾五羽他
98	宝永 2年	1705	売渡申田地家舗之事	
99	宝永 3年	1706	附出荷物・道筋通し馬、次馬等向後勝手次第たるべく通達	
100	宝永 3年	1706	預り申御蔵米之事	
101	宝永 3年	1706	預り申米之事	
102	宝永 3年	1706	質物ニ相渡申田地家屋舗之事	
103	宝永 3年	1706	借用申金子之事	
104	宝永 6年	1709	上市田村己改畑田相米帳	
105	宝永 6年	1709	猪之助田地地下作付覚	
106	宝永 6年	1709	借用申御蔵米之事(12月20日)	
107	宝永 6年	1709	預り申金子之事(4月5日)	
108	宝永 6年	1709	預り申金子之事(4月22日)	
109	宝永 6年	1709	借用申金子之事(12月20日)	
110	宝永 6年	1709	預り申金子之事	12月20日
111	宝永 7年	1710	預り申金子之事(3月13日)	
112	宝永 7年	1710	乍恐以上書御訴訟申上候御事(12月)	市田町外伊那各宿問屋より御奉行所へ
113	宝永 7年	1710	乍恐以上書御訴訟申上候御事(9月)	通馬と次馬、七色荷物取扱等について取扱方について願出
114	宝永 7年	1710	乍恐以上書御訴訟申上候御事(11月)	通馬と次馬、七色荷物取扱等について取扱方について願出
115	宝永 7年	1710	明川村問屋弥右衛門より宿次手形	根羽村より奥迄御問屋衆中
116	宝永 7年	1710	定	江戸下り人足参人と定、一宿にて一兩づつ道金等
117	宝永 7年	1710	宿次御訴訟	本多淡路守知行所、足助町問屋より根羽村方奥迄御問屋衆中
118	宝永 7年	1710	預り申金子之事(1月20日)	
119	宝永 7年	1710	乍恐口上書を以御訴訟申上候御事(6月)	
120	宝永 8年	1711	七色荷物	
121	正徳 元年	1711	田畑御年貢并下作付覚 上市田村	
122	正徳 2年	1712	田畑山林境改相渡帳	
123	正徳 2年	1712	書状一部	
124	正徳 2年	1712	萬覚書	辰八月ヨリ
125	正徳 2年	1712	上市田村五人組帳	欠損 虫食いあり
126	正徳 2年	1712	相渡申田地之事	
127	正徳 3年	1713	上市田村五人組帳	前書のみで百姓名なし
128	正徳 3年	1713	御上納之高帳	
129	正徳 3年	1713	御朱印の写	人足式人馬三尺外二件共正徳三年
130	正徳 3年	1713	喜三郎家屋敷並家財割賦之覚	
131	正徳 3年	1713	青表紙信州伊那郡繩張郷高之目録写	光通
132	正徳 4年	1714	長九郎火出し火消えたり	
133	正徳 4年	1714	覚	
134	正徳 5年	1715	一札の事	博奕について村内申合せの事

135	正徳 5年	1715	上市田村方永引之覚	
136	正徳 5年	1715	三輪物語自今名	
137	正徳 5年	1715	売渡申田地之事 (3月3日) 控	
138	正徳 5年	1715	売渡シ申田地之事 (3月3日) 下書	
139	享保年代方	1716	信濃国伊那郡出原村高反別帳	市田領六ヶ村分
140	享保 2年	1717	覚 御年貢差引帳	五枚
141	享保 3年	1718	用水引候二付自今以後相定一札の事	
142	享保 3年	1718	覚	原町は宿場につき商売免許の事
143	享保 3年	1718	田切町名主より御奉行所へ	諸士様御荷物は名主世話と致され度と願出
144	享保 3年	1718	中馬定書について意見書	
145	享保 3年	1718	覚 (譲り渡し証文)	
146	享保 4年	1719	仕一札の事	従前よりも御伝馬一層相勤むべきこと
147	享保 5年	1720	上市田村不作引帳	
148	享保 6年	1721	覚	上市田村寛文十二年永流相改書付差上候
149	享保 6年	1721	覚	田畑相改書上帳
150	享保 6年	1721	武士訓三	
151	享保 6年	1721	人相書	
152	享保 8年	1723	上市田村不作当引覚	
153	享保 9年	1724	庭訓往来 (複写せず)	貞享二年印刷
154	享保 10年	1725	覚	溜池出来につき市田郷より上市田村へ一札
155	享保 10年	1725	乍恐以返答書御訴訟申上候御事	訴訟人下市田村 相手瑠璃寺
156	享保 10年	1725	満々沢溜池出来につき	市田郷より上市田村に井水について一札
157	享保 11年	1726	諸色覚日記帳他	
158	享保 12年	1727	口上覚	座光寺村、千之助、介右衛門忠孝者にて召出され、御尋につき
159	享保 12年	1727	振商についてのお触	
160	享保 12年	1727	覚	伝馬、在馬、奥馬賃銀につき協定一札
161	享保 12年	1727	替地証文之事	売渡申畑之事
162	享保 12年	1727	替地証文之事	
163	享保 13年	1728	証文内金銭勘定帳	
164	享保 14年	1729	百年無尽名寄帳	
165	享保 14年	1729	無尽について上市田村中の申合せ	
166	享保 14年	1729	覚	12月22日
167	享保 14年	1729	無尽手形之事	
168	享保 14年	1729	覚	12月25日
169	享保 14年	1729	請負申御蔵米之事	
170	享保 14年	1729	定 (免許書)	
171	享保 15年	1730	無尽敷米差引帳	
172	享保 15年	1730	相渡し申田畑之事	
173	享保 15年	1730	売渡申畑之事	
174	享保 16年	1731	覚 (6枚)	
175	享保 16年	1731	上市田村當毛不作引帳	
176	享保 17年	1732	片桐町惣代より飯田御奉行所へ	片桐、市田、大場三宿は同様扱のこ
177	享保 17年	1732	御公儀より御触に付き村中申定覚	
178	享保 17年	1732	差上申一札の事	継立賃銭につき相談済の一札
179	享保 18年	1733	駿河状	関川源左衛門
180	享保 18年	1733	拝借仕御米之事	
181	享保 18年	1733	借用申米之事	
182	享保 19年	1734	仰付米高十七俵三斗九合御宥免被下旨につき連判状	
183	享保 19年	1734	寅暮貫割覚	
184	享保 19年	1734	上市田村田畑免相目録	
185	享保 19年	1734	無尽手形之事	
186	享保 19年	1734	一札之事	
187	享保 19年	1734	一札之事 (借用書)	
188	享保 19年	1734	上市田村五人組帳	寅九月 各々の持高覚
189	享保 20年	1735	請願成就神明様へ寄進帳	
190	享保 20年	1735	乍恐口上書以請願申上候御事	大瀬木村と両中村光明寺分との山論について
191	享保 20年	1735	売渡申田地之事	
192	元文 2年	1737	借用申御蔵米之事	
193	元文 3年	1738	上市田村午御年貢米納目録	
194	元文 3年	1738	預り申御蔵米之事	
195	元文 5年	1740	得替記	信州拾貳郡下券
196	元文 5年	1740	暖証文之事	大瀬木評論につき内済証文二点
197	元文 5年	1740	鳥屋原出入口之覚	他に覚二つ有 (裏)
198	元文 5年	1740	一札之事	金子三両徳請取
199	元文 5年	1740	売渡申林之事	
200	元文 5年	1740	預り申御蔵米之事	
201	元文 5年	1740	孫右衛門無尽詮義覚	
202	元文 年中	1740	伊賀羅庄松尾領鳩田村公事	天竜切込之タルコト記シアリ
203	元文 5年	1740	諸事覚日記庚申十月ヨリ	
204	元文 6年	1741	上市田村 林之覚	
205	元文 6年	1741	相渡し申田地之事	
206	寛保 元年	1741	口上	庵主空阿及庄屋三人より各村々々御願観音堂破損し建立
207	寛保 元年	1741	流鏑馬日記一走	貞治3年小笠原美濃入道直判
208	寛保 元年	1741	口上	観音堂建立につき上市田村役人より
209	寛保 元年	1741	取立申無尽証文之事	証文・定・式拾七人

210	寛保 2年	1742	覚	
211	寛保 2年	1742	稲数覚	
212	寛保 2年	1742	上市田村式割増御借リ米覚帳	
213	寛保 2年	1742	俵数飯米覚	
214	寛保 2年	1742	福寿皆無量	
215	寛保 3年	1743	諸用當座覚日記	関川光通
216	寛保 3年	1743	定(免許書)	
217	延享 元年	1744	往生成佛問答	
218	延享 2年	1745	請状の事	かやと申女子につき身元引責書
219	延享 2年	1745	預り申金子之事	
220	延享 3年	1746	指村差除被下置度願上候	上黒田村庄屋長右エ門他二十五ヶ村庄屋より御巡見様へ
221	延享 3年	1746	乍恐追放を以御願申上候	上黒田村共拾壹ヶ村加柳之御免除下さるよう
222	延享 3年	1746	乍恐以書付御訴訟申上候御事	伊那郡堀又七郎領分拾壹ヶ村助郷村より御除下さるよう願出
223	延享 3年	1746	乍恐以書付御訴訟申上候	
224	延享 3年	1746	乍恐以上書御訴訟申上候御事	仲山道四ヶ宿助人馬加村とせられたくも応じがたくにつき
225	延享 3年	1746	借用申金子之事	
226	延享 4年	1747	乍恐追放を以御願申上候	伊奈郡拾壹ヶ村より加柳之義御免除下さり度
227	延享 4年	1747	覚	駅継荷物御道具拾壹棹中損じおるもの調
228	延享 5年	1748	諸色覚日記	関川光通
229	寛延 元年	1748	預り申金子之事	
230	寛延 2年	1749	絵面覚	
231	寛延 2年	1749	絵面覚	
232	寛延 2年	1749	覚	信州善光寺御堂焼捨山 其他
233	寛延 3年	1750	午年貸借覚帳	
234	寛延 3年	1750	庚午歳諸色日記	8月～
235	寛延 3年	1750	庚午歳諸色覚	1月～
236	寛延 4年	1751	印鑑	杉本善太郎、滝舟右衛門 その他
237	寶暦 2年	1752	長石密寺 観音縁起	
238	宝暦 4年	1754	入会草場争論双方糾明之上裁断之事	上市田村・下市田村方牛牧村
239	宝暦 4年	1754	上市田村・下市田村入会草場論下知状	
240	宝暦 4年	1754	上市田村・下市田村方牛牧村入会草場争論	双方糾明之上裁断之事
241	宝暦 4年	1754	覚	博奕嚴禁の御触
242	宝暦 4年	1754	上市田村下市田村と牛牧村入会草場争論	双方糾明の上裁断の事
243	宝暦 4年	1754	壳渡申家屋敷之事	
244	宝暦 4年	1754	添證文之事(控)	
245	宝暦 4年	1754	添證文之事(下書)	
246	宝暦 5年	1755	下川路時侯両村と今田村争論訴書返答書写	
247	宝暦 5年	1755	定(問屋免許)	七通
248	宝暦 7年	1757	覚	御証文一、馬二疋の御触
249	宝暦 7年	1757	乍恐以書付入会山證文御敬願奉申上候	下村惣代 相手金野村
250	宝暦 8年	1758	大目付江定	御触の條項書上
251	宝暦 8年	1758	御触 問屋扱事務について大目付江定	
252	宝暦 12年	1762	差上申一札之事	宿役勤来りたるにより助郷役の義については御吟味くださるよう願上候
253	宝暦 12年	1762	差上申一札之事	各宿駅の経緯について述べる
254	宝暦 12年	1762	乍恐以書付奉願上候	上郷村々総百姓百姓相続の件
255	宝暦 12年	1762	中馬御儉約二付覚	
256	宝暦 13年	1763	松本、飯田出荷物書上帳	
257	明和 4年	1767	出来事等	
258	明和 6年	1769	差上申一札之事	中馬御裁許の通りと承知致すべくと御請証文差入赤須町外三ヶ町惣代
259	明和 7年	1770	往来証文の事(2枚)	
260	明和 8年	1771	一札の事	中馬荷物取扱方について申入
261	明和 8年	1771	明和～安政迄の年号	
262	明和 8年	1771	借用申金子之事	
263	明和 9年	1772	預り申候御年貢米代金之事	
264	明和 9年	1772	為取替二候一札之事	伝馬方と中馬方と双方熟談内済の一札
265	安永 2年	1773	借用申金子之事	
266	安永 3年	1774	観音堂什物改帳	
267	安永 3年	1774	申聞覚	延宝七年市田郷と山吹領四ヶ村山論并二市田郷山吹領と大島三ヶ村と野山境の裁許状の願書
268	安永 4年	1775	乍恐書付を以奉願上候御事	大島宿と市田宿間の駄賃銭引直し方につきて
269	安永 4年	1775	暖証文之事	三右衛門と上市田四人と井口新古之儀につき争論
270	安永 4年	1775	乍恐以書付奉願上候	上市田宿伝馬賃銭の儀
271	安永 4年	1775	借用申金子手形之事	
272	安永 6年	1777	御尋に付差上ヶ候書付之事	駄賃について御伺
273	安永 6年	1777	官慶一代記	途中で切断
274	安永 6年	1777	取扱口済証文の事	下市田大宮社地と長佐衛門山林との界口済証文
275	安永 6年	1777	御尋につき差上申御書付之事	宿継、人馬賃銭について
276	安永 6年	1777	来し方諸々の記	
277	安永 8年	1779	相定申為取替証文の事	串柿、竹箆等三品の扱方について
278	安永 9年	1780	一札の事	高遠町惣代より原町問屋に対して油粕六駄の取扱方についての照会
279	安永 9年	1780	乍恐以追放を奉願上候	四宿一統難決を極め居候と追訴願
280	天明 元年	1781	観音金子覚帳	
281	天明 2年	1782	保科彈正忠様御泊り入用覚	
282	天明 2年	1782	扱証文の事	問ヶ沢に堤出来につき
283	天明 4年	1784	覚 宝暦四年御裁許の御証文	
284	天明 4年	1784	乍恐奉願上候口上書之事	身元引請の一書

285	天明 5年	1785	借用申金子手形之事	
286	天明 6年	1786	覚	宝暦四戌年六月御裁許状請取書
287	天明 6年	1786	今年年不作につき村中申合の覚	
288	天明 6年	1786	差上申一札之事	御城付御用米納の儀につき
289	天明 6年	1786	上市田村午不作当毛引帳	
290	天明 7年	1787	御役所より被仰渡候儉約御触書村方申渡請印帳	
291	天明 8年	1788	出入暖内済証文之事	雲龍院殿墓地管理について
292	寛政 3年	1791	五ヶ村石割	
293	寛政 4年	1792	大嶋山川井水争論斜明之上裁許之事	吉田・大嶋山・牛牧村・下市田両村の争論
294	寛政 4年	1792	大嶋山川井水論裁許書(袋のみ)	奉願上候大嶋山川井口分木之事
295	寛政 4年	1792	大嶋山川井水札明の上裁許之事	牛牧村と上市田村下市田村
296	寛政 4年	1792	伝馬御免件証文写	
297	寛政 4年	1792	飯田藩武士名一部	
298	寛政 4年	1792	金子借用申証文之事	
299	寛政 5年	1793	田地替地証文之事	替地主源左衛門
300	寛政 5年	1793	書為替一札之事	宝暦四年裁許状について
301	寛政 5年	1793	書為替一札之事	宝暦戌年御裁許証文について
302	寛政 5年	1793	書為替一札之事	
303	寛政 5年	1793	書為替一札之事	
304	寛政 5年	1793	書為替一札之事(写)	上市田村宛
305	寛政 5年	1793	書為替一札之事(写)	下市田村宛
306	寛政 6年	1794	借用申金子証文之事	
307	寛政 7年	1795	御本丸御用印形写	
308	寛政 8年	1796	一札之事	金五両拝借につき畑式杖質物として差入候
309	寛政 8年	1796	乍恐以上書奉御訴訟申上候	山論につき御領地の者召出されて吟味下さるよう願出
310	寛政 8年	1796	野山草場之入会をめぐって	龍ノ口村長百姓左源太他14名より御役所へ
311	寛政 9年	1797	奇談榊草紙 巻之五	
312	寛政 9年	1797	奇談榊草紙 巻之四・五	
313	寛政9年 天保10年	1797	覚	本馬・軽尻・人足の計
314	寛政 12年	1800	借用申金子之事(一) 借用申御蔵米金子之事(二)	
315	寛政 13年	1801	差上申口上書之事	
316	享和 2年	1802	添書一札之事	
317	享和 2年	1802	質入ニ相渡証文之事	
318	享和 3年	1803	借用申金子之事	
319	文化 元年	1804	取暖手形之写	大嶋山川井口普請和談相整証文取かわせ
320	文化・文政・天保・弘化・嘉永	1804	上市田村御年貢納通	
321	文化 2年	1805	扱内済一札之事	井筋の義につき内済の一札
322	文化 3年	1806	譲渡申加之事	
323	文化 3年	1806	譲渡申加之事	
324	文化 3年	1806	借用仕候金子之事	
325	文化 4年	1807	常盤潤助様御園の垣に付	竜の口村惣代外三ヶ村惣代より御役所へ御返答
326	文化 4年	1807	乍恐以上書付御訴訟奉申上候	一里塚掘取除くよう御吟味下さられたく座光寺さまへ
327	文化 4年	1807	乍恐以上書付申上候	平吉兄弟を孝行者として御届
328	文化 4年	1807	乍恐以上書付奉願上候	一里塚そば道路面について
329	文化 4年	1807	乍恐以上書返答申上候御事	常盤潤輔様御園の垣について
330	文化 4年	1807	乍恐以上書付奉願上候	常盤潤輔の排御差留め下さるよう願出
331	文化 4年	1807	拝借仕御蔵米之事	
332	文化 4年	1807	乍恐以上書付奉願上候	常盤潤輔の領内排御差止められ度願出
333	文化 5年	1808	二番 年内役向馬日記覚帳	
334	文化 6年	1809	上市田村江貸金滞出入	享和二年覚渡借主上市田村三役人金九拾兩也
335	文化 6年	1809	村内申合儉約の事	
336	文化 6年	1809	乍恐以上書付奉願上候	役所へ
337	文化 6年	1809	御尋ニ付申上候口上之覚	
338	文化 7年	1810	人馬雜立書抜帳	
339	文化 7年	1810	奉願上候大嶋山川井口分木之事	
340	文化 7年	1810	譲渡申田地之事	
341	文化 7年	1810	借用申金子之事	
342	文化 7年	1810	借用仕候金子之事	
343	文化 8年	1811	借用申金子之事	借用人源左衛門
344	文化 8年	1811	人馬雜立書抜帳控	
345	文化 8年	1811	乍恐以上書付奉願上候	下市田村文平より御代官所へ相手方召出し御吟味下さるよう願出
346	文化 8年	1811	壳渡申田地之事	
347	文化 8年	1811	上市田村御上納持高帳	
348	文化 8年	1811	御代官所への願文	(前面切れている)
349	文化 8年	1811	文化八年の袋のみ	
350	文化 8年	1811	借用申金子之事	
351	文化 9年	1812	人馬雜立書抜帳	
352	文化 9年	1812	一札之事	新道普請金の内請取書
353	文化 10年	1813	御用状御先触帳	市田駅問屋
354	文化 10年	1813	一札之事	大嶋山村と吉田村との出入和談となる
355	文化10、11、12年	1813	三ヶ年間問屋場人馬入用メ高	
356	文化 10年	1813	中仙道加助郷につき市田郷より願出	
357	文化 11年	1814	乍恐以上書付を以て奉願上候口上事	中仙道四駅の御伝馬、助郷等御免除につき御添輪下さるよう

358	文化 11年	1814	人馬雜立書扶帳控	
359	文化 11年	1814	乍恐以書付奉候口上の事	上郷十一ヶ村より御奉行所へ仲仙道四宿より指郷仕る由承及び候
360	文化 11年	1814	送り切手の事	座光寺庄屋より上市田庄屋へ
361	文化 12年	1815	乍恐以書付奉願上候御事	閑屋源左衛門より御役所へ借金滞出人喜右工門外四人へ返済するよう
362	文化 12年	1815	以追訴奉願上候口上書御事	中仙道木曾郷宿へ加村之義御免除下され度
363	文化 12年	1815	乍恐以追訴奉願上候口上書御事	難波につき助郷に加村下されまじく願上
364	文化 12年	1815	人足雜立書上帳	
365	文化 12年	1815	乍恐以書付奉申上候	中仙道三ヶ宿御伝馬助郷御免下さるよう願上候
366	文化 12年	1815	乍恐以書付奉申上候御事	御伝馬助郷の儀免除下さるやう願出
367	文化 12年	1815	乍恐以書付奉申上候御事	上郷十一ヶ村より中仙道四宿の加郷村々に指定されるも出来難きにつき
368	文化 12年	1815	乍恐以書付奉申上候御事	中仙道四宿の加助郷仰付られて百姓成り難く誠に歎数につき、原町宿役人より
369	文化 12年	1815	乍恐以書付奉申上候御事	中仙道四宿の加助郷仰付られては百姓成り難く誠に歎数につき
370	文化 12年	1815	譲渡申地所之事	
371	文化 12年	1815	萬宝古状揃大全	
372	文化 12年	1815	奉差上候一札之事	
373	文化 14年	1817	乍恐以書付奉申上候	道中御奉行所宛の代助郷御免除方願書
374	文化 14年	1817	乍恐以書付奉願上候御事	木曾四宿助郷御免除下さる願出
375	文化 14年	1817	覚	四ヶ宿の助郷仰付られたる三拾貳ヶ村より差入たる証書の請書
376	文化 14年	1817	乍恐以書付奉申上候	代助郷御免下さる様願上
377	文化 14年	1817	和暦江戸時代	十三冊
378	文化 15年	1818	御触	博奕其他につきて
379	文化 15年	1818	譲渡申加之事	
380	文政 2年	1819	乍恐奉願上候口上書之事	(大鳴山川水割) 分木御建置き下さるよう御願
381	文政 2年	1819	乍恐以書付奉願上候	手軽な踊等仕度願出
382	文政 2年	1819	乍恐以書付奉願上候御事	木曾半高助郷勤むべき様仰付られ候も
383	文政 4年	1821	乍恐以書付奉願上候	上市田御伝馬役屋敷一同より追分新田にての止宿について願出
384	文政 4年	1821	乍恐以書付奉願上候御事	新田村においてこの後はかこかう志ん馬等致さぬやう
385	文政 4年	1821	乍恐以書付奉願上候	新田村にて旅人宿等致さぬやう市田役所へ願出
386	文政 4年	1821	乍恐以書付奉願上候事(二通)	追分・新田等にて旅宿仕る甚だ不都合につき
387	文政 4年	1821	覚	
388	文政 4年	1821	金子借用申證文之事	
389	文政 5年	1822	飯田大火の記事	
390	文政 6年	1823	乍恐以書付奉願上候	片桐宿役人より御伝馬の役御免除下さるよう願上
391	文政 7年	1824	木曾助郷村之石高人足高帳	
392	文政 7年	1824	乍恐以書付御覽奉申上候	(前半虫喰い多し) 宿方助郷村々困窮賃増願上げ
393	文政 9年	1826	差出申書付の事	古来の道に御添直しの時は入用金御引請申すべくと市田、片桐、大島三宿より
394	文政 9年	1826	乍恐以口上書奉願上候御事	田地五枚代金支拂うよう御奉行所へ訴出
395	文政 9年	1826	乍恐書付を以奉願上候御事	
396	文政 9年	1826	帯刀御免御剪紙(五通)	
397	文政 9年	1826	譲り渡申田地證文之事(下書き)	正月
398	文政 9年	1826	譲り渡申田地證文之事(下書き)	正月
399	文政 9年	1826	譲り渡申田地證文之事(下書き)	正月
400	文政 10年	1827	乍恐以書付奉願上候	賃銭永く相増下サルべく願上
401	文政 10年	1827	差上申一札之事	手軽踊身の者頼み興行仕り度
402	文政 10年	1827	盆前上市田村不時入用割合帳	
403	文政 10年	1827	上市田村村役賃銭割合帳	
404	文政 10年	1827	上市田村不時貫割合帳	
405	文政 10年	1827	盆前上市田村木曾伝馬賃銭割合帳	
406	文政 10年	1827	暮上市田村村役賃銭割合帳	
407	文政 10年	1827	暮上市田村本貫割合帳	
408	文政 10年	1827	盆前上市田村本貫割合帳	
409	文政 10年	1827	御寄付之帳	
410	文政 10年	1827	借用申金子之事	
411	文政 10年	1827	乍恐以書付奉願上候	飯田・市田両宿からの賃銭割増の願出
412	文政 11年	1828	出火類焼二付御見舞受納覚	
413	文政 11年	1828	草木採種録	絵図になっておる
414	文政 11年	1828	御触書	
415	文政 11年	1828	頼母子口数定帳	
416	文政 11年	1828	年内入用覚	
417	文政 11年	1828	家作二付当座覚帳	
418	文政 11年	1828	観音堂入用諸色帳	
419	文政 11年	1828	御用先触帳	
420	文政 11年	1828	観音堂再建募録席	
421	文政 11年	1828	観音堂再建勸化帳	
422	文政 11年	1828	地所譲り渡し申證文之事	
423	文政 11年	1828	郷蔵普請募録帳	上市田村役所
424	文政 12年	1829	差上申済口証文之事	篤島名主半次外三人より伊奈郡宿外十二宿相手取った訴訟は内済となり
425	文政 12年	1829	一札の事	水神社修葺につき一札
426	文政 12年	1829	御用先触帳	
427	文政 13年	1830	飯田宿市田宿両宿役人代飯田宿年寄兼組頭久左衛門より御奉行所へ願出	割増賃銭の嘆願
428	文政 13年	1830	定	市田宿当寅年九月より五ヶ年間賦賃並に人足賃銭四割増也 奉行
429	文政 13年	1830	飯田、市田の間の御伝馬賃銭増願	
430	文政 13年	1830	観音堂再建勸化諸色帳	
431	文政 13年	1830	乍恐以書付奉願上候	中馬隊について

432	文政 13年	1830	乍恐以上書奉願上候	御代官所へ
433	文政 13年	1830	仮名御手本	寺子屋教材
434	文政 13年	1830	仮名御手本	寺子屋教材
435	文政 13年	1830	拝借金之事	
436	天保 1年	1830	記(出生届)	
437	天保 2年	1831	乍恐以上書奉願上候	髮結所設置致し度願出
438	天保 2年	1831	観音堂再建勅化帳	
439	天保 2年	1831	観音堂勅化帳 北方・大瀬木・山村・一色・毛賀・下殿岡・名古屋・駄科・島田・永野原	
440	天保 2年	1831	御用並諸士方先触控	
441	天保 2年	1831	乍恐以書付御訴認奉申上候 (原本)	
442	天保 2年	1831	取暖一札之事	
443	天保 2年	1831	寺送り一札之事	大河原香松寺より別嬪村経蔵寺へ
444	天保 2年	1831	請渡申一札之事	
445	天保 2年	1831	乍恐以上書奉願上候御事	
446	天保 2年	1831	借用申金子之事	
447	天保 2年	1831	借用申金子證文之事	
448	天保 3年	1832	問屋御免隠居被仰付跡役九兵衛被仰付為祝儀受納控帳	
449	天保 3年	1832	差上申御請書之事	内藤新宿よりの御達 (御触) の請書
450	天保 3年	1832	観音堂再建諸色付	
451	天保 3年	1832	普請二付見舞并諸事覚帳	
452	天保 3年	1832	御用並諸士方先触控	
453	天保 3年	1832	詩歌御手本	
454	天保 3年	1832	江戸往来跡書	自筆本
455	天保 3年	1832	江戸往来御手本	寺子屋教材
456	天保 3年	1832	年済金證文之事	
457	天保 4年	1833	御用状御先觸控帳	傳馬関係書類
458	天保 4年	1833	御用状御先觸控帳	
459	天保 4年	1833	観音堂再建勅化帳	伝馬帳・知久町・大横町など
460	天保 4年	1833	覚 七通	
461	天保 4年	1833	此近年諸国とも豊作なき故米價先高直也・・・	
462	天保 5年	1834	宿場取針方御辱二付乍恐以書付口上書申上候	関川源左衛門より下郷御代官所へ
463	天保 5年	1834	往来証文	御勘定奉行所出役小仏御間所へ
464	天保 5年	1834	覚書	当市田沢大火文政十一年正月廿三日
465	天保 5年	1834	御用状御先觸控帳	正月大吉
466	天保 5年	1834	牛牧井口御願書	
467	天保 6年	1835	乍恐以上書奉願上候	飯田及び、市田宿より貨銀割増の義
468	天保 6年	1835	御用状御先觸控帳	正月大吉日
469	天保 6年	1835	乍恐以書付奉願上候	木曾御伝馬代助御敬免下され度
470	天保 6年	1835	乍恐以書付奉願上候御事	木曾御伝馬の儀御敬免下され度
471	天保 6年	1835	披報転輪記 卷上	
472	天保 6年	1835	愚狐三國伝記 七・八・九	
473	天保 6年	1835	御見舞受納帳	
474	天保 6年	1835	大鳴郷名子村宗門人別改帳	
475	天保 7年	1836	三州大樹寺御使僧御下りの節過遣人足賃拂戻請取帳	
476	天保 7年	1836	御年貢米納通	
477	天保 7年	1836	御請負証文之事	御松米について御上納いたすべき請書
478	天保 7年	1836	御用状御先觸控帳	申二月二日
479	天保 7年	1836	送り一札の事	上平村庄屋より上市田庄屋へ
480	天保 7年	1836	御請負証文之事	代官所へ
481	天保 8年	1837	御用状御先觸字帳	
482	天保 8年	1837	御年貢米納通	
483	天保 8年	1837	往来手形之事	安養院より所々間所へ
484	天保 8年	1837	乍恐以書付奉願上候	継立荷物少くなり不景気について
485	天保 8年	1837	御粥米頂戴仕候	
486	天保 8年	1837	新規白灰荷問屋御願書一通	
487	天保 8年	1837	御用状御先觸字帳	酉極月吉日
488	天保 8年	1837	御用状御先觸字帳	酉八月吉日より
489	天保 8年	1837	観音作徳請入用指引帳	
490	天保 8年	1837	中山観世音記	
491	天保 8年	1837	寿明姫様御用興被仰付之高	
492	天保 8年	1838	曆	
493	天保 9年	1838	御年貢米納分について和談の一札	
494	天保 9年	1838	御触	御巡見様罷越につきて
495	天保 9年	1838	御料御巡見様御先觸字帳	十七日片桐町泊宿、十八日休飯田城下泊駒場
496	天保 9年	1838	御料御巡見御通行二付在方江差図帳	上郷写置控遺徳のないよう村中へのおふれ書き
497	天保 9年	1838	人馬雜立帳	
498	天保 9年	1838	上郷往還筋町数相改書上帳	
499	天保 9年	1838	井筋裁許状に對す御願	
500	天保 9年	1838	上市田村御上納持高帳	
501	天保 9年	1838	観音作徳御入用指引帳	
502	天保 9年	1838	伊勢宮普請入用帳	

503	天保 9年	1838	御用状御先触写帳	
504	天保 9年	1838	御触書写	
505	天保 9年	1838	一札之事	喜右衛門の養子より
506	天保 9年	1838	御巡見様御通行入用	
507	天保 9年	1838	御巡見様御通行諸色書附袋	国役銭取集覚外
508	天保 10年	1839	道中記	伊勢街道、西国順礼大和、京大阪開川
509	天保 10年	1839	御用状御先触控帳	
510	天保 10年	1839	上市田村亥村役勤差引帳	
511	天保 10年	1839	基本貫元割合帳	
512	天保 10年	1839	借用申米證文事	
513	天保 10年	1839	天保十亥暮不時貫割合帳	
514	天保 10年	1839	上市田村亥盆前不時貫割合帳	
515	天保 11年	1840	盆前覚帳	
516	天保 11年	1840	乍恐以書付奉申上候口上書之事	宿継立駄賃割増し御付けられ度願出
517	天保 11年	1840	御年貢米納通	
518	天保 11年	1840	子年村高人馬家数取調覚	天保十一年より嘉永三年ニイタル戸数、人馬数等
519	天保 11年	1840	観音堂造作日記帳	
520	天保 11年	1840	御用状御先触立帳	
521	天保 11年	1840	御用状御先触写帳	2月大吉
522	天保 11年	1840	御用状御先触控帳	
523	天保 11年	1840	御用状御先触写帳	11月吉日
524	天保 11年	1840	大嶋川端御林捨子入用帳 上市田村	
525	天保 12年	1841	荒神左屋観音造作入用割合帳	他一綴
526	天保 12年	1841	借用申米證文之事	米式儀也
527	天保 12年	1841	借用申米證文之事	米三俵三斗也
528	天保 12年	1841	観音堂什物施主帳 観音堂普請残木入札帳	天保13年(1842)
529	天保 12年	1841	上市田村貫帳	
530	天保 13年	1842	禪宗門御改帳	
531	天保 13年	1842	縁談並諸色願書写帳	
532	天保 13年	1842	一世一代浄瑠璃会目録請納帳	
533	天保 13年	1842	口上書	上市田村役人氏名
534	天保 13年	1842	御公儀様儉約御触	婚礼其の他日常生活
535	天保 13年	1842	御用状御先触控帳	寅二月大吉日
536	天保 13年	1842	御用状御先触写帳	己極月吉祥日
537	天保 13年	1842	邑用金貸付名前帳	(二冊)
538	天保 13年	1842	上市田村不時貫割合帳	
539	天保 13年	1842	御改二付役人共名前書上帳下書	
540	天保 13年	1842	譲渡し申金子證文之事	
541	天保 14年	1843	上市田村御上納當時持高帳	間屋庄屋兼帯関川源左衛門控
542	天保 14年	1843	御年貢米勘定帳	
543	天保 14年	1843	御用状御先触控帳	
544	天保 14年	1843	御用状御先触写帳	
545	天保 14年	1843	御達書之写	堀大和守様より立木伐取りについて
546	天保 14年	1843	御村金違名改帳	
547	天保 14年	1843	見世日記帳	
548	天保 14年	1843	往主要集巻之下	
549	天保 14年	1843	御祝儀受納帳	三拾一代嫡子関川弥次右衛門光定
550	天保 14年	1843	諏方本宮下社御奇附	
551	天保 14年	1843	借用申米證文之事	
552	天保 14年	1843	米證文一札之事	借用人平八
553	天保 14年	1843	借用申米證文之事	
554	天保 14年	1843	米證文一札之事	借用人長右衛門
555	天保 14年	1843	従公儀御觸書写帳	上市田村扣
556	天保 15年	1844	村送り状	
557	天保 15年	1844	乍恐奉願上候口上書之事	上市田村より御奉行所へ伝馬役につき誠に難渋につき御助米志人につき米一俵づ、御下渡くださるよう
558	天保 15年	1844	乍恐以書付奉願上候口上書之事	村方産土神火を焚き速惑な一件
559	天保 15年	1844	御宮建立諸入用割合	
560	天保 15年	1844	乍恐以書付奉願上候、口上書之事	御伝馬役軒へ米志俵づつ御免許下され度
561	天保 15年	1844	禪宗門御改帳	法宗宗、浄土宗、家数改帳
562	天保 15年	1844	御宮入用帳	
563	天保 15年	1844	宗旨送り一札之事	玉川寺より長光寺
564	天保 15年	1844	本朝年代記	
565	天保 15年	1844	天保十五亥基本貫帳	
566	天保 15年	1844	譲渡し申證文之事	
567	弘化 元年	1844	御幕送の列	三条左大臣以下約八十余名列記す
568	弘化 2年	1845	上市田村巳御年貢米納目録	
569	弘化 2年	1845	乍恐奉願上候口上書之事	伝馬町一丁目外より(総代)伝馬賃銭割増十ヶ年据置と致され度御奉行所へ願出
570	弘化 2年	1845	乍恐奉願上候口上書之事	従米十六俵のところ難渋につき一人一俵づ、御下げくださるよう願上
571	弘化 2年	1845	神中雲上便覧	東宮御所、桂殿、閤院殿外
572	弘化 2年	1845	御用状御先触控帳	
573	弘化 2年	1845	弘化二巳暮諸色入用覚帳	

574	弘化 2年	1845	人足、軽尻馬、本馬出し数	
575	弘化 2年	1845	米證文一札之事	
576	弘化 2年	1845	米證文事	
577	弘化 2年	1845	譲渡申古屋敷 ⁿ 家志軒畑志枚證文事	
578	弘化 2年	1845	申定一札之事	惣右衛門屋敷に旅籠屋はじめ度願出
579	弘化 3年	1846	浄土宗門御改帳	
580	弘化 3年	1846	巴賄帳	
581	弘化 3年	1846	六ヶ村入用並ニ取替金控	
582	弘化 3年	1846	召上地御引渡しニ付入用覚帳	
583	弘化 3年	1846	差上申済口証文事	出原村たみと上市田村弥十と内済となる一札
584	弘化 3年	1846	覚	威銃鉄砲所持届 御代官所へ
585	弘化 3年	1846	乍恐以書付奉願上候	御陣屋御造営の際は御用達仕るべく申出
586	弘化 3年	1846	上市田村高反別帳	
587	弘化 3年	1846	御用状御先触控帳	
588	弘化 3年	1846	幕費大調帳	
589	弘化 3年	1846	従御領主様被仰渡候御條目奉承知村中御請連印帳	
590	弘化 3年	1846	上市田村中なれ合のこと	
591	弘化 3年	1846	上市田村林帳	
592	弘化 3年	1846	上市田村役人より御領主様へ願出	火災、凶作打続き困窮致し居候につき陣屋造営工事に御手伝さして戴き度願出
593	弘化 3年	1846	禪宗 穢多宗門帳	
594	弘化 3年	1846	御年貢管済目録	
595	弘化 3年	1846	永流御届書 上市田村	
596	弘化 3年	1846	関川庄屋への文章	前が切れていて題が無い
597	弘化 3年	1846	御伝馬色々割増見書之衣	袋のみ
598	弘化 3年	1846	奉願上候口上書之事	
599	弘化 3年	1846	乍恐以書付奉申上候返答書之事	穢多商売立行様願い上げ
600	弘化 3年	1846	陣屋御造営廻文	大工永之丞
601	弘化 3年	1846	借用申年賦金證文之事	借用人片桐町保兵衛、乙次郎、勇次郎
602	弘化 3年	1846	借用申年賦金證文之事	借用人片桐町彦四郎、八五郎、甚左衛門
603	弘化 3年	1846	御尋ニ付申上候口上書	市田宿門屋関川源左衛門
604	弘化 3年	1846	御尋ニ付申上候口上書	関川家の由緒・経歴
605	弘化 4年	1847	村方明細書	上市田村
606	弘化 4年	1847	村方明細書	上市田村
607	弘化 4年	1847	村方明細書 吉田村	
608	弘化 4年	1847	村方明細書 出原村	
609	弘化 4年	1847	村方明細書 大嶋山村	
610	弘化 4年	1847	寺子謝礼控帳	
611	弘化 4年	1847	禪宗門御改帳	
612	弘化 4年	1847	乍恐以書付奉願上候	次郎右衛門より弟喜代太部分家届
613	弘化 4年	1847	御陣屋御門前田所御届	
614	弘化 4年	1847	申定一札の事	惣右衛門宿内に家作旅籠屋はじめ度願出
615	弘化 4年	1847	申定一札の事	小次郎役屋敷外にて旅籠屋相許したるも今後は許させまじく申定
616	弘化 4年	1847	乍恐以書付奉願上候	難渋につき早福刈御免下され度願出
617	弘化 4年	1847	御年貢米割判帳	
618	弘化 4年	1847	御用状御先触控帳	
619	弘化 4年	1847	急御用廻文御触	
620	弘化 4年	1847	盆前本買帳 上市田村	
621	弘化 4年	1847	幕本買割帳 上市田村	
622	弘化 4年	1847	郷藏庭帳 上市田村	
623	弘化 4年	1847	覚と譲渡申林・墓所證文之事	
624	弘化 4年	1847	人足、馬割当 覚	
625	弘化 4年	1847	宗門人別御改帳 名子村	
626	弘化 4年	1847	道中日記帳	
627	弘化 4年	1847	三ヶ年調々出し覚	
628	弘化 4年	1847	村方明細書	上市田村
629	弘化 5年	1848	御用状御先触控	
630	弘化 5年	1848	髪結床登起人名前帳	
631	嘉永一慶応	1848	村送り・寺送り二六点	
632	嘉永頃	1848	往来手形3件	
633	嘉永 元年	1848	以書付奉申上候	市田宿継立人馬賃銭勘定書
634	嘉永 元年	1848	乍恐以書付奉願上候	定助郷の義御除き下さるよう願出
635	嘉永 元年	1848	中馬出入一件ニ付立入済口帳	名子村外拾壹ヶ村と吉田、牛牧兩村と中馬稼場所について
636	嘉永 元年	1848	御触	牧田貫一郎様御改名して平兵衛
637	嘉永 元年	1848	中山道和田宿備日ニ立人馬助郷十五ヶ村李御請一件	
638	嘉永 元年	1848	道中日記帳	江戸表行き
639	嘉永 元年	1848	差上申御請書之事	
640	嘉永 元年	1848	乍恐以書付御問奉申上候	殿様被遊御遊去候により五拾目扶燭燭巻箱
641	嘉永 元年	1848	乍恐以書付奉申上候	殿様御養子被為済若殿様御相談被為蒙御樽肴料献上仕候
642	嘉永 1年	1848	乍恐以書付御届奉申上候	河野村源蔵
643	嘉永 元年	1848	借用申金子之事	
644	嘉永 元年	1848	中山道和田宿… 御請一件	
645	嘉永 元年	1848	雇人等取扱5件	

646	嘉永 2年	1849	村役金高掛割附取米帳	
647	嘉永 2年	1849	村内馴合取極書付之事	御伝馬繼立につき宿内拾九人外に水役式人合計式拾壹人
648	嘉永 2年	1849	助人馬中津川詰六ヶ村訴頭人控	
649	嘉永 2年	1849	木曾四宿に関係ある書類	
650	嘉永 2年	1849	乍恐以書付奉申上候	貨銀六割増の儀御聞届け下され度市田宿より
651	嘉永 2年	1849	書付を以御届奉申上候	当酉御年貢米上納について
652	嘉永 2年	1849	乍恐以書付奉願上候	病気の為め入湯に出かけ度願出
653	嘉永 2年	1849	元紀州様御附各田見房次郎様より飯田在元善光寺へ御寄付の品	内藤新宿問屋役人より
654	嘉永 2年	1849	御用人馬繼立日メ帳	
655	嘉永 2年	1849	御用状御先触控帳	
656	嘉永 2年	1849	盆後日記帳	
657	嘉永 2年	1849	積添初取集名前帳	嘉永六年のもの二冊
658	嘉永 2年	1849	郷中村々連印書付を以て御届	金五両御陣屋御修費金として郷中より年々
659	嘉永 2年	1849	觀世音畑林控年之替濟帳	
660	嘉永 2年	1849	御陣屋地所見舞金割帳	
661	嘉永 2年	1849	御見舞受納帳	
662	嘉永 2年	1849	又助人足貨銀取集め帳	
663	嘉永 2年	1849	以書付奉願上候	米式拾俵
664	嘉永 2年	1849	郡中議定連印帳	
665	嘉永 2年	1849	木曾伝馬助合人足代割合帳	上市田村始川西拾ヶ村
666	嘉永 2年	1849	譲渡し申知證文之事	
667	嘉永 2年	1849	村金取集帳	
668	嘉永 3年	1850	差上申請状之事	藤松と申者に座光寺村林右衛門
669	嘉永 3年	1850	諸色入用覚	歎願出府惣代中
670	嘉永 3年	1850	御伝馬貨錢並割増貨錢共御尋二付キ書上帳	
671	嘉永 3年	1850	御相対雇貨錢拂戻二付宿々請取帳写	
672	嘉永 3年	1850	乍恐以書付奉願上候	御先触高倍増人足三十二人
673	嘉永 3年	1850	乍恐書付御懇訴奉申上候	出原村外七ヶ村より道中御奉行所へ新規定助郷役之儀御免除下さるよう
674	嘉永 3年	1850	人馬家数書ヶ帳	
675	嘉永 3年	1850	法花宗門御改帳	
676	嘉永 3年	1850	禪宗門御改帳	
677	嘉永 3年	1850	人馬家数御改帳	
678	嘉永 3年	1850	浄土宗門御改帳	上市田村
679	嘉永 3年	1850	禪宗宗門帳	上市田村
680	嘉永 3年	1850	助人馬入用高御調二付書上ヶ帳	市田宿問屋
681	嘉永 3年	1850	御伝馬貨錢並割増貨錢共御尋二付書上ヶ帳	
682	嘉永 3年	1850	乍恐以書付奉願上候	下市田村庄屋の事について願出
683	嘉永 3年	1850	乍恐以書付奉願上候	中仙道費川宿及び外宿より定助郷差村についての歎願
684	嘉永 3年	1850	乍恐以書付奉願上候	木曾費川外拾壹宿より差村とせられたる定助郷の義特に御免じ下されたく願出
685	嘉永 3年	1850	乍恐以書付奉願上候	御伝馬貨錢割増方願出
686	嘉永 3年	1850	旅館贖代値上げ下さるやう願上	
687	嘉永 3年	1850	乍恐以書付奉願上候	困窮仕候間伝馬貨銀十ヶ年御増仰付られ度
688	嘉永 3年	1850	乍恐以書付御届奉申上候	御制札場屋根修費について
689	嘉永 3年	1850	人馬駄賃帳	
690	嘉永 3年	1850	道中諸入用日記覚帳	
691	嘉永 3年	1850	御用人馬日メ帳	
692	嘉永 3年	1850	乍恐以書付御届奉申上候	御年頭御祝儀御樽肴料金壹両奉納申上候
693	嘉永 3年	1850	乍恐以書付奉願上	市田六ヶ村と今田村より 木曾助郷免除願 宛名有
694	嘉永 3年	1850	以書附御届奉申上候	初三俵取集メ儘二積添置申候
695	嘉永 3年	1850	上野山一福祥寺一撰州須磨寺靈宝本尊聖觀音	
696	嘉永 3年	1850	助人馬入用高御調二付書上ヶ帳	市田宿問屋関川源左衛門
697	嘉永 3年	1850	借家人別御改帳	上市田村
698	嘉永 3年	1850	借用申金子之事	
699	嘉永 3年	1850	乍恐以書付奉願上候	御制札場屋根の件
700	嘉永 3年	1850	乍恐以書付奉願上候	木曾助郷御敷免歎願 宛名無
701	嘉永 3年	1850	乍恐以書付奉願上候	市田六ヶ村と今田村より御役所へ木曾助郷御免除願
702	嘉永 3年	1850	行倒病人取扱一件	7点
703	嘉永 4年	1851	御証文先触	
704	嘉永 4年	1851	村役金高掛割付取集帳	
705	嘉永 4年	1851	割増貨錢御伝馬繼立帳下書	
706	嘉永 4年	1851	差上申一札の事	濃洲の者夫弁蔵病死したるも御迷惑かけぬ一札妻よしより
707	嘉永 4年	1851	覚	飯田相場御届金拾兩につき地廻り米式拾式俵奥米式拾三俵金壹兩につき白大豆九斗二升奥大豆九斗五升、原町庄屋より
708	嘉永 4年	1851	乍恐以書付奉願上候	当村承引地の内式件取調の結果
709	嘉永 4年	1851	乍恐以書付御届奉申上候	当時飯田相場
710	嘉永 4年	1851	乍恐以書付御届奉申上候	元禄十五年堤地承引被仰付候につき
711	嘉永 4年	1851	奉請取米之事	問屋給米、伝馬役給料其他
712	嘉永 4年	1851	乍恐以書付奉願上候	天竜川の洪水にて御田地川欠、石砂土等にて難済仕候
713	嘉永 4年	1851	乍恐以書付御届申上候	大丸山の土地之義一同差支なき旨届出
714	嘉永 4年	1851	覚	金銭請取書
715	嘉永 4年	1851	乍恐以書付奉申上候	御先触に添書の案文
716	嘉永 4年	1851	乍恐以書付御届奉申上候	盗難の届出

717	嘉永 4年	1851	村送り病死の件一括	十点
718	嘉永 4年	1851	従江戸信州迄道中駄賃帳	
719	嘉永 4年	1851	御用人馬継立日ノ帳	
720	嘉永 4年	1851	諸賄出入控帳	
721	嘉永 4年	1851	村高家数並人別共書上帳	
722	嘉永 4年	1851	御用人馬継立高書上帳	
723	嘉永 4年	1851	十八人講進名簿	上市田村高家数、人口、馬相違無之
724	嘉永 4年	1851	行路病人取扱の一件 数点	紀州小原村常助及三男福松
725	嘉永 4年	1851	助人足勘定調書	
726	嘉永 4年	1851	乍恐以書付御届奉申上候	年頭御祝儀奉申上候
727	嘉永 4年	1851	御年貢米納所庭帳 上市田村	
728	嘉永 4年	1851	五人組御改帳	
729	嘉永 4年	1851	御触書写	
730	嘉永 4年	1851	御用留日記帳	
731	嘉永 4年	1851	大鳴酒屋祖母不幸に付御見舞請納帳	
732	嘉永 4年	1851	諸書面御〇〇#御休泊附帳	御普請役 上條要助より中仙道伊那街道人馬継合村々役人へ
733	嘉永 4年	1851	覚	人足代米#鹿袋代米の手当請取
734	嘉永 4年	1851	借用申金子證文之事	
735	嘉永 4年	1851	亥年免定之事	上市田村
736	嘉永 4年	1851	積添初取集名前帳	
737	嘉永 5年	1852	浄土宗門御改帳下帳	上市田村
738	嘉永 5年	1852	萬覚書控帳	
739	嘉永 5年	1852	借家人別御改帳	
740	嘉永 5年	1852	乍恐以書付御届奉申上候	濃蔵より看類小虎仕度届出
741	嘉永 5年	1852	乍恐以書付御伺奉申上候 (二通)	大神宮境内に拝殿建築仕度願出
742	嘉永 5年	1852	乍恐以書付御届奉申上候	飯田の者兵吉一家当村へ罷越茶見せ渡せいたし度届出
743	嘉永 5年	1852	乍恐以書付御届奉申上候	濃蔵看小虎致し度市田役所へ
744	嘉永 5年	1852	乍恐以書付御伺申上候	大神宮境内に舞家普請仕度届出
745	嘉永 5年	1852	乍恐以書付奉願上候	療養のため白骨温泉へ入湯致度届出
746	嘉永 5年	1852	乍恐以書付御届奉申上候	下市田村丈助上市田村へ引移り度願出
747	嘉永 5年	1852	御用留日記帳	
748	嘉永 5年	1852	井口一件四ヶ村御賄書抜帳	
749	嘉永 5年	1852	御用人馬継立日ノ帳	
750	嘉永 5年	1852	初貸付覚帳	
751	嘉永 5年	1852	覚 正徳五年永治治郎右衛門高調帳	
752	嘉永 5年	1852	差出申書付の事	大島川井口引分けにつき出原村と上市田村下市田村と熟談
753	嘉永 5年	1852	村送り一通	
754	嘉永 5年	1852	御鎮守拝殿造営入用割合帳	
755	嘉永 5年	1852	法華宗門御改帳下帳	
756	嘉永 5年	1852	禪宗門御改帳下帳	
757	嘉永 5年	1852	乍恐以書付御届奉申上候	今田村取訪大明神神職脇坂甚太夫
758	嘉永 5年	1852	奉拝借金子之事	
759	嘉永 5年	1852	子年免定之事	上市田村
760	嘉永 5年	1852	譲り渡し申林證文之事	
761	嘉永 5年	1852	乍恐以書付奉願上候	人馬38人先触
762	嘉永 5年	1852	乍恐以書付奉願上候	牢屋下番相勤めさす儀
763	嘉永 6年	1853	冥加金持高割取集帳	
764	嘉永 6年	1853	禪宗門御改帳	
765	嘉永 6年	1853	問屋役見習被仰付候二付祝儀受納帳	
766	嘉永 6年	1853	覚	御陣内、御門外、道普請の人馬調
767	嘉永 6年	1853	乍恐以書付款願候	千代作の事につき御有免下さるよう願出
768	嘉永 6年	1853	乍恐御願上仕候口上書之覚	御配札について願出
769	嘉永 6年	1853	為取替議定書之事	大島山川分木につき議定書
770	嘉永 6年	1853	牛牧井口入用割合帳	
771	嘉永 6年	1853	大島山村、上市田村、下市田村井口入用帳	
772	嘉永 6年	1853	御用人馬継立日ノ帳	
773	嘉永 6年	1853	御年貢米割判帳	
774	嘉永 6年	1853	幕寄付進名帳	神守家世話人
775	嘉永 6年	1853	村役金高掛ヶ割付取集帳	
776	嘉永 6年	1853	乍恐奉願口上書	紀州熊野御師 山東泉大夫より原町御役所へ毎年配札仕り度旨願出
777	嘉永 6年	1853	法華宗門御改帳	
778	嘉永 6年	1853	借家人別御改帳	
779	嘉永 6年	1853	浄土宗門御改帳	
780	嘉永 6年	1853	奉拝借金子之事	
781	嘉永 6年	1853	差上ヶ申御請書之事	
782	嘉永 6年	1853	丑年免定之事	上市田村
783	嘉永 7年	1854	乍恐以書付御伺奉申上候	小笠原豊松丸様御出府二付キ私控屋敷内の御茶屋御殿に御休足の儀
784	嘉永 7年	1854	亜墨利加船渡来上陸之者共に馳走被成候献立風説聞覚帳	
785	嘉永 7年	1854	浄土宗門御改帳	
786	嘉永 7年	1854	禪宗門御改帳	
787	嘉永 7年	1854	法華宗門御改帳	
788	嘉永 7年	1854	借家人別御改帳	

789	嘉永 7年	1854	禪宗門御改帳(乙)	
790	嘉永 7年	1854	人馬家数御改帳	
791	嘉永 7年	1854	御札ニ付忝以書付奉申上候	貸金ノ滞濟ニツキ御返答書
792	嘉永 7年	1854	忝以書付奉申上候	福与村中山庄屋三郎右衛門より
793	嘉永 7年	1854	忝以書付御届申上候(控)	十一月四日朝の地震、人畜に被害なかつた御届
794	嘉永 7年	1854	忝以書付御届奉申上候	十一月四日朝の地震、人畜に被害なかつた御届
795	嘉永 7年	1854	村内馴合取極之事(控)	当宿人馬勤役について取極の箇條書き
796	嘉永 7年	1854	忝以書付御届奉申上候	惣代を以て正月年頭御祝儀奉申上候
797	嘉永 7年	1854	借金について願候	下市田村役人より村方幸右衛門他二人が林村、宗四郎より
798	嘉永 7年	1854	忝以書付奉願上候	見廻役退役仰付られたく願出
799	嘉永 7年	1854	差出申一札之事(下書き)	上市田村宿在共馴合談事一決の一札
800	嘉永 7年	1854	村内馴合取極之事(下書き)	当宿人馬勤役について取極の箇條書き
801	嘉永 7年	1854	村方馴合取極之事	三点
802	嘉永 7年	1854	忝以書付奉申上候	起返し地の年貢上納仕度
803	嘉永 7年	1854	嘉永七寅・八卯年内請入用出入控帳 嘉永六丑・七寅年諸色日記帳	
804	嘉永 7年	1854	御用状御先触離立日ノ帳	
805	嘉永 7年	1854	御用人馬離立日ノ帳	
806	嘉永 7年	1854	差出申一札之事	新發田致すまじく切添も同様なりと両者和決の爲めの一札
807	嘉永 7年	1854	村方馴合取極之事	
808	嘉永 7年	1854	持馬怪我之節御見舞受帳	近隣よりの見舞
809	嘉永 7年	1854	忝以書付御届ッ奉申上候	地震取調べ
810	嘉永 7年	1854	借用申金子證文之事	
811	安政・万延・	1854	伝馬についての調査一括	
812	安政 2年	1855	人馬家数御改帳	
813	安政 2年	1855	問屋本役被仰付祝物受納帳	
814	安政 2年	1855	助人馬入用高御調ニ付書上ッ帳	
815	安政 2年	1855	忝以書付御敷願奉申上候	上市田村、名茶、風聞宜しからず候も本人後悔、改心仕候につき
816	安政 2年	1855	忝以書付奉申上候	御制札場壺ッ所修理見積書
817	安政 2年	1855	差上申御請書之事	今田組上組、中組、下組惣代より市田役所へ
818	安政 2年	1855	忝以書付御敷願奉申上候	今田村共四ッ村役人より受取御年貢につきて願出
819	安政 2年	1855	御尋につき奉申上候	瑠璃寺より梵鐘、寺中、末寺につき
820	安政 2年	1855	差出申請負状之事	人足岩蔵江戸表迄差遣し申すべき事
821	安政 2年	1855	御尋につき奉申上候	松源寺より梵鐘壺ッ
822	安政 2年	1855	忝以書付御敷願申上候	御年貢御有免下さるよう願上
823	安政 2年	1855	忝以書付御敷願奉申上候	南山三拾六ッ村米納の義につき 2通
824	安政 2年	1855	受取一札之事	領法寺より松源寺へ寺送り
825	安政 2年	1855	忝以書付御請奉申上候	金巻千両俎講金六ッ村代表庄屋六人連署
826	安政 2年	1855	忝以書付奉願上候	貸錢四割増年季繼の義
827	安政 2年	1855	忝以書付奉願上候	上市田宿より貸錢割増仰付けられ度
828	安政 2年	1855	忝以書付奉願上候	伝馬貸銀割増方願出
829	安政 2年	1855	御制札場御普請見積書	七点
830	安政 2年	1855	忝以書付御敷願奉申上候	改心につき御有免下さるやう願出
831	安政 2年	1855	忝奉願上候口上書之事	伝馬貸銀割増仰付けられ度願上
832	安政 2年	1855	御用人馬離立日ノ帳	
833	安政 2年	1855	講金差引請取帳	
834	安政 2年	1855	積添初高付名前帳	
835	安政 2年	1855	御殿様頼母子講取集控帳	
836	安政 2年	1855	忝以書付御届奉申上候	水車臼数につき届出
837	安政 2年	1855	対談に付議定相定帳	
838	安政 2年	1855	国役金高掛割合取集ノ帳	
839	安政 2年	1855	無尽懸金取金出入帳	
840	安政 2年	1855	借用申金子之事	
841	安政 2年	1855	金子借用申證文之事	
842	安政 2年	1855	入置申一札之事	
843	安政 2年	1855	忝以書付御届奉申上候	被官六左衛門外三人の義
844	安政 2年	1855	諸色入用日記帳	
845	安政 3年	1856	人馬賃錢拂戻並賃錢差引勘定帳	
846	安政 3年	1856	奉請取錢之事	御用につき御日雇御中間の賃錢
847	安政 3年	1856	御用留日記	
848	安政 3年	1856	浄土宗門御改帳	
849	安政 3年	1856	法華宗門御改帳	
850	安政 3年	1856	禪宗宗門御改帳(乙)	
851	安政 3年	1856	人馬家数御改帳	
852	安政 3年	1856	五人組御改二付名前帳	
853	安政 3年	1856	秋葉太々講趣意書	
854	安政 3年	1856	上下牛牧村井口熟談割請入用留帳	
855	安政 3年	1856	御用人馬離立日ノ帳	
856	安政 3・4年	1856	助人馬勤方覚帳	
857	安政 3年	1856	諸入用出入帳	
858	安政 3年	1856	御無尽金取集差引帳	
859	安政 3年	1856	積添初高取調帳	
860	安政 3年	1856	積添初高附名前留帳	

861	安政 3年	1856	殿様御頼母子講割合帳	
862	安政 3年	1856	一札	普大寺役僧へ虚無僧林の紛敷者入り込につき
863	安政 3年	1856	御鎮守様江地所寄付二付代金割合帳	
864	安政 3年	1856	内事熟談済方議定書	三冊 小次郎に関するもの
865	安政 3年	1856	御鎮守様御祭礼二付諸入用メ揚割合帳	
866	安政 3年	1856	御鎮守境内 地形平均 諸入用日記帳	
867	安政 3年	1856	借用申金子證文之事 (11月)	
868	安政 3年	1856	借用申金子證文之事 (12月)	
869	安政 3年	1856	辰年免定之事	上市田村
870	安政 3年	1856	譲り渡し申林證文之事	
871	安政 4年	1857	組内役所へ立入方議定之事	庄屋と長百姓熟談立入方について
872	安政 4年	1857	乍恐以書付奉願上候	医師瀧沢揚庵逗留させ度向願出
873	安政 4年	1857	乍恐以書付奉願上候	伊那三十三ヶ所観音閣帳の年に当るので
874	安政 4年	1857	奉請取米之事	平野村見廻役庄左衛門扶持分
875	安政 4年	1857	村方一同申談取極一札の事	農事不作につき
876	安政 4年	1857	御用人馬繼立日メ帳	
877	安政 4年	1857	御年貢米皆済割判控	
878	安政 4年	1857	村方一同申談取極一札の事	上市田村にて総徳講について相談の一札
879	安政 4年	1857	国役金高掛割合取集帳	
880	安政 4年	1857	村方一同申談取極一札の事	不作難済につき講等すべて延ばすこと
881	安政 5年	1857	村金利足取集帳	
882	安政 4年	1857	利足勘定帳	
883	安政 4年	1857	書一練習帳手本	
884	安政 4年	1857	乍恐以書付御敷願奉申上候	福与村縫右工門、同村山分中山分伝右工門
885	安政 4年	1857	行司免許写 (相撲)	
886	安政 5年	1858	御用人馬繼立日メ帳	
887	安政 5年	1858	御用留日記	上市田村年番庄屋
888	安政 5年	1858	御密書之写	寺社奉行板倉周防守留守居久員因幡守外多勢御役所御免となる
889	安政 5年	1858	乍恐以書付御敷願奉申上候	平野村見廻役庄左衛門物真致致し本人恐縮いたしおるにつき
890	安政 5年	1858	拾町余田方凡町反畝歩附帳	上下市田、上下牛牧、大島山、吉田村内
891	安政 5年	1858	目代免許	吉田追風門人相撲年寄浦風林右衛門より
892	安政 5年	1858	申定 六ヶ村入会内山について	覚一通
893	安政 5年	1858	覚	大島山不動尊境へ参詣無用のこと三点
894	安政 5年	1858	乍恐以書付御届奉申上候	年始御礼代人を以て申上たし。外巻点
895	安政 5年	1858	江戸焼場明細書之写	木版ズリ四枚絵図アリ
896	安政 5年	1858	八会山見廻はり明細書	六ヶ村三役人共
897	安政 5年	1858	乍恐以書付奉御届申上候	吉田村百姓繁次郎妻娘
898	安政 5年	1858	大島川井桁井口普請につき熟談規定書	
899	安政 5年	1858	四ヶ村立会普請二付立入分入用品帳	
900	安政 5年	1858	大島山川牛牧井口普請割合帳	
901	安政 5年	1858	大嶋川牛牧井口分水場普請入用	
902	安政 5年	1858	米銭相場問合帳	
903	安政 5年	1858	上下市田村、上下牛牧村御願書留帳	
904	安政 5年	1858	床場一件二付入用帳 二点	
905	安政 5年	1858	再内済一同連印議定書 二点	
906	安政 5年	1858	人馬家数御改帳	
907	安政 5年	1858	禪宗 穢多宗門帳	
908	安政 5年	1858	浄土宗門御改帳	
909	安政 5年	1858	御心添可被成候	
910	安政 5年	1858	宗門人別御改帳 名子村	
911	安政 5年	1858	彼は出入村内啓弥、小次郎、喜代太郎三軒二而出入出来	
912	安政 5年	1858	井桁普請所論願書之写	
913	安政 5年	1858	提出書の一部	
914	安政 5年	1858	御代之暇報	
915	安政 5年	1858	當年作毛・下作米・借家賃 揚高覚	
916	安政 5年	1858	借用申金子之事	
917	安政 5年	1858	行司免許	
918	安政 5年	1858	午年免定之事	上市田村
919	安政 6年	1859	諸色入費日記帳	
920	安政 6年	1859	乍恐以書付御敷願奉申上候	上市田村見廻役安太郎より御役勤かねるにつき
921	安政 6年	1859	御請負規定一札の事	伐木御注文御請致すべきこと
922	安政 6年	1859	乍恐以書付奉願上候	花水橋普請につき願出
923	安政 6年	1859	安太郎三役人より役儀勤めがたく歎願	
924	安政 6年	1859	大島川牛牧井口仕揚普請諸入用日留帳	
925	安政 6年	1859	御用人馬繼立日メ帳	
926	安政 6年	1859	村太鼓買入二付村方勸化帳	
927	安政 6年	1859	為御取替相成候條約写五冊の内亜米利加国條約	五冊ノ内
928	安政 6年	1859	英吉利国條約並税則	五冊ノ内
929	安政 6年	1859	阿蘭陀国條約並税則	五冊ノ内
930	安政 6年	1859	魯西亜国條約並税則	五冊ノ内
931	安政 6年	1859	佛蘭西国條約並税則	五冊ノ内

932	安政 6年	1859	乍恐以書付奉願上候	御免許状本書御下渡下さるよう願上候
933	安政 6年	1859	乍恐以書付奉願上候	御制札場の修葺について
934	安政 6年	1859	町、在、役人格席順	江戸御中小姓席、飯田御中小姓席、町在役人席、問屋席順、庄屋席順等
935	安政 6年	1859	国役金高掛ヶ割合取集メ帳	
936	安政 6年	1859	未年免定之事	
937	安政 6年	1859	乍恐以書付奉願上候	諸役御免の許状について
938	安政 6年	1859	金銀出入日記帳 おぼへ	
939	安政 6年	1859	安政六未年久兵衛集村金利足取集メ帳	
940	安政 6年	1859	安政六巳未曆	
941	安政 6年	1859	観音山譲り證文控 (表紙のみ)	
942	安政 6年	1859	差入申一札之事	
943	安政 6年	1859	相撲目代免許	
944	安政 6年	1859	免許書 (相撲行司)	
945	安政 6年	1859	借用申金子證文之事	
946	安政 7年	1860	南山三十六ヶ村御歎願書	貧農村の故を以て難渋につき百姓永続出来得るよう御願致し候
947	安政 7年	1860	田切村三ヶ所御歎願書	御拜借米返納之儀御用捨下されたく
948	安政 7年	1860	南山三拾六ヶ村御歎願書	南山郷中へ米千三百俵御教御手下され候
949	安政 7年	1860	御用人馬繼立日メ帳	
950	安政 7年	1860	法花宗門御改帳	
951	安政 7年	1860	借家人別御改帳	
952	安政 7年	1860	御鎮守様夜燈再建入用帳	
953	安政 7年	1860	宗門人別御改帳 名子村 控	
954	安政 7年	1860	乍恐以書付御歎願奉申上候	
955	安政 7年	1860	差出申證文之事	
956	安政 7年	1860	定 (免許書)	
957	安政 7年	1860	御とし玉 安政七庚申歳	
958	万延 元年	1860	御茶屋御殿御修復二付諸品請取日記帳	中身は書いてない
959	万延 1年	1860	大鳴山井口破損に付諸入用帳	
960	万延 1年	1860	大鳴山井口御普請中人足車力出方留帳	
961	万延 1年	1860	諸入用覚帳	
962	万延 1年	1860	南山三十六ヶ村より市田御役所への歎願書の手本	
963	万延 1年	1860	大鳴山井御普請所積方帳一両市田村・大鳴山村、三ヶ村役人	
964	萬延 1年	1860	覚 一元金八両二仕候・・・	
965	万延 元年	1860	大勢ノ者議定心得口上書之事	長百姓役割の義につき
966	万延 元年	1860	小勢より差出申口上書写	長百姓きめ方についての意見書
967	万延 元年	1860	乍恐以書付奉願上候	伝馬賃銭十年間四割増に
968	万延 元年	1860	大鳴山井口破損二付御普請中入用品帳	
969	万延 元年	1860	大鳴山川井口御普請所積帳	
970	万延 元年	1860	諸職人御運上銭取集メ帳	
971	万延 元年	1860	差出申一札之事	御勤怠り連印詫書一札年番所へ差出
972	万延 元年	1860	申年免定之事	
973	万延 元年	1860	借用申金子證文之事	壹兩貳分
974	萬延 元年	1860	差出し申一札之事	
975	萬延 元年	1860	借用申金子證文之事	八両
976	万延 元年	1860	国役金高掛ヶ割合取集帳	
977	萬延 1年	1860	和漢郎詠集上	
978	萬延 2年	1861	五人組頭名前改帳	
979	萬延 2年	1861	禪宗門御改帳	
980	萬延 2年	1861	法華宗門御改帳	
981	萬延 2年	1861	浄土宗門御改帳	
982	萬延 2年	1861	借家人別御改帳	
983	萬延 2年	1861	禪宗門帳	
984	万延 2年	1861	御用人馬繼立日メ帳	
985	万延 2年	1861	七回忌 十三回忌一御見舞受納帳	
986	文久 元年	1861	覚上市田村庄屋より木曾四宿御役人中へ	村高総人数取調御返答申候
987	文久 元年	1861	市田宿問屋岡川弥次右衛門より奥州白河迄の宿々問屋御役所人中へ	役人四人及び乗軽馬一疋 人足二人差出候につき宜しく願入候
988	文久 元年	1861	和宮様御下向二付諸色書留帳	
989	文久 元年	1861	和宮様御下向御触書写	十一月日 牛牧村五兵衛控
990	文久 元年	1861	和宮様御下向御触書写	酉十月ヨリ 牛牧村五兵衛控
991	文久 元年	1861	道中御目付木曾路御上り二付妻籠宿外三宿より飛脚来ル字	
992	文久 元年	1861	木曾助入馬勤方御届書	出原村始六ヶ村庄屋より
993	文久 元年	1861	道中御目付木曾路御上り二付妻籠宿始外三宿より飛脚致来御速写一冊	
994	文久 元年	1861	佐書写一冊	
995	文久 元年	1861	木曾下モ四ヶ宿役人より急廻文写	
996	文久 元年	1861	和宮様御通興二付木曾四宿江助入馬高触当帳	
997	文久 元年	1861	乍恐以書付御歎願奉申上候	法全寺村より市田役所へ
998	文久 元年	1861	一札の事	困窮につき江戸表にて身売奉公仕り度
999	文久 元年	1861	駅々人馬駄賃帳	
1000	文久 元年	1861	苦楽賀多女嬬子披羅宇御祝儀諸納帳	
1001	文久 元年	1861	乍恐以書付御届奉申上候	牛牧村及び上市田村庄屋村届

1002	文久 1年	1861	御手本	
1003	文久 1年	1861	濟口證文之事	
1004	文久 元年	1861	宗門往来手形之事	
1005	文久 元年	1861	和宮様御通輿木曾宿方より人馬触写	
1006	文久 元年	1861	和宮様御儀木曾路御下向二付助人馬賃銭割合帳	
1007	文久 元年	1861	和宮様御下向二付諸入用割合帳	
1008	文久 元年	1861	和宮様御下向二付御触書并聞取書記帳	
1009	文久 元年	1861	和宮様御下向一條御届帳	
1010	文久 元年	1861	木曾伝馬入用勘定差引帳	
1011	文久 元年	1861	今般御公儀様御用御出役様より御巻村被御下候村々連名控	
1012	文久 元年	1861	酉年免定之事	上市田村
1013	文久 1年	1862	乍恐以書付御答奉申上候 (御答書) 下書	村入用之儀外
1014	文久 2年	1862	乍恐以書付奉歎願候	上市田村ほか八十一ヶ村より人足賃銀御免除下さるよう
1015	文久 2年	1862	和宮様御下向二付御普請役様御取調奥書控	
1016	文久 2年	1862	和宮様御下向二付諸色書留帳	
1017	文久 2年	1862	相撲祝儀受納帳	
1018	文久 2年	1862	御用触書	木曾下モ四ヶ宿方廻状
1019	文久 2年	1862	今般一ツ橋様御上京二付木曾四ヶ宿助人馬願立ニ付歎願差出候下書	
1020	文久 2年	1862	和宮様御下向二付 御普請役様御廻宿の際の御届書控	
1021	文久 2年	1862	御下向之節人馬賄銀其他諸雜費用帳	
1022	文久 2年	1862	乍恐以書付歎願奉申上候	木曾四宿の助郷御免下さるやう願出
1023	文久 2年	1862	八郎右衛門より盜難届出	八点
1024	文久 2年	1862	乍恐以書付奉歎願候	和宮様等御下向につき人、馬等について
1025	文久 2年	1862	御備餅白米集高覚帳	
1026	文久 2年	1862	御用人馬離立日×帳	
1027	文久 2年	1862	木曾御伝馬一條二付諸費割合帳	
1028	文久 2年	1862	御拂米頂戴名前帳	
1029	文久2、3年	1862	御拂米願名前帳	御払米頂戴名前帳も
1030	文久 2年	1862	御下向御離立後伊那助郷八十壺ヶ村より尋の儀觸書答帳	
1031	文久 2年	1862	石寄人数覚帳	
1032	文久 2年	1862	御鎮守様夜灯普請諸入用調帳	
1033	文久 2年	1862	戌年免定之事	
1034	文久 2年	1862	女今川	文久二年三月買求めた物
1035	文久 2年	1862	覚一受取書	
1036	文久 2年	1862	覚	関川氏へ
1037	文久 2年	1862	村送り一札之事	関川弥次右衛門より桜町庄屋古谷銀次郎
1038	文久 2年	1862	宗門人別御改帳 名子村 控	
1039	文久 2年	1862	両村為取替議定書	草木伐荷儀自由ニ致し・・・
1040	文久 2年	1862	回状	名古屋村方先々の御村へ
1041	文久 2年	1862	女今川	関川弥次右衛門
1042	文久 2年	1862	差出申金子證文之事	
1043	文久 2年	1862	奉拝借金子證文之事	
1044	文久 2年	1862	借用申金子證文之事	
1045	文久 2年	1862	借用申金子證文之事	
1046	文久 2年	1862	借用申金子之事	
1047	文久 2年	1862	普請ニ付諸入用品御見舞物請納帳	
1048	文久 3年	1863	御尋につき以書付奉申上候	初立郷夫差配人より市田御役所へ
1049	文久 3年	1863	乍恐以書付御歎願奉申上候	和宮様御下向につき助郷平均割合御免除下さるよう
1050	文久 3年	1863	乍恐以書付御届奉申上候	上市田村役人より市田御役所へ
1051	文久 3年	1863	差出し申一札之事	御宿より触出し人馬差出し難き旨
1052	文久 3年	1863	乍恐以書付奉歎願候	助郷勤兼候につき願出
1053	文久 3年	1863	乍恐以書付奉歎願候	木曾助郷相勤難旨願出
1054	文久 3年	1863	乍恐以書付奉願上候	飯島町年寄所の義御勤致しがたく
1055	文久 3年	1863	戌御年貢米皆済通	牛牧村、上市田村之
1056	文久 3年	1863	戌年御年貢米皆済通	上市田村 牛牧村之
1057	文久 3年	1863	道中駿河様御奉行對馬様より御触書之写	
1058	文久 3年	1863	御用人馬離立日×帳	
1059	文久 3年	1863	道中奉行所江免除願入用別賦帳	
1060	文久 3年	1863	道中御奉行様方御触書之写	
1061	文久 3年	1863	乍恐以書付御歎願奉申上候助郷御免除方御願	
1062	文久 3年	1863	木曾当分助郷歎願書写	木曾当分助郷御免除下さるよう歎願伊那の各宿々より
1063	文久 3年 文久 4年	1863	請印帳写 (綴) 御触書也	
1064	文久 3年	1863	御触書	英国軍艦渡米殿様御参府につき歩人差出すべき旨
1065	文久 3年	1863	御田地書入借用金証文	予り金子の事二通
1066	文久 3年	1863	乍恐以書付奉申上候	髮結綱五郎身元引請届 他3点
1067	文久 3年	1863	木曾当分助郷歎願書写	
1068	文久 3年	1863	御触書理文	
1069	文久 3年	1863	御用人馬離立日×帳	12月より
1070	文久 3年	1863	助郷人馬離立日×帳	
1071	文久 3年	1863	木曾下四ヶ宿役人より廻文写	

1072	文久 3年	1863	冥加献金高名前付帳	
1073	文久 3年	1863	郷夫人足並差配人共名前御届帳	
1074	文久 3年	1863	乍恐以書付奉願上候	入山伐木に当り村民困窮につき雜木伐には鉋、鋸使用しても差支えなき様仰付られ度願出
1075	文久 3年	1863	庭灯、石燈請入用調帳	
1076	文久 3年	1863	献金高帳	
1077	文久 3年	1863	牛牧村より上市田村へ御年貢米覚	
1078	文久 3年	1863	乍恐以書付御内願奉申上候 六ヶ村庄屋	入山停止中なるも薪採りは鉋鉋に限り使用致度願出
1079	文久 3年	1863	殿様御登起頼母子講口定帳	
1080	文久 3年	1863	乍恐以書付御届奉申上候	上市田村役人より市田御役所へ
1081	文久 3年	1863	村送り一札之事	12通
1082	文久 3年	1863	献金取集帳	
1083	文久 3年	1863	御内用筋頼出振諸雜入用帳	
1084	文久 3年	1863	亥年免定之事	
1085	文久 3年	1863	差出申一札之事、(3月22日)	
1086	文久 3年	1863	今村八右衛門への書簡	
1087	文久 3年	1863	規定書之事	
1088	文久 3年	1863	貸金控	
1089	文久 3年	1863	文久三年利足等覚	
1090	文久 3年	1863	差出し申一札之事、2(3月)	人馬差出難きこと
1091	文久 3年	1863	差出し申一札之事、3(3月)	人馬差出難きにつき款額
1092	文久 3年	1863	差出し申一札之事、4(河野村より)	
1093	文久 3年	1863	笹山梅庵寺子割海式目	関川弥次右衛門
1094	文久 3年	1863	頂戴申一札之事	座光寺今村八右衛門
1095	文久 3年	1863	秋葉山参詣せん別受納帳	
1096	文久 3年	1863	帯刀御免二付御祝儀受納帳	問屋関川弥次右衛門
1097	文久 4年	1864	覚	秋葉山へ代参差違に付御聞所御通し下さるべく
1098	文久 4年	1864	乍恐以書付奉願上候	新四国八十八ヶ所札所御開扉につき
1099	文久 4年	1864	乍恐以書付奉願上候	札所開扉につき願出
1100	文久 4年	1864	木曾御伝馬一件当分助郷款額書写	
1101	文久 4年	1864	村送り一札之事 下書	
1102	文久 4年	1864	借用申金子證文之事	
1103	文久 4年	1864	村送り一札之事	大島町問屋から上市田庄屋へ
1104	元治 元年	1864	御伝馬当書抜帳	
1105	元治 元年	1864	御用留日記	
1106	元治 元年	1864	一札之事	木曾宿御伝馬御免除下さるよう
1107	元治 元年	1864	浮浪通行並御追討御通行二付宿方買入調帳	
1108	元治 元年	1864	人馬并請入用惣寄五ヶ年平均帳	
1109	元治 元年	1864	御用人馬離立日×帳 2月	
1110	元治 元年	1864	宿役人給金取調	
1111	元治 元年	1864	木曾御伝馬免除人馬賃銭割増御款額二付御添額下書	
1112	元治 元年	1864	引請申郷夫人足証文之事	
1113	元治 元年	1864	五ヶ年間人馬立辻月々調帳	
1114	元治 元年	1864	差出申一札之事	雇人多助につき芳蔵請人のこと
1115	元治 元年	1864	乍恐以書付御届申上候	変死体について届出
1116	元治 元年	1864	差出申一札之事	髮結職多助身元について御答 他3点
1117	元治年一明治	1864	金銭米等の証文	十九点
1118	元治 元年	1864	市田宿方御堂垣外迄拾壹ヶ宿ニテ木曾伝馬免除願書面写	
1119	元治 元年	1864	乍恐以書付奉願上候	福島宿外六ヶ宿の助郷之儀御免除下さり度
1120	元治 元年	1864	乍恐以書付奉願上候	伝馬賃銭九割増に願出
1121	元治 元年	1864	乍恐以書付奉願上候	従来通り御助成なされ度願出、十三宿より
1122	元治 元年	1864	市田宿より御堂垣外迄十二宿賃銀割増願出	
1123	元治 元年	1864	賊徒追討し役々方御通行につき宿々人、馬離立高井休治共御取調二付御追書御届書の難形	
1124	元治 元年	1864	御用人馬離立日×帳 3月	
1125	元治 元年	1864	一札之事	市田宿より野尻宿外三宿へ一札
1126	元治 元年	1864	御高札場修置につき上市田村の見積書	
1127	元治 元年	1864	一ヶ月毎人馬立辻取調帳	市田宿
1128	元治 元年	1864	郷借金銘々割賦借り高証文留帳	
1129	元治 元年	1864	御年貢米御納所御蔵庭帳	
1130	元治 元年	1864	国役金高掛ヶ割合取集×帳	
1131	元治 元年	1864	御公儀御勘定役様江助郷款額願書下	
1132	元治 元年	1864	宿駕籠格入用調帳	
1133	元治 元年	1864	浮浪通行御追討御通行二付銘々出し方控帳	水戸浪士通行及追討通行につき各自出金記録帳なり
1134	元治元年より明治元年迄	1864	人馬立辻毎月、毎年取調帳	上市田宿
1135	元治 元年か	1864	宿役人給分取調	
1136	元治 元年	1864	助郷願書に御添額下され度願出	
1137	元治 元年	1864	子之年免定之事	
1138	元治 元年	1864	馬籠宿にて忠作より関川弥次右衛門へ	浪人一件につき京都の白洲御役人の消息を通報した一文
1139	元治 1年	1864	開書日記留	
1140	元治 1年	1864	御清書写	
1141	元治 1年	1864	乍恐以書付御届奉申上候	
1142	元治 元年	1864	一札之事	御伝馬免除につき

1143	元治 元年	1864	道中御奉行へ歎願 外	助郷難決の件
1144	元治 元年	1864	借用申金子證文之事 (7月)	
1145	元治 元年	1864	借用申金子證文之事 (12月)	
1146	元治 元年	1864	請取之事	門番心附
1147	元治 元年	1864	乍恐以書付奉申上候	年貢米より定例下米差引
1148	元治 元年	1864	人馬繼立諸入用書上帳	
1149	元治 元年	1864	借家人別御改帳	上市田村
1150	元治 元年	1864	百石五両助郷歎願・御伝馬賃銭割増、出府諸入費仕訳帳 字	
1151	元治 2年	1865	上市田宿人馬割増請書	
1152	元治 2年	1865	毎月メ上御伝馬人馬立辻取調帳	市田宿
1153	元治 2年	1865	御拝借米割賦名前帳当丑年より十ヶ年御返上	他に夫食拝借人割賦帳
1154	元治 2年	1865	乍恐以書付奉願上候	上市田村民一同困窮につき米七拾五俵拝借相成度旨願出
1155	元治 2年	1865	御支配御役々様御逗留申御旅籠料郡中割合取集帳	
1156	元治 2年	1865	御用留日記	
1157	元治 2年	1865	定	市田宿駄賃、人足賃銭につきての定
1158	元治 2年	1865	御定賃銭六割増覚	
1159	元治 2年	1865	市田御役所へ	
1160	元治 2年	1865	元治二乙丑曆	
1161	元治 2年	1865	女教訓書 女実語教	萬屋閑川氏
1162	元治 2年	1865	引請申郷夫人足証文之事	一金拾両者郷夫人足式人
1163	元治 2年	1865	郷夫人足并差配人友差出御届書	一郷夫人足式人
1164	元治 2年	1865	郷夫百人被仰付…	上市田村庄屋控
1165	元治・慶応 頃	1865	村送り状	十通
1166	慶応 元年	1865	御祈祷中日記帳	
1167	慶応 元年	1865	御用留日記	
1168	慶応 元年	1865	引受申郷夫人足証文之事	
1169	慶応 元年	1865	乍恐以書付御届申上奉候	殿様の御供して帰ったこと
1170	慶応 元年	1865	御年貢米納通帳	六年分、元治元年、文久二年、文久元年、安政六年、安政五年
1171	慶応 元年	1865	一ヶ月毎人馬立辻取調帳	市田宿
1172	慶応 元年	1865	郷借金銘々利取集帳	
1173	慶応 元年	1865	郷借金銘々割賦借り高証文留帳	
1174	慶応 元年	1865	御拂米願人名前覚帳	他に御年貢米御蔵庭帳
1175	慶応 元年	1865	国役金高掛ヶ割合取集メ帳	
1176	慶応 元年	1865	御伝馬当座書抜帳	
1177	慶応 元年	1865	丑年免定之事 上市田村	
1178	慶応 元年	1865	奉拝借金子證文之事	
1179	慶応 元年	1865	為替金借用證文之事	
1180	慶応 元年	1865	為替證文之事	
1181	慶応 元年	1865	浮浪之徒通行ニ付人馬書上帳	
1182	慶応 元年	1865	浮浪之徒通行ニ付人馬繼立書上帳	
1183	慶応 元年	1865	当丑盆前御踏六ヶ村割合帳	
1184	慶応元. 2年	1865	諸入用出入留帳	
1185	慶応 元年	1865	御用人馬繼立日メ帳	
1186	慶応 元年	1865	定 (免許書)	白倉国蔵から関川弥次右衛門へ
1187	慶応 元年	1865	人馬繼立についての御先触 (1月～6月)	
1188	慶応 2年	1866	寅年免定之事	
1189	慶応 2年	1866	寅末八郎右衛門差引勘定帳	
1190	慶応 2年	1866	乍恐以書付御歎願奉申上候	開作夫食米御貸付下さるやう願出
1191	慶応 2年	1866	乍恐以書付御届奉申上候	上市田村より米九十俵御拂米受取書
1192	慶応 2年	1866	乍恐以書付奉願上候	大雨のため難決につき御見分下さるやう
1193	慶応 2年	1866	乍恐以書付奉願上候	凶作につき夫食米四拾俵拝借奉りたく
1194	慶応 2年	1866	乍恐以書付奉御届申上候 (原本の控)	年始御祝儀奉申上候
1195	慶応 2年	1866	乍恐以書付御届申上候	年始御祝儀奉申上候
1196	慶応 2年	1866	乍恐以書付奉御届申上候 (下書)	年始御祝儀奉申上候
1197	慶応 2. 3年	1866	伝馬人足賃銭書上	三点
1198	慶応 2年より 明治5年 まで	1866	村送り、寺送り	二十一点
1199	慶応 2年	1866	御用人馬繼立日メ帳 (3月)	
1200	慶応 2年	1866	寅暮諸入用割合帳	
1201	慶応 2年	1866	盆前諸入用割合帳	
1202	慶応 2年	1866	乍恐以書付奉願上候	御払米落札につきての件
1203	慶応 2年	1866	田方取調小前帳	
1204	慶応 2年	1866	智本諸道具取調帳	
1205	慶応 2年	1866	御拂米代金取集覚帳	
1206	慶応 2年	1866	差出申一札連印帳	上市田村 小前衆中
1207	慶応 2年	1866	村方御田地風痛、冷氣不熟取調帳	
1208	慶応 2年	1866	郡金利足取集帳	
1209	慶応 2年	1866	御拂米代金取集帳	
1210	慶応 2年	1866	当寅御年貢米御蔵庭帳 二点	
1211	慶応 2年	1866	観音堂持地所加地子積金入用差引年々利揚貸付帳	
1212	慶応 2年	1866	元金利倍勘定調帳	嘉永四年より慶応二年迄観音堂加地子残米
1213	慶応 2年	1866	観音堂貸付金調帳	

1214	慶応 2年	1866	村方田方極不熟調帳	
1215	慶応 2年	1866	御田地取調小前帳	
1216	慶応 2年	1866	窄破出来ニツキ修復費割合帳	
1217	慶応 2年	1866	堂所山ノ神修復遷宮入用覚帳	
1218	慶応 2年	1866	人馬家数御改帳	
1219	慶応 2年	1866	間屋見習祝儀受納帳	
1220	慶応 2年	1866	諸勘定調帳	
1221	慶応 2年	1866	寅年免定之事	
1222	慶応 2年	1866	浄土宗門御改帳	
1223	慶応 2年	1866	宗門人別御改帳 名子村	
1224	慶応 2年	1866	孝庵義忠居士一御見舞請納帳	
1225	慶応 2年	1866	述身意	遺言
1226	慶応 2年	1866	覚	法全寺村より役所へ
1227	慶応 2年	1866	旧時貸借帳	
1228	慶応 2年	1866	拂物書抜帳	
1229	慶応 2年	1866	智本病氣ニ付見舞受納帳	
1230	慶応 2年	1866	慶安太平記巻由井正雪の乱に関連して	
1231	慶応 2年	1866	覚	当時の相場報告
1232	慶応 2年	1866	禅宗穢多宗門帳	三月上市田村
1233	慶応 2年	1866	法花宗門御改帳	三月上市田村
1234	慶応 2年	1866	奉拝借金子證文之事 (十兩)	
1235	慶応 2年	1866	奉拝借金子證文之事 (三十五兩)	
1236	慶応 2年	1866	御見廻受納帳	
1237	慶応 2年	1866	秋葉山参詣ニ付御親別覚帳	間屋払
1238	慶応 2年	1866	乍恐以書付奉願上候	凶作につき御検見下され度
1239	慶応 2年	1866	覚	当時の米相場
1240	慶応 3年	1867	出火ニ付御見舞受納帳	
1241	慶応 3年	1867	遠山八重河内より陳情帳一件	三点
1242	慶応 3年	1867	盗難届	
1243	慶応 3年	1867	奉請取米之事	
1244	慶応 3年	1867	乍恐以書付御届申上候	行倒れ病人の届出
1245	慶応 3年	1867	乍恐以書付奉御届候	正月御樽銭献納名簿三点
1246	慶応 3年	1867	御用人馬継立日ノ帳	正月より
1247	慶応 3年	1867	御用人馬継立日ノ帳	5月・7月の2冊
1248	慶応 3年	1867	卯盆前諸入用割合帳	
1249	慶応 3年	1867	御領分村々高付帳	
1250	慶応 3年	1867	一ヶ月每人馬立取調帳	市田宿
1251	慶応 3年	1867	郷借金銘々割賦借り高留帳	
1252	慶応 3年	1867	御借金利足取集帳	
1253	慶応 3年	1867	観音堂壁修復入用並二人足控帳	
1254	慶応 3年	1867	国役金高掛り銘々取集帳	
1255	慶応 3年	1867	諸神御礼天降祭礼神酒料並村方非常龍水代料銘々割合帳	
1256	慶応 3年	1867	御拝借返納米銘々付分帳	
1257	慶応 3年	1867	吹笛料納入書 四点	知久平村 宮内金左衛門
1258	慶応 3年	1867	追分錦屋方村金借用人利足取集帳	
1259	慶応 3年	1867	卯年免状之事 上市田村	
1260	慶応 3年	1867	卯年免定之事 下市田村	
1261	慶応 3年	1867	御陣屋修復ニ付御手伝献納金	他二冊
1262	慶応 3年	1867	借用申金子之事	證書
1263	慶応 3年	1867	借用申金子之事	
1264	慶応 3年	1867	乍恐以書付奉申上候	江戸表へ繰出し人夫の件
1265	慶応 3年	1867	以書付奉申上候	八重河内村百姓御役所へ出訴
1266	慶応 3年	1867	乍恐以書付奉願上候	借用米のこと
1267	慶応 3年	1867	定 (免許書)	複写せず
1268	慶応 3年	1867	差出申一札之事	出火の件 榊沼佐右衛門殿
1269	慶応 3年	1867	差出申一札之事	出火の件 御役人御衆中・村方御衆中
1270	慶応 3年	1867	乍恐以書付御願奉申上候	
1271	慶応 3年	1867	乍恐以書付奉申上候	諸神佛の礼守空より降り下り不思議
1272	慶応 3年	1867	石塔寄ニ付御見舞受納帳	
1273	慶応 4年	1868	御用人馬継立日ノ帳	六月より
1274	慶応 4年	1868	伊那街道市田宿人馬賃銭書上帳	
1275	慶応 4年	1868	伊那街道市田宿の実態証明	
1276	慶応 4年	1868	伊勢御迂宮御榊掛金之通	
1277	慶応 4年	1868	御差紙一通	二点
1278	慶応 4年	1868	乍恐以書付御届奉申上候	村方弥藏東方より出火仕候旨
1279	慶応 4年	1868	乍恐以書付御敷願奉申上候	凶年につき米六拾俵大倉米として拝借いたし度
1280	慶応 4年	1868	薬酒製造株について願上	
1281	慶応 4年	1868	諸御用ニ付御日雇人足差出帳	
1282	慶応 4年	1868	御用状御先触請取帳	
1283	慶応 4年	1868	村方在人足勤方ノ帳	
1284	慶応 4年	1868	御用人馬継立日ノ帳	九月より
1285	慶応 4年	1868	荒神様御社修復石垣再建請入用帳	

1286	慶応 4年	1868	辰盆前諸入用割掛帳	
1287	慶応 4年	1868	尾洲御役人様御殊宿二付入用調帳	
1288	慶応 4年	1868	徳川家御制札写	
1289	慶応 4年	1868	西国三十三ヶ所尊像入佛二付観音堂再建入用留帳	
1290	慶応 4年	1868	高松殿外諸士方御通行二付、非常人足相詰候御手当米割合帳	
1291	慶応 4年	1868	白米焚き出し覚	
1292	慶応 4年	1868	伯方御触書并二他所来状	
1293	慶応 4年	1868	助人足調高書上帳	当五ヶ村并南山郷福与郷宿方江
1294	慶応 4年	1868	京都堂上方助郷人馬繰出之控帳	当宿役元
1295	慶応 4年	1868	乍恐以書付奉願上候	大島川分水場普請
1296	慶応 4年	1868	乍恐以書付奉願上候	
1297	慶応 4年	1868	奉拝借金子證文之事	
1298	慶応 4年	1868	乍恐以書附御届奉申上候	
1299	慶応 4年	1868	乍恐以書付奉願上候	
1300	慶応 4年	1868	乍恐以書付奉願上候	諸色高値につき手当増額願
1301	慶応 4年	1868	借用金返済方取極メ	返済条件
1302	慶応 4年	1868	奉請取伝馬人足賃銭之事	
1303	慶応 4年	1868	助郷につき願上	
1304	慶応 4年	1868	助郷につき願出	
1305	慶応 4年	1868	拝借仕金子之事	
1306	慶応 4年	1868	乍恐以書附御届申上候	酒造株の件
1307	慶応 4年	1868	乍恐以書付奉願上候	築酒製造株の件 柏原山分方
1308	慶応 4年	1868	御用人馬繰立月々帳	二冊
1309	慶応 4年	1868	京都堂上方諸家御通行二付駅々通達書留	
1310	慶応 4年	1868	人足割合勘方宿駕籠諸下着	官軍先鋒教導隊備人足四百二十六人馬二十疋
1311	慶応 4年	1868	乍恐以書付奉願上候	年始御祝儀辰年より金五百疋となされ度
1312	慶応 4年	1868	高掛御用金銘々割合帳	
1313	慶応 4年	1868	御先触写	
1314	慶応 4年	1868	御先触 4点	
1315	慶応 4年	1868	駅通司より通達書一括	
1316	明治 元年	1868	触書	追て此触書の表 承知之旨
1317	明治 元年	1868	御触	総督府執事より
1318	明治 元年	1868	乍恐以書付御届奉申上候	当辰年七十歳以上の者四名
1319	明治 元年	1868	御触書一冊	東山道鎮撫總督より農商江布告
1320	明治 元年	1868	飯田御取締相成始御触書	
1321	明治 元年	1868	御用書写	東山道鎮撫總督より農商江布告
1322	明治 元年	1868	御触之事	駅通司より駅にての取扱方を行政官より貨幣其他について
1323	明治 元年	1868	御達書	神職僧位僧官等、慶長金、其他貨幣換方等の御達
1324	明治 元年	1868	縁組規則	
1325	明治 元年	1868	王政御新ニツキ上市田村ヨリ伊那県差出シタル絵	
1326	明治 元年	1868	上市田村大絵図	
1327	明治 元年	1868	人馬立辻取調帳	市田宿 六月より一二月
1328	明治 元年	1868	人馬立辻取調帳	市田宿 正月より五月迄
1329	明治 元年	1868	御借り入米五拾依銘々割合帳	
1330	明治 元年	1868	御蔵へ上納米銘々依数付	
1331	明治 元年	1868	攝洲西宮修費二付宮内左膳殿用立金へ村方銘々助力付	
1332	明治 元年	1868	文久元百年御蔵入札代金地年貢米元利調帳	
1333	明治 元年	1868	御布告書御請書一冊	王政一新之折柄旧弊ハ除キ澤テ御改正相成度御第一御定ノ制札、御年貢、諸役土地ノ売買、人ノ先買一切停止ノ事
1334	明治 元年	1868	御伝馬当座書抜帳	
1335	明治 元年	1868	伊那県御用掛御用状書 (二冊のうち その1)	御伝馬所
1336	明治 元年	1868	伊那県御用掛御用状各 (二冊のうち その2)	御伝馬所
1337	明治 元年	1868	御伝馬当座書抜帳	
1338	明治 元年	1868	増助人足につき	
1339	明治 元年	1868	辰年免定之事	飯田御取締所収税方
1340	明治 元年	1868	伊那街道大島宿より中仙道塩尻宿間屋迄御宿々賃銭請取帳	
1341	明治 元年	1868	大島川分水普請場大破	
1342	明治 元年	1868	乍恐以書附御敷願奉申上候	夫食米拝借の敷願
1343	明治 初年	1868	送籍届書	計二十八点
1344	明治 初年	1868	土地各筆測量原図ナラン	原始的ノモノ、器械ニヨラス
1345	明治 初年	1868	諸届調、書類一括 約三十点	
1346	明治 初年	1868	書翰二点	牛牧村より年番所へ
1347	明治 初年	1868	公文書一括	上市田下市田対外三ヶ村山道ニツキテ外十数件
1348	明治 初年	1868	伊那郡より太政官の御達	
1349	明治 1年	1868	人馬繰立の先触割賦廻状	
1350	明治 1年	1868	村の様子大概書上帳	
1351	明治 1年	1868	観音堂再建勸化帳	
1352	明治 1年	1868	筑摩県よりのお触	
1353	明治 2年	1869	江戸大文其他区説明絵図	
1354	明治 2年	1869	信濃国伊那郡上市田村様子大概書上帳	
1355	明治 2年	1869	宿方由縁其外御尋被遊候につき言上書 一冊	市田宿

1356	明治 2年	1869	宿方由緒其外御尋被遊候二付言上書 巻冊	市田宿
1357	明治 2年	1869	乍恐以書付御届奉申上候	春夏蚕繭
1358	明治 2年	1869	勤人馬調帳	下市田村、吉田村、牛牧村、大島山村、出原村
1359	明治 2年	1869	上市田宿附屬村書上帳(写)	
1360	明治 2年	1869	上市田宿附屬村書上帳(正)	高武石安養寺領、高三石松源寺領、高三石諏訪大明神、高武拾五石瑠璃寺領 明治二巳年三月十二日
1361	明治 2年	1869	差上申定備人馬御請書之事	一人足拾貳人、巻人二付巻ヶ年金拾四兩馬貳疋巻貳二付巻ヶ年金式拾八兩
1362	明治 2年	1869	今般御一新二付全国諸街道宿方議事案	
1363	明治 2年	1869	附屬村書上帳	
1364	明治 2年	1869	御請書差上申二等備御請書之事	
1365	明治 2年	1869	上市田村様子大概書上帳	
1366	明治 2年	1869	御触書	
1367	明治 2年	1869	御一新二付伊那街道・宿々規則御定二而・所々出張諸調共請入用勘定帳	
1368	明治 2年	1869	五ヶ村高家数人馬取調帳	
1369	明治 2年	1869	人馬立立諸入用取調書上帳	
1370	明治 2年	1869	人馬立立五ヶ年惣辻	
1371	明治 2年	1869	御伝馬所人馬五ヶ年惣辻	
1372	明治 2年	1869	人馬立立諸入用取調書上帳	元治元年より明治元年迄
1373	明治 2年	1869	人馬立立五ヶ年惣辻	
1374	明治 2年	1869	宿役人給金取調書上帳	
1375	明治 2年	1869	小役違取調書上帳	子年—辰年迄
1376	明治 2年	1869	乍恐以書付願上候	各宿より印章御下渡下さる様(他二枚)
1377	明治 2年	1869	御預り米請取	
1378	明治 2年	1869	乍恐以書付奉願上候	
1379	明治 2年	1869	乍恐以書付奉願上候	永定免に成し下され度
1380	明治 2年	1869	乍恐以書付奉願上候	冷気難渡につき水田御内見下さるやう
1381	明治 2年	1869	覚	御上納米高差引調帳
1382	明治 2年	1869	凶作につき充分御検見下さるやう願出	
1383	明治 2年	1869	乍恐以書付御届奉申上候	小物成并百姓持林御運上等
1384	明治 2年	1869	上市田養蚕生産高	春夏蚕にて百二十貫
1385	明治 2年	1869	御尋につき乍恐書付左に奉申上候	名主役料米三石式升式合八匁七匁
1386	明治 2年	1869	往來一札之事	木曾御嶽山へ心願有之登山者四人の往來につき
1387	明治 2年	1869	御布告留帳	行政官、民部官より御布告留
1388	明治 2年	1869	御触書一冊	2月
1389	明治 2年	1869	百姓持林の内伐採候二付反別代料御届書	
1390	明治 2年	1869	御触書	3月
1391	明治 2年	1869	御触書	4月
1392	明治 2年	1869	御用状御先触請取帳 四冊	
1393	明治 2年	1869	御用状御先触受取帳	
1394	明治 2年	1869	子年ヨリ辰年迄小役違取調書上帳	
1395	明治 2年	1869	御用人馬立立日×帳	
1396	明治 2年	1869	御免定字書上帳	
1397	明治 2年	1869	御尋二付取調書上帳	人馬立立総数其他諸調
1398	明治 2年	1869	宿方由緒其外御尋被遊候二付申伝仕來之廉々取調書上帳	
1399	明治 2年	1869	上市田村已正租割付之事	伊那県
1400	明治 2年	1869	大島宿以北五ヶ村よりの願書控	
1401	明治 2年	1869	乍恐書付を以て御届奉申上候	各村の御高札場より各村への町数書
1402	明治 2年	1869	不作困窮につき米御拂下げ下さる様願	上市田村より御役所へ
1403	明治 2年	1869	米五俵御拂被下度願出	上市田役人より伊那県御役所へ
1404	明治 2年	1869	本田新田取米御高調帳	下牛牧村
1405	明治 2年	1869	本田新田取米調帳	牛牧村
1406	明治 2年	1869	人馬立立高、并貸錢請取高、等取調帳写	市田宿 元治元年より明治元年迄
1407	明治 2年	1869	人馬立立高并貸錢請取高等取調帳写	市田宿 元治元年より明治元年迄
1408	明治 2年	1869	御伝馬二付宿方諸入用調	元治元年ヨリ明治元年迄市田宿
1409	明治 2年	1869	当己御年貢米御中札並石代金納分御願書	
1410	明治 2年	1869	宿方諸入費、入作分高割、取集金貸付利揚積立帳	
1411	明治 2年	1869	伊那県様ヨリ御憐恤米割賦帳	
1412	明治 2年	1869	式分金銘々調書上帳	式分金引替札控帳分一冊
1413	明治 2年	1869	飯島役人調式分金渡し覚帳	
1414	明治 2年	1869	式分金取集覚帳	飯島町権四郎殿より御沙汰につき
1415	明治 2年	1869	金銭村札出来高并組々割付帳	
1416	明治 2年	1869	人馬割入帳	御一新直後用人往來シキリ也
1417	明治 2年	1869	人馬日×帳	用人ノ往來シキリナリ
1418	明治 2年	1869	二等勤人馬通 市田駅付属	下市田村・牛牧村・吉岡村
1419	明治 2年	1869	人馬触宛帳	
1420	明治 2年	1869	村方田畑、反別、取調書上写	
1421	明治 2年	1869	勤人馬割賦	
1422	明治 2年	1869	勤人足割賦につき願上 六点	
1423	明治 2年	1869	御尋二付書上帳	
1424	明治 2年	1869	租税皆済目録	
1425	明治 2年	1869	已正租割付之事	伊那県御印
1426	明治 2年	1869	御用状入足調帳	

1427	明治 2年	1869	年内出入覚帳	
1428	明治 2年	1869	助郷人足取替に付 伊那県様へ書上候人足割合控帳	
1429	明治 2年	1869	米五十俵拝借御請書字	表紙のみ
1430	明治 2年	1869	信濃国伊那郡上市田村様子大概書上帳	2冊
1431	明治 2年	1869	判取	
1432	明治 2年	1869	親音堂持惣積金・郷藏代金并屋舗米金取調貸附帳	
1433	明治 2年	1869	不作につき御救下賜	唐傘村よりの嘆願に対し伊那県方飯田御取締役所へ
1434	明治 2年	1869	御先觸見出帳	市田駅御伝馬所
1435	明治 2年	1869	御請書	上市田村三役人
1436	明治 2年	1869	神社由緒書上帳	四冊
1437	明治 2年	1869	宿方由緒其外御尋被遊候ニ付言上書	
1438	明治 2年	1869	拝借仕候御米之事	
1439	明治 2年	1869	御免定写	
1440	明治 2年	1869	人馬請負書上帳	
1441	明治 2年	1869	租税皆済免状、品用向入	袋のみ
1442	明治 2年	1869	乍恐以書付奉願上候	駅通改正につき上市田役人よりの一札
1443	明治 2年	1869	乍恐以書付奉願上候	上市田村より伊那県へ歎願
1444	明治 2年	1869	御触書留	
1445	明治 3年	1870	人馬指定立人馬月給帳・伝馬町諸費仕訳帳	
1446	明治 3年	1870	御先觸見出帳	午正月より
1447	明治 3年	1870	人馬月々書上帳	伊那街道市田宿
1448	明治 3年	1870	二等入馬贖勘定帳	午九月
1449	明治 3年	1870	伝馬所諸入費総括取調帳	
1450	明治 3年	1870	伝馬所諸入費御下渡二付総括帳	
1451	明治 3年	1870	二等入馬贖勘定帳	巳正月
1452	明治 3年	1870	御一新二付諸宿駅更御規則改書字	大政官よりの布告陸運について
1453	明治 3年	1870	諸入費総括帳 二等入馬贖帳	
1454	明治 3年	1870	役人給分取調帳	
1455	明治 3年	1870	藩県官員方々上田表御集金二付定立人馬減少御達字	
1456	明治 3年	1870	伝馬所賃銭差引覚帳	
1457	明治 3年	1870	二倍預書上帳	
1458	明治 3年	1870	伝馬屋敷東西南北間数書上帳	
1459	明治 3年	1870	人馬日締帳	正月より6月
1460	明治 3年	1870	定立人馬月給并馬指小使月給渡元金御利足共調書上帳	
1461	明治 3年	1870	議事案	伊那街道市田宿控
1462	明治 3年	1870	伊那街道宿々伝馬所諸事伺書字	
1463	明治 3年	1870	伊那県駅通掛御出役宿方御改正伺書上難形字	
1464	明治 3年	1870	駅通御規則御改正二付藩県御歎願書字	
1465	明治 3年	1870	御伝馬所入費金高、宿并付属村高、駅法御廃止二付御達請書字	市田宿御伝馬所
1466	明治 3年	1870	人馬賃銭之内割銭取調帳	
1467	明治 3年	1870	諸入費違拂高書上帳	
1468	明治 3年	1870	御沙汰に付無賃人足取調差出帳字	
1469	明治 3年	1870	日々人馬勤方控帳	午九月より・午二月より(2冊)
1470	明治 3年	1870	御先觸見出帳	
1471	明治 3年	1870	御沙汰二付出取調御届書	
1472	明治 3年	1870	跡拂人足賃取調書上帳	明治三年四月ヨリ五年八日迄
1473	明治 3年	1870	二等勤人馬通	下市田村、上牛牧村、下牛牧村
1474	明治 3年	1870	相対人馬三歩増割銭取調書上帳	
1475	明治 3年	1870	人馬日締帳	7月～12月
1476	明治 3年	1870	人馬差小使給分、定立二等入馬給 月々割渡勘定帳	
1477	明治 3年	1870	人馬触当帳	
1478	明治 3年	1870	無賃御用状御離立書上帳	
1479	明治 3年	1870	駕籠人足賃預帳	
1480	明治 3年	1870	松島駅伝馬所諸入用支拂帳	
1481	明治 3年	1870	無賃御用状御離立書上帳	
1482	明治 3年	1870	伊那街道市田宿附属御請印帳	
1483	明治 3年	1870	伝馬所諸入用毎月調上帳	市田宿
1484	明治 3年	1870	御伝馬助入馬判取帳	下市田村
1485	明治 3年	1870	御定賃銭拾二倍ノ内二倍預り帳	
1486	明治 3年	1870	役人人馬給分御下々金凡割帳	
1487	明治 3年	1870	日々立人馬勤方控帳	
1488	明治 3年	1870	人馬日締帳	7月
1489	明治 3年	1870	御検見入二付村々銘々薛畝歩取調帳	
1490	明治 3年	1870	当午立毛内見合付帳	
1491	明治 3年	1870	検見につき回覧状	
1492	明治 3年	1870	午、田方毛付内見帳	信濃国伊那郡上市田村役元控
1493	明治 3年	1870	午田方毛附早稲田ノ分内見帳	
1494	明治 3年	1870	午田方毛附内見帳	信濃国伊那郡上市田村
1495	明治 3年	1870	午田方毛附内見帳	信濃国伊那郡上市田村役場控
1496	明治 3年	1870	下市田村外二ヶ村当已用水管繕出来形帳	
1497	明治 3年	1870	市田局御蔵願下二相成御沙汰二付郷藏古屋敷御年貢に關する件	

1498	明治 3年	1870	午租税皆済目録	伊那県庁へ上市田村
1499	明治 3年	1870	大神宮様荒神様御家根替二付諸色出控帳	
1500	明治 3年	1870	国役金割合取集帳	
1501	明治 3年	1870	午年式割之利米銘々取集帳	
1502	明治 3年	1870	村金・観音金歳々利足皆済帳	
1503	明治 3年	1870	村方融通安米割附帳	
1504	明治 3年	1870	新屋敷へ増税二付地主共本高二入割掛帳	
1505	明治 3年	1870	田方銘々諸取調帳	
1506	明治 3年	1870	所有者別立木取調帳	
1507	明治 3年	1870	持林坪反別取調元帳	
1508	明治 3年	1870	市田町伝馬屋敷畑并添敷林坪数調帳	
1509	明治 3年	1870	駕籠人足出し調書帳	
1510	明治 3年	1870	二等入馬触宛帳(原本)	
1511	明治 3年	1870	二等入馬触宛帳(写)	
1512	明治 3年	1870	入馬日締帳	
1513	明治 3年	1870	法花宗門御改帳 上市田村	
1514	明治 3年	1870	借家人別御改帳 上市田村	
1515	明治 3年	1870	入馬家数御改帳 上市田村	
1516	明治 3年	1870	浄土宗門御改帳 上市田村	
1517	明治 3年	1870	禅宗門御改帳 上市田村	
1518	明治 3年	1870	駅通司様より御用状御継立取調帳書上帳	・右伊那県様より御沙汰二付書上候下書
1519	明治 3年	1870	駅通司様より御用状御用物継立高書上帳	
1520	明治 3年	1870	駅通御触并駅々廻達諸用書留	
1521	明治 3年	1870	伊那県占租税皆済目録写	
1522	明治 3年	1870	伝馬所諸入用取替分拂方覚帳	
1523	明治 3年	1870	午租税可納割付之事	伊那県庁
1524	明治 3年	1870	御傳馬・村役勤外諸色控帳	
1525	明治 3年	1870	相対入馬三歩増制銭取調書上帳	
1526	明治 3年	1870	一 高百八拾三石六斗七升七合	
1527	明治 3年	1870	地租改正綴り一銘々田方薛高メ寄帳他	
1528	明治 3年	1870	覚	
1529	明治 3年	1870	入馬日締帳	午正月より六月
1530	明治 3年	1870	算法覚	
1531	明治 3年	1870	諸案留	
1532	明治 3年	1870	四拾八ヶ村入用割賦帳	
1533	明治 3年	1870	市田駅諸入用留	
1534	明治 3年	1870	相対馬助方控帳	
1535	明治 3年	1870	租税石代金納通	
1536	明治 3年	1870	地券(十六枚)	
1537	明治 3年	1870	七月・八月定立并二等馬取調書上帳	市田宿
1538	明治 3年	1870	制札帳(御達と中定)	
1539	明治 3年	1870	信濃一般給分定立帳	各道役員表外
1540	明治 3年	1870	御沙汰二付乍恐以書付奉申上候	上市田村助郷附属村
1541	明治 3年	1870	酒造道具御拂二付入札金高御伺書	
1542	明治 3年	1870	御届書写	石高・戸数・人員届
1543	明治 3年	1870	御歎願書	坪蒔りの上増殺された件
1544	明治 3年	1870	禅宗機多宗門帳	七月上市田村
1545	明治 3年	1870	大鳴川 井口御見分入用留	
1546	明治 3年	1870	以上上書申上候	中仙道木曾宿へ助郷組替相成候も難決にて
1547	明治 3年	1870	定立入馬月給并馬指小使月給渡 傳馬所諸入用勘定書上帳	
1548	明治 4年	1871	御布告留	
1549	明治 4年	1871	御一新前元貨銭記	大島宿に人足一人三銭四文銭尻四銭一文、本馬一疋六銭四文
1550	明治 4年	1871	入馬指定恣人足月給帳他の下書控	伝馬所諸入費巨細書上帳、相対三分増制銭帳も
1551	明治 4年	1871	御伝馬所諸入費巨細書上帳	
1552	明治 4年	1871	伝馬町詰并給料割合帳	
1553	明治 4年	1871	二等入足蹟費取調候処相違御座無く候	
1554	明治 4年	1871	定立馬・二等馬 月給書上帳	
1555	明治 4年	1871	駅通御改正御規則	
1556	明治 4年	1871	郵便飛行御答書	
1557	明治 4年	1871	差上申御請書之事	駅通之義御改正規則
1558	慶応 4年	1871	乍恐以書附奉願上候	上市田村
1559	明治 4年	1871	宇増野原開拓二付為取替規定書写	
1560	明治 4年	1871	村方持馬御尋二ツキ御届書写	
1561	明治 4年	1871	市田局内剣術御稽古所伺書	
1562	明治 4年	1871	御届書写	米380俵荒麦120俵
1563	明治 4年	1871	伊那街道市田宿御免許地反別書上帳	
1564	明治 4年	1871	新規醸造御鑑札願書	
1565	明治 4年	1871	新貨幣御鑄造條例別冊	
1566	明治 4年	1871	酒醸造方締筋御布告写	
1567	明治 4年	1871	蚕種規則付録書写	
1568	明治 4年	1871	太政官、伊那県庁より流行病につき御達	
1569	明治 4年	1871	皇太神宮、石薬師正面絵図	

1570	明治 4年	1871	人足日締帳	未11月分
1571	明治 4年	1871	御一新宿々規則 立替所、出張宿、其他諸入費等勘定帳	
1572	明治 4年	1871	伝馬所諸入費総括帳	
1573	明治 4年	1871	御藩送之者差添人名前留帳	
1574	明治 4年	1871	人足日締帳	未8月分
1575	明治 4年	1871	人足日締帳	10月分
1576	明治 4年	1871	人足日締帳	未12月分
1577	明治 4年	1871	日々立人足勤方控帳	
1578	明治 4年	1871	貯穀依数諸書上帳	
1579	明治 4年	1871	未田方毛付内見帳	
1580	明治 4年	1871	御検見御役人出張御先触並御暇村の休泊付写	
1581	明治 4年	1871	未田方毛付内見帳	
1582	明治 4年	1871	当未田方早稲分毛付内見帳	
1583	明治 4年	1871	大島山・牛牧 井口普請人足割勘定帳	
1584	明治 4年	1871	去午年入用書上帳 (原本)	
1585	明治 4年	1871	去午年入用書上帳 (下書き)	
1586	明治 4年	1871	大島山・牛牧井口人足勤日控帳	
1587	明治 4年	1871	生徒授業料取集帳	
1588	明治 4年	1871	覚	ポルト扱代三人、代金二分
1589	明治 4年	1871	井口普請人足勘定帳	
1590	明治 4年	1871	市田局敷地願書	
1591	明治 4年	1871	為取替申一札之事	大島山井口普請につき五ヶ条の条々双方談の上議定仕る書
1592	明治 4年	1871	貯穀銘々出数書上帳	
1593	明治 4年	1871	国役金御陣屋管繕高掛銘々取集帳	
1594	明治 4年	1871	新屋敷地高反別取調帳	7月16日
1595	明治 4年	1871	新屋敷地有形間数調帳	7月
1596	明治 4年	1871	宗門人別改帳	
1597	明治 4年	1871	諸入費書留帳	御伝馬所
1598	明治 4年	1871	新規醸造御鑑札願書	
1599	明治 4年	1871	未租税金受取 壬申租税金請取証	筑摩県飯田出張所
1600	明治 4年	1871	法華宗門御改帳	
1601	明治 4年	1871	借家人別御改帳	
1602	明治 4年	1871	人馬家数御改帳	
1603	明治 4年	1871	禅宗織多宗門帳	
1604	明治 4年	1871	譲渡申加地證書之方事	
1605	明治 4年	1871	宇大鳴川分水場御普請出来御手当取願書	
1606	明治 4年	1871	市田局御門前道願書	
1607	明治 4年	1871	村持神社御届書 写	
1608	明治 4年	1871	以書附奉申上候	社中巨細取調
1609	明治 4年	1871	記 (伊勢神社・荒神社)	外に天照大神社
1610	明治 4年	1871	神社取調書上帳	
1611	明治 4年	1871	西宮木敷取調帳	
1612	明治 4年	1871	無賃人足取調書上帳	包みのみ
1613	明治 4年	1871	給料事務の下書	
1614	明治 4年	1871	人馬巨細取調帳 (市田駅伝馬所)	
1615	明治 4年	1871	二等人足贖勘定帳	
1616	明治 4年	1871	人馬勤数之月給割合皆済帳	市田宿伝馬所
1617	明治 4年	1871	人馬指小使月給・定立人馬月給 書上帳	市田宿御伝馬所 明治4年～7年
1618	明治4年～7年まで	1871	明治四本租税石代金納通	
1619	明治 4年	1871	制札板 (定)	何事によら須よろしからさる事
1620	明治 4年	1871	制札板 (定)	一切支丹宗門之儀者御定迄御制禁之通堅く可相守事
1621	明治 4年	1871	續国史略 ①②⑤号	
1622	明治 4年	1871	上 乍恐以書付御届奉申上候	上市田村三役人よりの御届
1623	明治 4年	1871	伊那街道市田宿敷地御免許地反別取調書上帳	一冊
1624	明治 4年	1871	書附一札之事	畑普請約足達
1625	明治 4年	1871	神社取調書上帳	
1626	明治 4年	1871	大鳴川井口普請入用割勘定帳	三ヶ村用
1627	明治 4年	1871	浄土宗門御改帳	上市田村
1628	明治 5年	1872	定免御願二付取調書上之帳	文久2年ヨリ明治4年迄
1629	明治 5年	1872	七尾島高岡出張所江老封添	
1630	明治 5年	1872	陸運会社方法何書	規則書賃銀等スベテ判明
1631	明治 5年	1872	申盆前諸拂方調立皆済帳	
1632	明治 5年	1872	中牛馬会社御規則書	
1633	明治 5年	1872	伝馬人足給米料割渡帳	陸運会社
1634	明治 5年	1872	人馬賃錢積表	
1635	明治 5年	1872	陸運賃錢書上帳	
1636	明治 5年	1872	伝馬所諸入費総括取調帳	
1637	明治 5年	1872	二等人足贖勘定帳	
1638	明治 5年	1872	乍恐以書付奉願上候	元賃錢拾倍を相当相増し下さる様願出、上清内路宿原惣右衛門外
1639	明治 5年	1872	乍恐以書付奉願上候	元賃錢の十倍増額下さる様各宿連署を以て願出 市田駅大鳴四郎平外
1640	明治 5年	1872	各駅連署にて荷物取扱上について願出	

1641	明治 5年	1872	陸運会社御取建御触書	
1642	明治 5年	1872	駅通御触並宿之廻達諸用書留	市田宿御伝馬所
1643	明治 5年	1872	貨錢後拂之義況摩令に報告	
1644	明治 5年	1872	乍恐以書付御届奉申上候	上市田村蘭九拾五貫目
1645	明治 5年	1872	信濃国伊那郡上市田村土地、物産ノ書上	
1646	明治 5年	1872	従行政官御布告	
1647	明治 5年	1872	村方四方間敷地形高下積帳	上市田村往還の西側、東側の家並の屋敷の調らしい
1648	明治 5年	1872	駅屋敷地引書上下帳	
1649	明治 5年	1872	調モノ類一括	
1650	明治 5年	1872	飯田出張所へ差出シタル上市田村絵図	
1651	明治 5年	1872	伊那街道市田宿屋鋪地絵図面	記名間口、奥行、間数、坪数、記入アリ
1652	明治 5年	1872	村内宅地耕地絵図	田畑実地仕訳地代金共時々直段付ス
1653	明治 5年	1872	上市田村絵図面小形	
1654	明治 5年	1872	市田宿絵図面奉差上候	
1655	明治 5年	1872	御用状御先触書留	
1656	明治 5年	1872	大鳴川井口出入足賃相渡帳	
1657	明治 5年	1872	申盆前村役人足賃差引帳	
1658	明治 5年	1872	大神宮大森初穂名前帳	
1659	明治 5年	1872	大島川井口普請人足勤帳	
1660	明治 5年	1872	宿々入費全国割取集帳	
1661	明治 5年	1872	皇大神宮様御麻初穂料取集帳	
1662	明治 5年	1872	大神宮様屋根替入用取集帳	
1663	明治 5年	1872	国役金高割取集帳	
1664	明治 5年	1872	村方町敷地形高低外一切有無品々下調帳	
1665	明治 5年	1872	神幕祭略式御達之写	
1666	明治 5年	1872	筑摩県管轄第百四拾貳区戸籍之三	戸籍法の始なるか
1667	明治 5年	1872	新開地引書上下帳	
1668	明治 5年	1872	観音堂什物并良源尼所持品諸品懸調帳	
1669	明治 5年	1872	基本貫割合帳	
1670	明治 5年	1872	六ヶ村入用割帳	
1671	明治 5年	1872	六ヶ村貫差引并三ヶ村・四ヶ村共勘定取集帳	
1672	明治 5年	1872	病院加入金取集帳	
1673	明治 5年	1872	山田、山畑御検見請場所反別調帳	
1674	明治 5年	1872	東裏畑・山耕畑内竿入取集帳	
1675	明治 5年	1872	田方銘々高反別仕訳下帳	
1676	明治 5年	1872	田畑作り揚高上・中・下仕訳方・引帳	最初調分
1677	明治 5年	1872	畑畔検地二番帳	
1678	明治 5年	1872	土地検地参考調	
1679	明治5年ヨリ明治6年迄	1872	地券勘定差引帳	
1680	明治 5年	1872	出生録謄入別届ヶ下控帳	
1681	明治 5年	1872	小前駄賃稼御願書之事	
1682	明治 5年	1872	諸用留日記	
1683	明治 5年	1872	伝馬所諸入費総括取調下書帳	
1684	明治 5年	1872	伝馬所諸入費役人・人足給米書上帳	
1685	明治 5年	1872	譲渡申地所證書之事	
1686	明治 5年	1872	牛牧村入作之通	他一通
1687	明治 5年	1872	おぼへ 役所へ納めた学校加入金	
1688	明治 5年	1872	伝馬所諸入費総括取調帳	正月より六月まで
1689	明治 5年	1872	屋敷税半額願 (二枚)	
1690	明治 5年	1872	乍恐以書付御届奉申上候	
1691	明治 5年	1872	武器類取調帳	
1692	明治 5年	1872	蚕玉録神酒料取集帳	
1693	明治 5年	1872	覚物帳	
1694	明治5年～7年	1872	諸費取調書上扣	明治五年壬申分・明治六年癸酉分・明治七年甲戌分
1695	明治 5年	1872	跡目相続について	
1696	明治 5年	1872	乍恐以書付御届奉申上候	諸調査
1697	明治 5年	1872	観音林大丸山穴崩之書付外	
1698	明治 5年	1872	書付之事 (下書)	下市田役人へ上市田役人方
1699	明治 5年	1872	書附之事	上市田村役人方下市田村役人へ
1700	明治 5年	1872	御届書 (慈眼庵龍玄尼)	
1701	明治 5年	1872	殊入盗賊-付御届書	
1702	明治 5年	1872	伊那県庁より御達	粉食について
1703	明治 5年	1872	差出申一札之事	土地取換のための件
1704	明治 6年	1873	非常人馬御規則写	
1705	明治 6年	1873	御伝馬所諸役人馬指給分帳	
1706	明治 6年	1873	奉差上御請書之事	非常人馬御請書
1707	明治 6年	1873	諸入費取調帳	
1708	明治 6年	1873	差上申済口証文之事	入会原野のことで両者熟談内済証文
1709	明治 6年	1873	醸造御規則、病院開立御達	
1710	明治 6年	1873	村内の概要回答書	
1711	明治 6年	1873	証券印税心得	

1712	明治 6年	1873	御沙汰二付田地売買・諸入費高・積添初高書上下帳	
1713	明治 6年	1873	松本・飯田・両門屋へ御渡書の写	市田宿 門屋 関川源左衛門
1714	明治 6年	1873	御用状案内状留帳	
1715	明治 6年	1873	吉田村・大島山村・牛牧村三ヶ村入会草場に付き掛合口上書留帳	筑摩県権令永山盛輝殿
1716	明治 6年	1873	十七才ヨリ四十才未満御届書	
1717	明治 6年	1873	筑摩県下松本博覧会規則	
1718	明治 6年	1873	明年十七才之者御届書	
1719	明治 6年	1873	第十九大区小一区成丁御届書	
1720	明治 6年	1873	区内戸籍表(集計表)	
1721	明治 6年	1873	差上申済口証文の事	上下市田村より他四村に対し入会草場に付き申入れの件
1722	明治 6年	1873	長幅給米ニヶ年分下市田村大内介給米其他銘々取集帳	
1723	明治 6年	1873	再調田畑地引下帳	
1724	明治 6年	1873	諸証文裏印帳	
1725	明治 6年	1873	全国金高割・戸長副入用戸籍割取集帳	六所差引帳
1726	明治 6年	1873	基本貫宅依二付凡巻分宛取集帳	
1727	明治 6年	1873	地券調二付出勤人数ノ上帳	
1728	明治 6年	1873	盆前諸拂方書抜帳	
1729	明治 6年	1873	明治五年分国役金高掛取集帳	
1730	明治 6年	1873	幕貫凡割付拂方覚帳	
1731	明治 6年	1873	村役人足勤賃割合帳	
1732	明治 6年	1873	山田・山畑再調帳	
1733	明治 6年	1873	田畑実坪・高反別・取米従米・惣揚下作業・地代金取調仕訳帳	
1734	明治 6年	1873	戸籍・人口・生年月日・取調下書 其ノ一	
1735	明治 6年	1873	戸籍・人口・生年月日・取調出帳 其ノ二	
1736	明治 6年	1873	地引調代償付上市田村田畑当時現今上・中・下見分下調帳	
1737	明治 6年	1873	検地関係書類	
1738	明治 6年頃	1873	田畑等級付反別調 一括	
1739	明治 6年	1873	検地下調書 其一	
1740	明治 6年	1873	検地下調書 其二	
1741	明治 6年	1873	検地下調書 其三	
1742	明治 6年	1873	検地下調 其四	
1743	明治 6年	1873	宿屋敷地租税半高石代金出金高帳	
1744	明治 6年	1873	五人組釣頭定帳	
1745	明治 6年	1873	備人足勤方控帳	3月12日ヨリ
1746	明治 6年	1873	備人足勤方控帳	酉10月1日ヨリ
1747	明治 6年	1873	副戸長役料書上	
1748	明治 6年	1873	飯田御出張所御管下大区長連名並事務写	
1749	明治 6年	1873	御願書 新規郷蔵一件	
1750	明治 6年	1873	御布告留帳	物産取調につき
1751	明治 6年	1873	銘々臈出来生系改会社との関係届書	役場控
1752	明治 6年	1873	六才ヨリ拾三歳満者取調帳	
1753	明治 6年以降	1873	雜書類綴	
1754	明治 6年	1873	入校の者書上帳	
1755	明治 6年カ	1873	奉願候口上書	廣胖小校性明小校、生徒外調口上書
1756	明治 6年	1873	上市田村学校並旗号御届書	
1757	明治 6年	1873	御届書	病氣ノタメ学校入学アキヌ届
1758	明治 6年	1873	私立学校設立伺	学校位置、名称、学科、教則、校則
1759	明治 6年	1873	元資金加入連名ボ	至急差し出すべく学区取締まり通知
1760	明治 6年	1873	学校積立元金高書上帳	
1761	明治 6年	1873	学校所諸入費割合帳	
1762	明治 6年	1873	式法定め	
1763	明治 6年	1873	戸主ノ書式	
1764	明治 6年	1873	御願書	
1765	明治 6年	1873	癸明治六年御休治記帳	
1766	明治 6年	1873	地券取調に用いた品	地引帳の部分
1767	明治 6年	1873	徴兵連名簿	
1768	明治 6年	1873	明治6年西人員総計御達離形	
1769	明治 6年	1873	明治6年の戸籍の変化	
1770	明治 6年	1873	記(出稼願)	
1771	明治 6年	1873	病院加入金小前帳	
1772	明治 6年	1873	神社書上帳	
1773	明治 6年	1873	明治六年盆前本貫分、一、金四拾六円廿壹錢九厘四毛	
1774	明治 6年	1873	明年拾七歳之者御届書	
1775	明治 6年	1873	戸主本年十七歳ヨリ四十一歳迄取調帳	
1776	明治 6年	1873	御役所之書上の下書入	多くの書付有り
1777	明治 6年	1873	盆前諸入費勘定帳	
1778	明治 6年	1873	学校加入金見込割合	
1779	明治 6年	1873	産神御守札・吉田村祠掌方相渡御初總錢取集帳	
1780	明治 6年	1873	右宿色組合ニ被仰付非常御出兵	
1781	明治 6年	1873	学校所…諸入用割出錢帳	

1782	明治 6年	1873	上市田村 馬数×三拾九疋	
1783	明治 6年	1873	御届奉申上候	
1784	明治 6年	1873	学校入費割合帳	
1785	明治 6年	1873	水車再御届書控	上市田村
1786	明治 6年	1873	村地情景明細表	上市田村
1787	明治 6年	1873	中牛馬会社御創建二付御伺書	
1788	明治 6年	1873	書翰初学抄	
1789	明治 6年	1873	御届送り之者御達御届書	役元
1790	明治 6年	1873	病院加入金申年分鏡々取集帳	
1791	明治 6年	1873	蚕玉様神酒料取集帳・絹貫数調帳	
1792	明治 6年	1873	相定申一札之事	
1793	明治 6年	1873	筑摩県よりの通達扣	
1794	明治 6年	1873	免役連名簿	上市田村
1795	明治 6年	1873	陸運会社賃銭十六倍御定ニ相成書上候表面控	(運賃改正) 市田駅
1796	明治 6年	1873	廻状	
1797	明治 6年	1873	公有地書上	出原村始六ヶ村 龍口村始五ヶ村
1798	明治 7年	1874	諸費取調帳	明治五年・六年分
1799	明治 7年	1874	内国通運会社之中天災非常難事之節共救及約定人馬救助貸付金方法協議書	
1800	明治 7年	1874	各地継立取扱申合規則	
1801	明治 7年	1874	陸運会社・中牛馬会社請負人名取調之件	
1802	明治 7年	1874	通知	駅通につき巡回の注意しおくべき事柄
1803	明治 7年	1874	差出申書付の事	往來の孫人止宿致させた
1804	明治 7年	1874	御用日記留	上市田村戸長所一冊
1805	明治 7年	1874	日本帝国郵便規則改正布告太政大臣ヨリ	外県達
1806	明治 7年	1874	御布達日記留 上市田村役場 (1月28日より)	
1807	明治 7年	1874	御布達日記留 上市田村 (7月上旬より)	
1808	明治 7年	1874	村地情景明細表離形	
1809	明治 7年	1874	願書	山駕篋壳渡致し度願出
1810	明治 7年	1874	諸入費調	筑摩県権令へ提出 上市田村
1811	明治 7年	1874	津島社御祈禱連名控	
1812	明治 7年	1874	村役人足勤賃割合帳	
1813	明治 7年	1874	村役勤人足賃割合帳	
1814	明治 7年	1874	学校元資金割当帳	
1815	明治 7年	1874	村金・親音金貸付名前記帳	
1816	明治 7年	1874	学校書類類込	
1817	明治 7年	1874	田畑穀類取調帳	
1818	明治 7年	1874	御布令一括	人、五伍の法則、火難、徳義其他人トシテ弁フベキノ事
1819	明治 7年	1874	郵便御規則表	
1820	明治 7年	1874	月括取調帳	
1821	明治 7年	1874	布告	
1822	明治 7年	1874	縁談・社寺願・徴兵等について御触	
1823	明治 7年	1874	村吏交替御布告	
1824	明治 7年	1874	御布達留置	
1825	明治 7年	1874	田畑等合書上簿	
1826	明治 7年	1874	御達日記留	
1827	明治 7年	1874	徴兵連名下調簿	
1828	明治 7年	1874	田畑屋敷地価等級書上帳	7月
1829	明治 7年	1874	田畑屋敷地価等級書上帳	8月
1830	明治 7年	1874	御布達書写	筑摩県権令より御触
1831	明治 7年	1874	春夏掃立済蚕種紙数并名前帳	
1832	明治 7年	1874	生徒読本石板細鏡々出金記	
1833	明治 7年	1874	徴兵調入費・捕丁給料・其他人口新別割合帳	
1834	明治 7年	1874	村役勤賃割合帳	
1835	明治 7年	1874	諸入用差引帳	
1836	明治 7年	1874	田畑・藪・林墓・他改正地引下帳	
1837	明治 7年	1874	酉年二割利米并従米取集帳	
1838	明治 7年	1874	筑摩県ヨリ学校世話人申付候事	
1839	明治 7年	1874	備人足順名控帳	
1840	明治 7年	1874	村吏交代引渡目録書	
1841	明治 7年	1874	物産御届書	米、雜穀、野菜、果物、家畜等に至る
1842	明治 7年	1874	第十九大区各村・飯田会議所ニ於テ等級定書下 村方願書下	
1843	明治 7・8年	1874	雜書	
1844	明治 7年	1874	学校ノ御布告、電信賃表 書留	
1845	明治 7年	1874	学区取締ヨリ学校卒業試験等ニツキ通達	
1846	明治 7年	1874	第二学区巡視ノタメ文部省ハ等出仕派出ノ通知	
1847	明治 7年	1874	測量司技術通学生規則通知	
1848	明治 7年	1874	文部省ヨリ通知	規則其ノ他ニツキ雜書多数
1849	明治 7年	1874	以書付奉願候	広胖小学校、明性小学校合併ニツキ元資金募り金御聞届願奉り候
1850	明治 7年	1874	広胖学校生徒御届	上市田村戸長ヨリ長野権会へ
1851	明治 7年	1874	生徒受業料	受業料十二錢五厘づゝ
1852	明治 7年	1874	学校諸入費取集帳	本等購入費取集費其他
1853	明治 7年	1874	広胖小校諸費用々書上簿 下	

1854	明治 7年	1874	等級付地引帳改正見込雛形写	
1855	明治 7年	1874	学校所御調二付取給江書上下帳	
1856	明治 7年	1874	廻章	
1857	明治 7年	1874	学校諸入費割合帳	
1858	明治 7年	1874	宿方諸書類目録書	
1859	明治 7年	1874	石代相場書	
1860	明治 7年	1874	村吏印鑑帳	
1861	明治 7年	1874	公有地書上簿	
1862	明治 7年	1874	願書	6月23日
1863	明治 7年	1874	病気見舞諸納帳	
1864	明治 7年	1874	生糸売買高、製造高取調帳	
1865	明治 7年	1874	当座大宝恵	
1866	明治 7年	1874	成丁簿	
1867	明治 7年	1874	戸籍月括取調差出し帳	
1868	明治 7年	1874	戸籍月括調下帳	
1869	明治 7年	1874	徴兵服籍	
1870	明治 7年	1874	御届書他	含選挙結果
1871	明治 7年	1874	作憑以書附奉願候	
1872	明治 7年	1874	布告(第四十三号外)	長崎師範学校募集要項外
1873	明治 7年	1874	社地取調書上 写	
1874	明治 7年	1874	神社取調簿 控	
1875	明治 7年	1874	永々売渡し申地所(田地) 證文之事	
1876	明治 7年	1874	地租御改のお願文	
1877	明治 7年	1874	香取大神大枝初穂取集帳	
1878	明治 7年	1874	諸費取調書(上市田耕地)	
1879	明治 7年	1874	諸上納金米取調帳(上市田村)	
1880	明治 7年	1874	田畑増減書類	
1881	明治 7年	1874	以書附奉願上候	筑摩縣永山盛輝への手紙
1882	明治 7年	1874	天正より明治6年までの関川氏へ下された書類一覧	
1883	明治 7年	1874	書付もって御届申上奉候一駄通御祭記事・・・	
1884	明治 7年	1874	第四百十四号一本県飯田出張所より	
1885	明治 7年	1874	証券印税規則	
1886	明治 7年	1874	中山東岡答全	
1887	明治 7年	1874	徴兵連名簿	
1888	明治 7年	1874	長男市太郎 誕生祝儀諸納帳	
1889	明治 7年	1874	嘉永三戌年二月十六日より同丑年二月十五日迄	
1890	明治 7年	1874	御届書	山駕籠につき
1891	明治 7年	1874	村内神社取調簿	上市田村
1892	明治 7年	1874	社地境内御届書	
1893	明治 7年	1874	明治六歳分堀御印紙改料帳	
1894	明治 7年	1874	学区取締給料・詞官給料軒別割取集帳	
1895	明治 7年	1874	蚕玉神酒料取集帳	
1896	明治 7年	1874	成丁簿(徴兵につき)	
1897	明治 7年	1874	徴兵御布達扣	
1898	明治 7年	1874	願書	8月5日
1899	明治 7年	1874	地理書上標	
1900	明治 8年	1875	松島駅ヨリ根羽駅迄駅名	
1901	明治 8年	1875	運業報知書	信濃国伊那郡伊那街道 市田駅通運会社引請人同駅関川弥一郎
1902	明治 8年	1875	約定書之事 陸運会社のこと	市田駅より大島駅に至る里程、人足賃錢馬賃義等市田駅より飯田駅に至る
1903	明治 8年	1875	元賃錢共二十倍増賃錢記	三錢九厘人足一人、七錢八厘馬一疋
1904	明治 8年	1875	陸運諸入費割合帳	
1905	明治 8年	1875	内国通運会社よりの回章	
1906	明治 8年	1875	箱根外関所應止其他触	
1907	明治 8年	1875	積穀初麦貸付目切控帳	
1908	明治 8年	1875	学校諸費明細帳	
1909	明治 8年	1875	生徒授業料取集帳	
1910	明治 8年	1875	村金利集帳	
1911	明治 8年	1875	御布告留	
1912	明治 8年	1875	墳墓地之件御布告摺書	
1913	明治 8年	1875	貢租老人別仕訳高帳	
1914	明治 8年	1875	御達	
1915	明治 8年	1875	株式定例御達書	
1916	明治 8年	1875	極詰上申御預り相成候写	市田六区耕地反別
1917	明治 8年	1875	戸籍月括調下帳	
1918	明治 8年	1875	田畑畝数増減極調上下帳	
1919	明治 8年	1875	亥暮費差引帳	
1920	明治 8年	1875	戌年二割利米取集帳	
1921	明治 8年	1875	警査費軒別取集帳	
1922	明治 8年	1875	田畑反別地価取調	
1923	明治 8年	1875	地引費并定例費共益前割掛銘々寄帳	
1924	明治 8年	1875	出勤中綴銘々割合帳	
1925	明治 8年	1875	地券取調日勤録	
1926	明治 8年	1875	諸費書留帳	

1927	明治 8年	1875	藪林葺敷山再検地帳	
1928	明治 8年	1875	銘々全揚米調帳	
1929	明治 8年	1875	墓所一筆限帳	地引調所
1930	明治 8年	1875	田畑実地竿入帳	
1931	明治 8年	1875	耕地田畑屋敷竿入畝数試検帳	
1932	明治 8年	1875	備人足順名控簿	
1933	明治 8年	1875	北馬敷取調書 上市田耕地	
1934	明治 8年	1875	山林敷地引帳 下	上市田耕地
1935	明治 8年	1875	御請書広群学校	不熟学ノモノ本日中二熟学致サセベク御請書
1936	明治 8年	1875	各校ノ献金現在取調出ズル様学区取締ヨリ通知	
1937	明治 8年	1875	明治八年亥十月国役營繕費取集帳	上市田耕地
1938	明治 8年	1875	国役並營繕費	
1939	明治 8年	1875	満六年生徒取調帳	
1940	明治 8年	1875	地籍調御達書	
1941	明治 8年	1875	貢租老人別仕訳高帳	
1942	明治 8年	1875	郵便取扱役申付書	
1943	明治 8年	1875	村役勤人足記帳	
1944	明治 8年	1875	明治八年改正耕地山林原野反別地価総計帳	
1945	明治 8年	1875	県通達第一四二号	
1946	明治 8年	1875	学校創立についての感謝状	
1947	明治 8年	1875	布告 (百八号より百二十六号まで)	
1948	明治 8年	1875	成年積穀取調小前帳	
1949	明治 8年	1875	警察からの手配書と土地売買の布告	
1950	明治 8年	1875	記 (上市田村の戸数・人員など)	
1951	明治 8年	1875	布告第九十五号	別紙新旧公債證書発行条例外
1952	明治 8年	1875	神社境内書上	
1953	明治 8年	1875	天照皇大神社境内	
1954	明治 8年	1875	八幡大神・諏訪大神・稲荷大神社境内	外に築師境内
1955	明治 8年	1875	神社絵図面	明治八年二月書上、本書ハ絵図面別紙ニ差出之通也
1956	明治 8年	1875	従前御蔵廃止敷地次第凡心得事	
1957	明治 8年	1875	記一金廿五銭	火災鎮護祈禱之御札
1958	明治 8年	1875	伍々釣合名員帳	
1959	明治 8年	1875	上市田耕地地価合計	
1960	明治 8年	1875	人足メモ	
1961	明治 8年	1875	預り金証書の事	
1962	明治 8年	1875	地引書類入	外に旧検地帳写
1963	明治 8年	1875	記	一枚物多数
1964	明治 8年	1875	太陽略歴 (十一冊)	
1965	明治 8年	1875	秋葉神社拝殿ノ普請引受書	
1966	明治 8年	1875	田畑山林入組換地渡帳(下市田耕地分)	
1967	明治 8年	1875	広畔小学支校、上市田村	
1968	明治 8年	1875	回章	飯田駅より市田・大島、片桐・飯島
1969	明治 8年	1875	御届書	通運会社営業差支につき
1970	明治 8年	1875	約定書之事	陸運元会社と市田駅設立に関する約定
1971	明治 8年	1875	約定書之事	記入要項 (見本)
1972	明治 8年	1875	退業依頼書	通運会社設立所退業願
1973	明治8年～ 11年	1875	本県ヨリ内務卿工伺書写	
1974	明治 8年	1875	記 (上市田村)	明治七分分調査
1975	明治 8年	1875	第百六号 布告	大政大臣三條實美
1976	明治 8年	1875	明治8～11年 米相場書	
1977	明治 9年	1876	申酉過納下付金貸付名簿	
1978	明治 9年	1876	山林税等取集簿	
1979	明治 9年	1876	丙子年村差廻し利集帳	
1980	明治 9年	1876	昨八年租税皆納取集帳	
1981	明治 9年	1876	学校二付普請入用帳	
1982	明治 9年	1876	学校所諸器械拂代金誌	
1983	明治 9年	1876	学費及生徒授業料等取集帳	
1984	明治 9年	1876	租税初納取集帳	
1985	明治 9年	1876	丙子年租税金取集帳記載簿	
1986	明治 9年	1876	丙子年諸入費取集帳	
1987	明治 9年	1876	上市田村会計一部書類	
1988	明治 9年	1876	備人足順名簿	
1989	明治 9年	1876	事務日誌簿 (二冊)	6月16日よりと11月1日より
1990	明治 9年	1876	生徒試験ノ上装牌ヲ賜ハリ候者	明六日持参スベキ旨通達
1991	明治 9年	1876	月々入費書留	
1992	明治 9年	1876	学校入用金不足二付元資金老円二付老銭五厘宛取集	
1993	明治 9年	1876	酒喰勘定割合取集帳	
1994	明治 9年	1876	種痘本済届書	
1995	明治 9年	1876	為御手当老々月金拾銭等被下候事	
1996	明治 9年	1876	養蚕祝酒料取集帳	
1997	明治 9年	1876	買入商品記録一多し	
1998	明治 9年	1876	歳内日誌簿	

1999	明治 9年	1876	租税替納取集	
2000	明治 9年	1876	八会権瀧ノ入内	観音沢
2001	〃	1876	〃	高戸谷
2002	〃	1876	〃	高森
2003	〃	1876	〃	本沢廣河原
2004	〃	1876	〃	シンナシ
2005	明治 9年	1876	口上書	地券歎願の件
2006	明治 9年	1876	千字文	
2007	明治 9年	1876	田畑売買願	
2008	明治 10年	1877	御請書	取扱う事項について
2009	明治 10年	1877	丑年租税金取集簿	
2010	明治 10年	1877	盆後賞勘定帳	
2011	明治 10年	1877	盆前学校諸入費勘定帳	
2012	明治 10年	1877	賞勘定帳	
2013	明治 10年	1877	盆前賞勘定帳	
2014	明治 10年	1877	道路修繕費取集帳	
2015	明治 10年	1877	伝馬勤不足割合帳	
2016	明治 10年	1877	盆後入費取調帳	
2017	明治 10年	1877	学校新築入費調帳	
2018	明治 10年	1877	道路人足日記	
2019	明治10年頃	1877	上市田村会計関係書類 一括	
2020	明治 10年	1877	證	
2021	明治 10年	1877	蝸メ数記帳	
2022	明治 10年	1877	公用雜誌	
2023	明治 10年	1877	丁丑年二季諸書扶	
2024	明治 10年	1877	御届書(確定書)	
2025	明治 10年	1877	事務日誌	関川弥一郎作成 3月1日より
2026	明治 10年	1877	事務日誌	同上 7月1日より
2027	明治 10年	1877	事務日誌	同上 5月1日より
2028	明治 10年	1877	事務日誌	同上 6月1日より
2029	明治 10年	1877	事務日誌	同上 12月1日より
2030	明治 10年	1877	事務日誌	同上 8月1日より
2031	明治 10年	1877	事務日誌	同上 9月8日より
2032	明治 10年	1877	記一区长以下給料	
2033	明治 10年	1877	盆前村役勤人足銘々書抜帳	
2034	明治 10年	1877	書牘一日用文(三)	
2035	明治 10年	1877	願書	御改正地引帳 田畑大量の件
2036	明治 10年	1877	受取書	内国通運会社飯田分社御中
2037	明治 11年	1878	上納諸費仮寄帳	
2038	明治 11年	1878	通運二係ル人馬雜立記載帳	
2039	明治 11年	1878	田方地租取集帳二冊	
2040	明治 11年	1878	再丈量入費取調帳	
2041	明治 11年	1878	丈量野取帳	4701番より4800番迄
2042	明治 11年	1878	利子取集帳	耕地扱所
2043	明治 11年	1878	丈量野取帳	4901番より5041番迄
2044	明治 11年	1878	地所売買御願	
2045	明治 11年	1878	辞職願	
2046	明治 11年	1878	記	火災による居宅復興のための借用書
2047	明治 11年	1878	耕地焼失二付見舞帳	
2048	明治 11年	1878	田切伝四郎・関川弥一郎より三雲・柿沼への手紙	
2049	明治 11年	1878	曙新聞第五百二十四号 十一年十一月四日東京府	
2050	明治 11年	1878	十二年一月八日迄二飯田ニテ製造天龍川・・・	
2051	明治 11年	1878	事務日誌	関川弥一郎作成 3月1日より
2052	明治 11年	1878	事務日誌	同右 1月1日より
2053	明治 11年	1878	事務日誌	同右 11月1日より
2054	明治 11年	1878	事務日誌	同右 7月1日より
2055	明治 11年	1878	事務日誌	同右 9月1日より
2056	明治 11年	1878	丈量野取帳	4601番より4700番迄
2057	明治 11年	1878	記・覚など多数	
2058	明治 11年	1878	県会・区会規則并要領	学校関係抄録
2059	明治 12年	1879	願文書	関川弥一郎より市田駅は特殊事情により特殊の御取扱なされ度願出
2060	明治 12年	1879	田方租税二分通取集帳	
2061	明治 12年	1879	基本貫割合帳	
2062	明治 12年	1879	畑方二分、地法税山林税取集帳	
2063	明治 12年	1879	慈眼庵再築二付諸費記載帳	
2064	明治 12年	1879	諸費銘々請拂明細帳	
2065	明治 12年	1879	開産社借入金奥印帳	
2066	明治 12年	1879	観音堂再建他力御達名簿	4月
2067	明治 12年	1879	明治五年ヨリ同至八亥年地券入費取集簿	
2068	明治 12年	1879	背負籠巻ッ但シ対価式銭	盗品届ヶ
2069	明治 12年	1879	観音堂再建他力御達名簿	5月
2070	明治 12年	1879	記	事務扱所より上市田耕地惣代御中
2071	明治 12年	1879	借入金證券	

2072	明治 12年	1879	観音堂再建他力御達名簿	(焼失につき再建)
2073	明治 12年	1879	観音堂再建他力御達名簿	
2074	明治 12年	1879	内国通運会社への願書	継立所救助米の件
2075	明治 13年	1880	願書、御達等数件	
2076	明治 13年	1880	検定取集金調書	
2077	明治 13年	1880	簡費数揚高控帳	
2078	明治 13年	1880	水車業日記帳	
2079	明治 13年	1880	蛹生糸計算取調簿	
2080	明治 13年	1880	庶務日誌	7月1日より
2081	明治 13年	1880	里見村村会規則	
2082	明治 14年	1881	覚帳	
2083	明治 14年	1881	村内村吏並総代伍長人名簿	
2084	明治 14年	1881	分村復旧願	
2085	明治 14年	1881	通運会社請負人より郡長へ届願書	数点
2086	明治14年～ 明治15年	1881	上市田戸長事務日記	
2087	明治 14年	1881	改正 耕地地々位等級簿	
2088	明治 14年	1881	明治十四年一月調統計表	
2089	明治 14年	1881	耕地地等納簿	
2090	明治 14年	1881	為取換約定之事	
2091	明治 14年	1881	上市田村戸長役場器械類控帳	
2092	明治 14年	1881	車屋掲挽控帳	
2093	明治 14年	1881	地所売買二付税額訂正届	
2094	明治 14年	1881	記(村上納金)	
2095	明治 14年	1881	村方試験実量	
2096	明治 14年	1881	経費勘定書類	
2097	明治 14年	1881	庶務日誌	3月1日より
2098	明治 14年	1881	地価修正に関する書類(多数)	
2099	明治 14年	1881	諸勸化寄附書類	
2100	明治 14年	1881	預り証	
2101	明治 14年	1881	霞湖の書→2枚 中山霞湖(漁人)	
2102	明治 14年	1881	明治新選 算法大成	
2103	明治 14年	1881	解約廢社願	内国通運等の継立所
2104	明治 14年	1881	山地入会争論訴訟の件	
2105	明治14年 15年	1881	雜事書類類込(複写せず)	上市田村戸長役場
2106	明治14年 代	1881	辞令・請書・出頭通知 計八点	
2107	明治 15年	1882	地価修正 反別・収量・地価 小計総計入算帳	
2108	明治 15年	1882	諸上納金等取集帳、仮證など多数	
2109	明治 15年	1882	蓄積金受取帳	
2110	明治 15年	1882	借入金證書	
2111	明治 15年	1882	記	種痘の注射をした人の名簿
2112	明治 15年	1882	協立社雜書類	袋の中に縦帳(三冊)手紙(一通)一枚物(七枚)入っている
2113	明治 15年	1882	村会議員選挙人・被選挙人名簿	
2114	明治 15年	1882	種痘名簿→記	
2115	明治 15年	1882	回達	
2116	明治 15年	1882	勤農義社誘導委員依頼候書	
2117	明治 15年	1882	願書→信濃国下伊那郡上市田村宇大塚村社伊勢神社祭神 天照大神	
2118	明治 15年	1882	証	
2119	明治 15年	1882	郵便切手売下人選挙書	
2120	明治 15年	1882	年回忌四人供物受取帳	
2121	明治 15年	1882	誓約書	
2122	明治 15年	1882	下市田村戸長役場より上市田・牛牧・大島山・吉田・出 原村戸長への書簡	
2123	明治 16年	1883	郵便取扱役辞令	長野令ヨリ関川路一郎
2124	明治 16年	1883	他村へ出作地所 修正地價売人別名寄留	
2125	明治 16年	1883	神風講社人名簿	
2126	明治 16年	1883	当局区内通達	
2127	明治 16年	1883	地券證配付并証印税領収帳	
2128	明治 16年	1883	御柱祭旧典永続金募集委員委嘱状	
2129	明治 16年	1883	郵便取扱役手当の外職務取扱諸費支給	
2130	明治 16年	1883	来ル三十日午前九時礼服用し出頭	
2131	明治 16年	1883	御請書	今般取扱準十七等御達之旨
2132	明治 16年	1883	官有地	
2133	明治 16年	1883	明治16年調住宅一覧表	
2134	明治 16年	1883	郵便書類類込 明治十六年各村の人口等明細あり	
2135	明治16年 17年	1883	往復書并雜書類類	上市田村戸長役場 複写せず
2136	明治16・ 17年	1883	事務日記(複写せず)	上市田村戸長役場
2137	明治 16年	1883	地價反別戸数表 家屋建坪調	
2138	明治 17年	1884	上市田村地主総代より長野県令へ御願	
2139	明治 17年	1884	委任状	
2140	明治 17年	1884	記(種痘の注射をした人の名前)	

2141	明治 17年	1884	庶務日誌	2月1日より
2142	明治 17年	1884	公告	
2143	明治 17年	1884	職務勉勵二付頭書之通賞與候事	
2144	明治 17年	1884	御請書	
2145	明治 17年	1884	村内協議費係ル諸用留	
2146	明治 17年	1884	上市田村通常村会議案	七綴
2147	明治 17年	1884	上市田村景状	
2148	明治 18年	1885	上市田村戸長役場事務引渡書	上市田村外五ヶ村戸長ヨリ上市田村外五ヶ村戸長橋都多賀司へ
2149	明治 18年	1885	駅通局御達類綴込	
2150	明治 18年	1885	貯金命令書類	
2151	明治 18年	1885	庶務日誌	1月1日より
2152	明治 18年	1885	市田郵便受取所関係書類	
2153	明治 18年	1885	金員出納帳	
2154	明治 18年	1885	封筒のみ	
2155	明治 18年	1885	領収証 金式円也	
2156	明治 18年	1885	御受書(滿十一年以上奉職勉勵候二付)	
2157	明治 18年	1885	退職の慰勞手当を出すので請書を出すように	
2158	明治 18年	1885	滿十一年以上奉職勉勵候二付慰勞手当金式円給與候	
2159	明治 18年	1885	上市田村人口	
2160	明治 18年	1885	十七年度請上納金過不足取扱方演説書	
2161	明治 19年	1886	金員出頭簿	
2162	明治 19年	1886	証	領収書
2163	明治 19年	1886	郵便受取所取投人任命書	
2164	明治 19年	1886	本郡全部連合町村會議員当選相成候事	
2165	明治 19年	1886	本郡全部連合町村會議員当選状	
2166	明治 19年	1886	博物記帳	
2167	明治 19年	1886	種痘証	
2168	明治 19年	1886	霧間ノ馬(全)	
2169	明治 19年	1886	委任状	下市田村戸長橋都多賀司他五ヶ村戸長より
2170	明治 20年	1887	聞書	
2171	明治 21年	1888	金錢出納帳	
2172	明治 21年	1888	庶務日誌	1月1日より
2173	明治 21年	1888	感必用事件記帳	
2174	明治 21年	1888	数学記載帳 下伊那高等学校三年生	関川一美
2175	明治 21年	1888	請願書	新村區画の件
2176	明治 21年	1888	請願書(町村制施行新村區画)	
2177	明治 22年	1889	奥山方向寺堂宇再建二付寄附証と大嶋山村両童子の石像建立寄附証	
2178	明治 22年	1889	方向寺役寮寄附その他の寺の証(七枚)	
2179	明治 22年	1889	兵役優待規約に関する書類	
2180	明治 22年	1889	村用日誌(上市田)	
2181	明治 22年	1889	公用會議書類(多数)	
2182	明治 22年	1889	庶務日誌	1月1日より
2183	明治 22年	1889	県道改修二付請願記録	浴道村落惣代本部
2184	明治22年 27年	1889	會議書類(複写せず)	村會議員関川
2185	明治 23年	1890	清書(習字帳)	
2186	明治 23年	1890	立木亮却代師記載帳(二冊)	
2187	明治 23年	1890	備忘録	
2188	明治 23年	1890	如温武雷土	
2189	明治 24年	1891	地所譲与証	関川弥一郎より田切喜七郎へ
2190	明治 24年	1891	護摩堂山林閉墾地証書	
2191	明治 24年	1891	道路閉墾ノ義に付請願	七点
2192	明治 24年	1891	告知書その他選挙通知	
2193	明治 24年	1891	市田村第二回農産物品評会審査員ヲ囑託ス	
2194	明治 24年	1891	唱歌集(全)	
2195	明治 24年	1891	三州街道現道大懇親会名簿	(複写せず)
2196	明治 24年	1891	三州街道改修請願會計簿	(複写せず)
2197	明治 24年	1891	三州街道改修につき	
2198	明治 24年	1891	願書(三州街道改修につき)	
2199	明治 24年	1891	日本年代記(全)	
2200	明治 25年	1892	明治二十五年歳出入總計予算決議書	
2201	明治 25年	1892	証	領収書
2202	明治 26年	1893	寄付感謝状	
2203	明治 26年	1893	校舍新築費明細帳(牛牧尋常小学校新築委員)	
2204	明治 26年	1893	会費徴収併費額記	
2205	明治 26年	1893	金錢出納簿	
2206	明治 26年	1893	牛牧尋常小学校舎新築費トシテ金拾三円寄附	
2207	明治 26年	1893	初等農学一上巻	
2208	明治 27年	1894	農家日誌	
2209	明治 27年	1894	政子祝儀受納帳	
2210	明治 27年	1894	山林保護委員選任状	
2211	明治 27年	1894	牛牧尋常小学校新築費寄附につき感謝状	
2212	明治 28年	1895	地理・歴史・理科筆記帳	

2213	昭和 28年	1895	尋常小学修身書 巻四	教科書
2214	明治 28年	1895	むら雀一第一号	
2215	明治 28年	1895	聖旨・道徳尋常小学修身書	
2216	明治 28年	1895	日清大激戦実記一第四	
2217	明治 29年	1896	千紫萬紅	
2218	明治 29年	1896	算術	
2219	明治 29年	1896	金錢出納帳	
2220	明治 29年	1896	歳内諸色大宝忠	
2221	明治 29年	1896	證 (麗玉山閣選講社結集世話係依頼書)	
2222	明治 29年	1896	庶務日誌	
2223	明治 29年	1896	真書千字文	書道本
2224	明治 30年	1897	借書書	
2225	明治 30年	1897	幕送御見舞受納帳	
2226	明治 30年	1897	日清戦役の折軍資金等献納感謝状	
2227	明治 30年	1897	小学読本一高等科用 巻五	
2228	明治 31年	1898	種痘証入袋	中に証書多数
2229	明治 31年	1898	一金五拾銭	明治二十九年七月県下洪水ノ際罹災者賑恤トシテ義捐金を出したので舊詞相成候
2230	明治 31年	1898	庶務日誌	4月6日より
2231	明治 31年	1898	明治29年洪水罹災者賑恤義捐金ニ対シ褒衣詞	
2232	明治 32年	1899	高等読本巻七書取帳	
2233	明治 33年	1900	任勸募委員補	
2234	明治 33年	1900	牛牧尋常小学校体操場新築費トシテ金拾五円寄附ニ付其賞木杯下賜	
2235	明治 33年	1900	孟子学説 (全)	
2236	明治 33年	1900	伊那青年一号外一中村六三郎演説	
2237	明治 33年	1900	国語讀本→尋常小学校用 (巻七)	
2238	明治 34年	1901	催告・訴状・委任状	
2239	明治 34年	1901	委任状権 (限を代理人に委任する)	
2240	明治 34年	1901	預り金証	
2241	明治 34年	1901	史談・近古地引	
2242	明治 34年	1901	庶務日誌	1月1日より
2243	明治 34年	1901	借入金証	
2244	明治 34年	1901	証と完済証	
2245	明治 34年	1901	理科教科書	
2246	明治 35年	1902	通常郵便物引受 (渡) 帳	
2247	明治 35年	1902	中等新地理 (内開き表紙のみ)	
2248	明治 35年	1902	金参円 (事務格別勸励ニ付慰勞トシテ)	
2249	明治 35年	1902	受取証と手紙	
2250	明治 35年	1902	本月三拾壹日限り廃業ヲ命ズ	
2251	明治 35年	1902	名誉会員に推薦し副会長とする書類多数	
2252	明治 35年	1902	中等漢文読本 巻七	
2253	明治 35年	1902	中等新地理 (外国の部)	
2254	明治 35年	1902	女子国語讀本 巻五	
2255	明治35年 37年	1902	郵便御達類綴	複写せず
2256	明治 36年	1903	通知書 (衆議院議員選挙法について)	
2257	明治 36年	1903	高等女学校費寄附額ノ儀ニ付資問	
2258	明治 36年	1903	養蠶日誌	
2259	明治 36年	1903	墓地贈与に付書類	
2260	明治 36年	1903	前紙抹消登記済抵当権設定証書并承認証書及送付書也	
2261	明治 36年	1903	選任状 (投票立会人に選任)	
2262	明治 36年	1903	長野県農事試験場の臨時報告	
2263	明治 36年	1903	委任状 (墓地登記願)	その他書簡三通
2264	明治 36年	1903	金四円(事務格別勸励ニ付慰勞トシテ)	
2265	明治 36年	1903	御寄付に付き感謝状	
2266	明治 36年	1903	郵便貯金巻紙六百枚	
2267	明治 36年	1903	千代の光	
2268	明治 36年	1903	修身教科書 巻の三	
2269	明治 37年	1904	明治37年夏・秋蠶飼育日誌	
2270	明治 37年	1904	成功雙六	
2271	明治 37年	1904	摩天嶺占領之図	
2272	明治 37年	1904	愛国婦人会要覧	
2273	明治 37年	1904	金参円五拾銭(事務格別勸励ニ付慰勞トシテ)	
2274	明治 37年	1904	金壹円也	
2275	明治 37年	1904	孫順大攻撃紀念画	
2276	明治 38年	1905	受取証	
2277	明治 38年	1905	局長及局員に対する告知文	
2278	明治 38年	1905	本年三月三十一日限り自然退職ノ義	
2279	明治 38年	1905	給五級手当	
2280	明治 38年	1905	一金六円(右に同じ)	
2281	明治 39年	1906	承認書その他書簡十二通	大島事件という袋に入っている
2282	明治 39年	1906	記号むにき四三四、金五拾銭、下市田氏名山岸廣太郎	
2283	明治 39年	1906	時事新報第8093号附録 (写真)	
2284	明治 39年	1906	規約貯金取扱請求書 (多数)	

2285	明治 40年	1907	統計類・年月計下調綴	
2286	明治 40年	1907	卒業證書	
2287	明治 40年	1907	金五円(事務格別勲励ニ付慰勞トシテ)	
2288	明治 41年	1908	村会に関する書類	
2289	明治 41年	1908	金五円(職務格別勲励ニ付慰勞トシテ)	
2290	明治 42年	1909	郡書記岡川一実氏への書簡	
2291	明治 42年	1909	伊勢地方修学旅行日誌	上飯田学校
2292	明治 42年	1909	金八円(職務格別勲励ニ付慰勞トシテ)	
2293	明治 42年	1909	新訂 中等国語読本	
2294	明治 42年	1909	電信開始ニ関スル記録	市田郵便局長
2295	明治43年 大正7年	1909	庶務日誌No.1 (2冊)	明治43年～大正2年まで
2296	明治43年 大正7年	1909	庶務日誌No.2 (3冊)	大正3年～大正7年まで
2297	明治 43年	1910	蟻虫駆除に關スル注意	
2298	明治 43年	1910	職務勲励慰勞金給与ス	
2299	明治 44年	1911	市田村長公文書 (多数)	第584号外多数
2300	明治 44年	1911	市田村長公文書 (多数)	第689号外多数
2301	明治 44年	1911	依頼免本官	
2302	明治 44年	1911	氏神祭典記録	
2303	明治 44年	1911	県税追加戸数割賦課等級表	
2304	明治 44年	1911	県税営業税などの等級表	
2305	明治 44年	1911	多年奉職ニ付手当てシテ金拾八円給與ス	
2306	明治 45年	1912	招集状	
2307	明治 45年	1912	市田村費歳出流用の件	
2308	明治 45年	1912	上市田区長選挙ノ件 その他招集状	
2309	明治 45年	1912	県税戸数割賦課等級表	
2310	明治 45年	1912	決算認定の件	
2311	明治 45年	1912	県総戸数割賦課等級表	
2312	明治 45年	1912	招集状二枚	
2313	明治 45年	1912	職員録	
2314	大正 1年	1912	吉田・出原区教育費 大正元年歳入出追加予算表	
2315	大正 2年	1913	県税追加戸数割賦課等級表	
2316	大正 2年	1913	村会要件	
2317	大正 2年	1913	注文書多数	
2318	大正 2年	1913	所得税調査会要件→多数	
2319	大正 3年	1914	市田村事務報告書	
2320	大正 3年	1914	市田村長よりの公文書→多数	
2321	大正 4年	1915	長野県下伊那郡市田村大正四年度歳入出予算	
2322	大正 4年	1915	大正四年度県税戸数割賦課等級表→市田村	
2323	大正 4年	1915	招集状と歳入出追加予算	
2324	大正 4年	1915	招集状と県税戸数割賦課等級表	
2325	大正 4年	1915	県税営業税雑課税賦課等級表	
2326	大正 4年	1915	招集状 (村会議会)	
2327	大正 4年	1915	学校基本財産所今の件	
2328	大正 4年	1915	借入金証券	
2329	大正 5年	1916	招集状と大正四年度歳入出追加予算	
2330	大正 5年	1916	招集状 村長公文書→多数	
2331	大正 5年	1916	村長よりの公文書	
2332	大正 5年	1916	事務報告書→市田村役場	
2333	大正 5年	1916	市田尋常高等小学校長→松澤三吉の手紙	
2334	大正 5年	1916	組合製糸関係書類	
2335	大正 5年	1916	目録→結納	
2336	大正 6年	1917	市田村長公文書→多数	
2337	大正 6年	1917	招集状→第三五六号	
2338	大正 6年	1917	村税課率決議に関する件→可決	
2339	大正 6年	1917	感謝状→三通と慰勞の御印一通	
2340	大正 6年	1917	記念品贈呈目録	
2341	大正 6年	1917	綴方科教授細目→尋五、六	二冊
2342	大正 7年	1918	保治婚姻記録	
2343	大正 8年	1919	医学博士→小寺隆太郎→エキスピンの普及文	
2344	大正 9年	1920	病床略記と電報など	
2345	大正 9年	1920	小作米収納帳	
2346	大正 9年	1920	庶務日誌及出納簿	
2347	大正 10年	1921	郵便局長任命状→逓信省	
2348	大正 10年	1921	雜件	
2349	大正 10年	1921	白田松太郎歓迎会通知	
2350	大正 10年	1921	会員名簿→電話同盟会	
2351	大正 10年	1921	規約→市田村電話同盟会	
2352	大正 10年	1921	人事関係→市田郵便局	
2353	大正 10年	1921	郵便局長給与手当	
2354	大正 11年	1922	電話寄付簿	
2355	大正 11年	1922	事務日誌→市田郵便局	
2356	大正 11年	1922	逓信省よりの局長給發令書→二枚	

2357	大正 11年	1922	女子修身教本 (四)	教科書
2358	大正 12年	1922	童謡教育論	
2359	大正 12年	1923	長野県飯田高等女学校寄宿舎細則と通知簿	
2360	大正 12年	1923	総名大島山山瀧の八因	
2361	大正 12年	1923	交通一件一街・兼合自動車営業許可申請など	
2362	大正 12年	1923	所有土地台帳	
2363	大正 12年	1923	身元引受人に関する件と財産調査の事故の件など	
2364	大正 13年	1924	郷土の力	下伊那人物写真帖
2365	大正 14年	1925	村会一件 (事務報告書)	
2366	大正 14年	1925	国勢調査員委任状と国勢調査従事員必携	
2367	大正 15年	1926	精米所請掛返金登記帳	
2368	大正 15年	1926	歴史写真	
2369	昭和 2年	1927	泰阜村勢一覧	
2370	昭和 2年	1927	歴史写真	雑誌
2371	昭和 3年	1928	特設電話関係	
2372	昭和 3年	1928	事務日誌	昭和3年前半期
2373	昭和 3年	1928	聲明書	
2374	昭和 4年	1929	手当連絡書	
2375	昭和 4年	1929	英語教科書	教科書
2376	昭和 5年	1930	所得調査委員選挙一件	
2377	昭和 5年	1930	慰労給与について大正十年～昭和五年まで10通	
2378	昭和 5年	1930	雑件綴 (多数)	
2379	昭和 5年	1930	電話料低減陳情	
2380	昭和 5年	1930	湯澤胸筒像作製記念帖	
2381	昭和 6年	1931	村会一件	村会に関するもの一綴
2382	昭和 6年	1931	満十年在官給与辞令と依願免本官書類	
2383	昭和 6年	1931	給与手当辞令	
2384	昭和 6年	1931	辞令 (市田局長)	
2385	昭和 6年	1931	経費に関する件	市田局長
2386	昭和 6年	1931	県会雑纂	
2387	昭和 6年	1931	特雑件	局長
2388	昭和 6年	1931	象山神社建立会趣意書	
2389	昭和 6年	1931	県会に対する請願書をまとめたもの	
2390	昭和 6年	1931	明治天皇軍人勅諭一領布趣旨	
2391	昭和 6年	1931	長野県より関川一実殿への手紙 (封筒のみ)	
2392	昭和 6年	1931	土地所有権保存登記申請・売渡證書等	
2393	昭和 6年	1931	長野県下伊那郡豊村勢一覧	
2394	昭和 7年	1932	県知事下部委員選任書	
2395	昭和 7年	1932	信濃山林会よりの通知	
2396	昭和 7年	1932	信濃山林会評議員としての通知状	
2397	昭和 7年	1932	村会一件	
2398	昭和 7年	1932	電話異動事項検査簿	
2399	昭和 7年	1932	明神橋竣工式	式辞・工事報告
2400	昭和 7年	1932	衆議院議員名簿	
2401	昭和 7年	1932	蠶絲業一斑	長野県蚕業取締所池田支所
2402	昭和 7年	1932	長野県南安曇農学校一覧表	
2403	昭和 7年	1932	木曾山林学校一覧	
2404	昭和 7年	1932	農村振興の根本方策実情調査	
2405	昭和 8年	1933	顧問推薦書	
2406	昭和 8年	1933	昭和八年度農村救済事業	
2407	昭和 8年	1933	養蠶業組合顧問に推薦状	
2408	昭和 8年	1933	県参出納検査現計表	長野市
2409	昭和 8年	1933	県参事会関係	関川参員
2410	昭和 8年	1933	秘密書類附局長関係書類	市田郵便局
2411	昭和 8年	1933	移庁一件	
2412	昭和 8年	1933	局務沿革誌 旧市田郵便局	
2413	昭和 8年	1933	昭和八年度施行災害善及工事個所一覧表	
2414	昭和 8年	1933	大町土木出張所一覧表	
2415	昭和 8年	1933	関川一実様へのはがき	
2416	昭和 8年	1933	郵便局長辞令 (十七通)	
2417	昭和 8年	1933	陳情書	
2418	昭和 8年	1933	英語教科書	
2419	昭和 9年	1934	県会雑件	
2420	昭和 9年	1934	日支事変記念忠霊塔建設会委員委囑状	
2421	昭和 9年	1934	農会報と法令改正の要点	
2422	昭和 9年	1934	特雑件書類	市田局長
2423	昭和 9年	1934	各廩現計表	南北佐久・小縣埴科・上田市
2424	昭和 9年	1934	陳情書・調書	
2425	昭和 9年	1934	陳情一求	
2426	昭和 9年	1934	長野県蚕業試験場松本支場一覧	
2427	昭和 9年	1934	長野県北安曇郡北域村一覧	
2428	昭和 9年	1934	第二十九回卒業生調	長野県大町中学校
2429	昭和 9年	1934	東筑摩郡・松本市蠶絲業一斑	

2430	昭和 9年	1934	帳簿目録	長野県蚕業取締所池田支所
2431	昭和 9年	1934	長野県東筑摩郡農学校一覧表	
2432	昭和 9年	1934	長野県北安曇郡神城村勢一覧	
2433	昭和 9年	1934	長野県松本高等女学校一覧表	
2434	昭和 9年	1934	長野県本曾高等女学校一覧表	
2435	昭和 9年	1934	学校給食施設の実態	松本女子師範附属小学校学校配置図一枚
2436	昭和 9年	1934	長野県松本第二中学校一覧表	同校志願者入学者一覧表
2437	昭和 9年	1934	波田学院一覧表	
2438	昭和 9年	1934	県参事会計検査現計表	
2439	昭和 9年	1934	信濃宮宗良親王御事跡	
2440	昭和 9年	1934	萬朝報（新聞）	
2441	昭和 9年	1934	衆議院議員宿所一覧表	
2442	昭和 9年	1934	意見書（蚕絲業不況対策二閣スル件等）	
2443	昭和 9年	1934	村道南宮線県道編入二閣スル陳情書	
2444	昭和 9年	1934	陳情書	会地川路線県道編入の件
2445	昭和 9年	1934	林道開設助成二閣スル件陳情	名刺七枚
2446	昭和 9年	1934	小川路峠改修ノ件	
2447	昭和 9年	1934	請願書	
2448	昭和 9年	1934	陳情書	下條村長より長野県知事へ
2449	昭和 9年	1934	稟請二係ル農村振興 道路改修縣費補助工事二閣スル陳情書	
2450	昭和 9年	1934	（林道開設）縣費補助申請	
2451	昭和 9年	1934	蚕糸業指導体系ノ徹底ヲ期スル為養蚕組合ヲ通シ町村蚕業技術員費ノ県費補助急施助成方要望陳情一件	
2452	昭和 9年	1934	陳情書・証書	
2453	昭和 9年	1934	御依頼状	
2454	昭和 9年	1934	農村振興土木事業農工事箇所	
2455	昭和 10年	1935	剪糊集（県選関係）	
2456	昭和 10年	1935	剪糊集其三書彙編	
2457	昭和 10年	1935	電話料低減祝賀会一件	
2458	昭和 10年	1935	下伊那郡特設電話同盟聯合会会計簿並証憑書類	
2459	昭和 10年	1935	大宮諏訪神社境内楠神社奉斎概要	
2460	昭和 10年	1935	萬朝報（新聞）	
2461	昭和 10年	1935	人事に関する書類	
2462	昭和 10年	1935	相撲一件一大相撲春場所豪華版一号外	
2463	昭和 10年	1935	帝國軍人後援会長野支会概況	
2464	昭和 10年	1935	会況要覧	帝國軍人後援会
2465	昭和 10年	1935	人事に関する書類(役員名簿)	
2466	昭和 10年	1935	家の光大会御通知	
2467	昭和 10年	1935	木澤尋常高等小学校一覧表	
2468	昭和 10年	1935	感謝状	市田村尚武会より
2469	昭和 10年	1935	衆議院議員選挙長野県第三区下伊那郡有権者名簿	
2470	昭和 10年	1935	陳情書	神社への供進金の菓子算への計上を陳情
2471	昭和 10年	1935	写真二枚	大島川河川改修工事と消防組大演習記念
2472	昭和 10年	1935	各村の電話番号表	18村753戸
2473	昭和 10年	1935	電話同盟会代表者役員改選通知	
2474	昭和 10年	1935	信濃毎日新聞（飯田支局販売部）より愛読者各位への謹告	
2475	昭和 11年	1936	県知事選任書	
2476	昭和 11年	1936	調停委員選任書	
2477	昭和 11年	1936	特雑件書類	市田郵便局
2478	昭和 11年	1936	市田村報綴	
2479	昭和 11年	1936	渡切経費整理簿	
2480	昭和 11年	1936	諸給与金交付簿	市田郵便局
2481	昭和 11年	1936	衆議院選挙に北原阿智之助氏を当選できるよう御願申上候	千石興太郎より関川一実へ
2482	昭和 11年	1936	北原阿智之助氏当選のため御依頼申上候	深井功より関川一実へ
2483	昭和 11年	1936	小川平吉当選の依頼の書簡	伊原五郎兵衛より関川一実へ
2484	昭和 11年	1936	戸田由美君の当選依頼	安達謙蔵より関川一実へ
2485	昭和 11年	1936	北原阿智之助当選依頼の書簡	選挙事務所より飯田町へ
2486	昭和 11年	1936	選挙依頼の書簡	戸田由美より関川一実へ
2487	昭和 11年	1936	木下信氏の選挙依頼の書簡	木下信より関川一実へ
2488	昭和 11年	1936	謹賀新年 選挙用ハガキ	下伊那民政倶楽部より関川一実へ
2489	昭和 11年	1936	小塩完次氏の当選依頼のハガキ	石井虎秋より関川一実へ
2490	昭和 11年	1936	選挙用ハガキ 北原阿智之助への依頼	千代村林完次より関川一実へ
2491	昭和 11年	1936	小塩完次選挙依頼の手紙	
2492	昭和 11年	1936	立候補の御挨拶 有馬淺雄氏	有馬淺雄氏より関川一実へ
2493	昭和 11年	1936	木村直文氏の選挙依頼の書簡	木村直文氏より関川一実へ
2494	昭和 11年	1936	小川平吉の選挙依頼	小川平吉事務所平島安久より関川一実へ
2495	昭和 11年	1936	宮澤胤勇の当選依頼の書簡	宮澤胤勇より関川一実へ
2496	昭和 11年	1936	北原阿智之助の当選依頼の書簡	更級八幡村武井郡一郎より関川一実へ
2497	昭和 11年	1936	選挙用手紙・新聞	北原阿智之助事務所より関川一実へ
2498	昭和 11年	1936	北原先生の当選依頼の手紙	岩田より関川へ
2499	昭和 11年	1936	木下信氏の当選の依頼	上伊那南向村片桐茂一より関川一実へ
2500	昭和 11年	1936	中原氏苦戦のハガキ	

2501	昭和 11年	1936	選挙用ハガキ 北原氏への依頼	千代村松島尚より関川一実へ
2502	昭和 11年	1936	選挙公報	長野県
2503	昭和 11年	1936	例規書類	市田郵便局
2504	昭和 11年	1936	選挙新聞切り抜き (多数)	
2505	昭和 11年	1936	選挙時の新聞13部	他に選挙運動の心得
2506	昭和 12年	1937	市田村税特別税戸数割議決書	
2507	昭和 12年	1937	推薦状 (国防婦人会顧問として)	
2508	昭和 12年	1937	手当連絡書	
2509	昭和 12年	1937	給料請求書綴	市田郵便局
2510	昭和 12年	1937	通信日附印検査簿	市田郵便局
2511	昭和 12年	1937	総選挙の成績	新聞各社の新聞
2512	昭和 12年	1937	伊那史叢説 第二篇	
2513	昭和 12年	1937	中等幾何三角法教科書 上・下	教科書
2514	昭和 13年	1938	昭和十三年度歳入歳出予算書	
2515	昭和 13年	1938	表彰状	
2516	昭和 13年	1938	雑件書類→聴取者統計→ラジオ聴取の禁	
2517	昭和 13年	1938	役員当選通知依頼の件	
2518	昭和 13年	1938	推薦状	
2519	昭和 13年	1938	市田村長宛通知傷痍軍人会	
2520	昭和 13年	1938	大日本武徳会よりの通知	
2521	昭和 13年	1938	下伊那養蠶業組合よりの囑託状	
2522	昭和 13年	1938	市田村農会顧問推薦書	
2523	昭和 13年	1938	大日本武徳会囑託書	
2524	昭和 13年	1938	市田村支部長囑託状	
2525	昭和 13年	1938	臨時農村負債処理委員任命書	
2526	昭和 13年	1938	市田消防組頭を任命書	
2527	昭和 13年	1938	諸給与金交付簿	
2528	昭和 13年	1938	自治功勞者名簿	
2529	昭和 13年	1938	秘密書類綴	市田郵便局
2530	昭和 13年	1938	給与金に関する書類	市田郵便局
2531	昭和 13年	1938	郵便線路図	
2532	昭和 13年	1938	県会議員選挙 下伊那郡選挙区有権者名簿	
2533	昭和 13年	1938	英語教科書	教科書
2534	昭和 13年	1938	新日本地理	教科書
2535	昭和 14年	1939	特別税戸数割議決書 (鹿光寺村)	
2536	昭和 14年	1939	特別税戸数割賦課額変更議決書 (山吹村)	
2537	昭和 14年	1939	県会雑件	
2538	昭和 14年	1939	県会議員選挙雑書類	
2539	昭和 14年	1939	諸届出書類	
2540	昭和 14年	1939	選挙に関する法規	
2541	昭和 14年	1939	府県会議員選挙運動に就て	
2542	昭和 14年	1939	感謝状	
2543	昭和 14年	1939	本会賛助員に推薦する推薦状	
2544	昭和 14年	1939	農地委員会会長任命書	
2545	昭和 14年	1939	告知書 (村長に当選したこと)	
2546	昭和 14年	1939	愛国婦人会市田村分会顧問囑託状	
2547	昭和 14年	1939	当選證書	
2548	昭和 14年	1939	経費に関する書類綴	
2549	昭和 14年	1939	伝馬三状 (借用書)	
2550	昭和 14年	1939	覚 (延享五辰年諸色覚日記借用書) 古島敏雄氏借用	古島敏雄氏借用
2551	昭和 15年	1940	市田陣屋址と陣屋絵図	
2552	昭和 15年	1940	感謝状	
2553	昭和 15年	1940	県協和会支部顧問委囑状	
2554	昭和 15年	1940	特雑件書類	市田郵便局
2555	昭和 15年	1940	給与に関する書類	市田郵便局
2556	昭和 15年	1940	通信日附印検査簿	市田郵便局
2557	昭和 15年	1940	市田陣屋址→4冊と市田陣屋絵図一部	
2558	昭和 15年	1940	市田陣屋址	資料本
2559	昭和 15年	1940	新選大地図 外国篇	地図
2560	昭和 15年	1940	信濃宮宗良親王	
2561	昭和 16年	1941	調停委員選任書	
2562	昭和 16年	1941	年末慰勞金給与の件	
2563	昭和 16年	1941	農地委員会会長任命状	
2564	昭和 16年	1941	青年団団長任命書	
2565	昭和 16年	1941	臨時農村負債処理委員会委員任命書	
2566	昭和 16年	1941	司法保護委員会参事任命状	
2567	昭和 16年	1941	各府会計検査現計表	
2568	昭和 16年	1941	史蹟松岡城址	市村成人著
2569	昭和 16年	1941	史蹟松岡城址	
2570	昭和 17年	1942	事務分掌調	
2571	昭和 17年	1942	樽川改良事務所一覧	
2572	昭和 17年	1942	昭和17年度歳入歳出	昭和十七年十一月九日現計表

2573	昭和 17年	1942	長野県蠶業取締所飯山支所一覧	
2574	昭和 17年	1942	東京日日新聞	
2575	昭和 17年	1942	下高井農林学校一覧	
2576	昭和 17年	1942	蠶糸業一斑	長野県蠶業取締所須坂支所
2577	昭和 17年	1942	上高井農学校一覧表	
2578	昭和 17年	1942	長野県中野農商学校一覧	
2579	昭和 17年	1942	昭和17年度歳入歳出出現計表	上高井地方事務所
2580	昭和 17年	1942	長野県歳入歳出出現計表	須坂中学校
2581	昭和 17年	1942	須坂中学校一覧	
2582	昭和 17年	1942	現計表	長野県立教員保養所
2583	昭和 17年	1942	上高井地方事務所一覧	他に県蚕業取締所須坂支所一覧
2584	昭和 17年	1942	樽川改良事務所歳入歳出出現計表	
2585	昭和 17年	1942	下高井郡蚕糸業状況	他に長野県蚕業取締所中堅支所一覧等
2586	昭和 17年	1942	支那顧問委囑状	
2587	昭和 17年	1942	囑託書 (海外協会協議員)	
2588	昭和 17年	1942	大日本婦人会支那顧問委囑状 (3月6日)	
2589	昭和 17年	1942	大日本婦人会支那顧問委囑状 (4月1日)	
2590	昭和 17年	1942	大政翼賛会支部長委囑状	
2591	昭和 17年	1942	更級地方事務所職員一覧	
2592	昭和 17年	1942	懇願手紙	豊村長より
2593	昭和 17年	1942	船舶運管会船員局長よりの通知文	
2594	昭和 17年	1942	信濃史源考九、十、十一、十二巻	
2595	昭和 17年	1942	児童の健康生活指導の実践的研究	市田国民学校
2596	昭和 18年	1943	調停委員選任書	
2597	昭和 18年	1943	局長手当増給の件	
2598	昭和 18年	1943	森林組合参事囑託通知	
2599	昭和 18年	1943	傷痍軍人会相談役の委囑状	
2600	昭和 18年	1943	当選告知書	
2601	昭和 18年	1943	若人上海へ	船員志望者案内
2602	昭和 18年	1943	新選大地図 外国篇	教科書
2603	昭和 19年	1944	投資信託受益証券	
2604	昭和 19年	1944	借用証書	
2605	昭和 19年	1944	役場日誌 (村長)	昭和十九年二月二十一日より
2606	昭和 20年	1945	運輸通信省より満13年在官給与通知	
2607	昭和 20年	1945	依願免本官	
2608	昭和 20年	1945	玉音放送の原文	
2609	昭和 21年	1946	續 生活指導について 二冊	
2610	昭和 21年	1946	国民学校公民教師用書	
2611	昭和 21年	1946	生活指導について	同じ本二冊
2612	昭和 21年	1946	續 生活指導について	
2613	昭和 21年	1946	新教育指針	同じ本三冊
2614	昭和 21年	1946	新教育指針二、三、四、分冊	
2615	昭和 21年	1946	新教育指針一同じ本3冊	新日本建設の根本問題
2616	昭和 22年	1947	意見書と農地調整貸借ノ件	
2617	昭和 22年	1947	小作契約満期となり双方談合済書類	
2618	昭和 22年	1947	農地調整法第九條第三項に依る許可申請書	
2619	昭和 22年	1947	中等文法 文語	教科書
2620	昭和 22年	1947	英語教科書	
2621	昭和 22年	1947	中学農業 第一学年用	教科書
2622	昭和 22年	1947	学習指導要領一図画工作編	試案
2623	昭和 22年	1947	学習指導要領	試案
2624	昭和 22年	1947	学習指導要領一理科	試案
2625	昭和 22年	1947	学習指導要領一音楽編	試案
2626	昭和 22年	1947	学校体育指導要綱	
2627	昭和 22年	1947	学習指導要領一家庭科編	
2628	昭和 22年	1947	教育心理 上 文部省	
2629	昭和 22年	1947	学習指導要領一国語科編	
2630	昭和 22年	1947	学習指導要領一一般	同じ本二冊
2631	昭和 22年	1947	教育心理 (下)	
2632	昭和 22年	1947	学習指導要領一社会科編	試案
2633	昭和 23年	1948	社会科20 政府と経済生活	教科書
2634	昭和 23年	1948	中等国語 (二)	教科書
2635	昭和 23年	1948	民主主義 上 二冊	教科書
2636	昭和 23年	1948	算数 数学科指導内容一覧表	
2637	昭和 23年	1948	民主主義 上	
2638	昭和 23年	1948	小学校社会科 学習指導要領補説	
2639	昭和 24年	1949	生物化学	教科書
2640	昭和 24年	1949	学習指導要領	試案
2641	昭和 24年	1949	民主主義 下	
2642	昭和 24年	1949	中等学校保健計画実施要領	
2643	昭和 24年	1949	児童の理解と指導	
2644	昭和 25年	1950	学習指導法一小学校社会科	
2645	昭和 25年	1950	続 民主主義のはなし	

2646	昭和 25年	1950	市田村学務委員事務規定	
2647	昭和 26年	1951	世界史精図	教科書
2648	昭和 26年	1951	小学校学習指導要領	図画工作科編
2649	昭和 26年	1951	学習指導要領→一般編	
2650	昭和 26年	1951	小学校学習指導要領→社会科編→試案	
2651	昭和 28年	1953	書簡	
2652	昭和 30年	1955	小学校学習指導要領→社会科編	
2653	昭和 33年	1958	借地證書	
2654	昭和 34年	1959	学習指導要領の展開→小学校家庭科編	
2655	昭和 36年	1961	戸籍謄本→関川家	
2656	昭和 40年	1965	千代村誌	
2657	昭和 42年	1967	文書拝借について（お願い）	
2658	昭和 42年	1967	農地賃借契約書	
2659	昭和 43年	1968	戸籍抄本（関川家）	
2660	昭和 45年	1970	山田靈林禅師様のお話→本堂落慶式→尊照寺	
2661	昭和 48年	1973	覚書	
2662	昭和 38年	1973	土地売買契約書	
2663	昭和 48年	1973	地形図	
2664	昭和 50年	1975	領収証	
2665	昭和 52年	1977	小学校指導要領	
2666	昭和 55年	1980	飯田中学30回の会同級会出席者名簿	
2667	平成 4年	1992	伊那	史学誌
2668	平成 8年	1996	銭屋の歴史（1）（2）	
2669			問屋庄屋年番庄屋源左衛門二村方取締其他の功勞により 苗字御免被成候	
2670			本陣付水野鯉助外十人	料理人、料理人手伝三十一人氏名列記
2671			堀兵庫頭御荷物増人足三人御定賃銭ニラ崎宿より信州市 田宿まで拾四宿取拂戻添書帳	
2672			奉願上候大嶋山川井口分木之事	歎願の控分木の長六尺九寸上下市田村分木の長三尺六寸大嶋山村
2673			割賦廻状	一、人足十七人堀様御家来上市田宿通行の為
2674			差上申一札之事	代助郷高引下げ下さること
2675			奉差上げ一札之事	柿野村被官より柿野村御主人様にお詫びの一札
2676			聴合覚	関川弥次右衛門が幕府役人松平九郎左衛門外三人御米置上の為御越付につき共の御侍過方につ いて
2677			乍恐以書付奉願候	差上候懸御下被成下度
2678			差上申一札之事	問屋七郎左衛門二人より
2679			乍恐以書付奉申上候	此度御上様御下向の御先触につきて打合せ一件
2680			送り状	荷物志狀飯田迄
2681			諏訪知久片桐大嶋系図	
2682			御朱印御證文先触	
2683			駅方人馬繼立見込奉申上候	
2684			三州大樹寺御役僧御下之節繼人足之内通達人足相對雇賃 銀拂戻二付申達並勘定帳	
2685			回章	内国通運会社各宿場へのもの
2686			公私諸荷物繼立規則	
2687			高書上帳	
2688			御料御巡見様御通行についての書翰	
2689			伊奈街道十六宿並二往來の殿方書上	
2690			覚	御檢使御通りについて役割
2691			御返答書	市田役所より御札についての返答書
2692			各宿間勘定書	帳面裏面に日記として触事出来事述べてある読み味うべき一冊也
2693			日記	
2694			日記	村の出来事日記として記す
2695			諸色覚書込帳	日記帳也
2696			伊那一郡歎願書	助郷について
2697			乍恐奉願上候御事	下伊那郡二十六ヶ村木曾四宿助郷についての歎願書
2698			伊那街道上市田宿附属村残高調帳	
2699			覚（日記）	宿場其他
2700			御年貢勘定	其他一括三点
2701			添書 覚	二点
2702			内藤撰津守城下石、家数城下町書上帳	
2703			諸色覚帳	
2704			駅通司様御掛り御先触其他 京都駅通司様関係書類一括	
2705			國二下書袋	柿野村・高町村
2706			御下向之節人足賃銭其外諸雜費書抜帳	
2707			寿明君様御下向被為遊についての御触書	
2708			乍恐以書付奉申上候	中仙道賢川宿外拾ヶ宿占差村の定助郷の義
2709			割賦廻状	
2710			割賦	一、人足八十九人 一、馬拾八疋
2711			割賦廻状	四月十日行 一、馬三疋五月七日行 一、人足拾貳人
2712			割賦	辰十二月廿八日行 一、人足拾壹人
2713			割賦廻状	人足貳拾壹人 壹人 出原村
2714			割賦廻状	五月七日行 一、馬三疋同月十二日行 一、人足七人
2715			割賦廻状	四月廿六日行 人足貳拾貳人

2716		割賦廻状	寅五月十九日行 一、人足拾人同月廿五日行 一、人足拾老人
2717		出原村初割賦廻状	
2718		吉田村初割賦廻状	
2719		割賦廻状	三拾四人出原村、六十七人大島山村、百八人出原村、百七拾五人吉田村、式百四十七人下市田村
2720		割賦廻状	
2721		割賦廻状	
2722		出原村初割賦廻状	
2723		出原村初割賦廻状	
2724		割賦廻状	
2725		出原村初割賦廻状	
2726		割賦廻状	
2727		割符	
2728		割賦	一、人足式百參拾老人（伊那縣叔稅方三沢、飯田藩兵隊、外）通行につき
2729		割賦	人足式拾人（伊那縣安井清彦殿。飯田藩近藤利三郎殿家来。通行につき）
2730		出原村初割賦廻状	
2731		出原村初割賦廻状	
2732		割賦	人足九拾六人
2733		出原村初割賦廻状	
2734		割賦	
2735		割賦	
2736		割賦	
2737		割賦	
2738		牛牧村方先々に早々	
2739		問屋源左衛門への手紙	和三郎より
2740		塩尻宿、北小野宿より南小野～市田迄宿々宛廻状	
2741		毛利謙岐守三戸勇より飯田宿迄先触	継駕御差出の事
2742		廻状	
2743		上市田庄屋へ	
2744		其村兼太郎外三人 下市田村大助の召出状	
2745		覚	宿駕駕人足式人、江戸出立甲州街道を飯田迄の宿々へ
2746		問屋源左衛門祖父忌服につき回答	
2747		問屋源左衛門へ御達	
2748		桜町・原町問屋中への御触	軽尻亮足差出候事上市田問屋へ
2749		御尋につき書付を以て奉申上候	差配人三人より市田役所へ夫人繰出し方について
2750		覚（御達）	近藤織部より原町宿へ
2751		乍恐以書付御敷願奉申上候	御年貢必ず上納致すべき旨
2752		覚	御拂米代金の内受取書なり
2753		覚	鎌計式拾九挺の請取書
2754		覚金式百両也	座光寺村八右衛門より借金の内請取
2755		御達	花水橋掛渡につき助成金
2756		覚	市田役所近山元八より
2757		覚	夫食米代金請取書近山元八
2758		御触	長防の形勢鎮靜せず御領分より郷夫百人御差配下され度旨
2759		覚	村の返納米代金の請求書近山元八
2760		覚	其村諸職人より運上金の請取
2761		奉請取金子之事	夫人及泊宿旅館の内金請取
2762		夫人繰出につき心得方ハヶ条	
2763		乍恐以書付奉願上候	郷夫百四十一人繰出の所。内四十式人は賃錢上納奉願候
2764		覚	道中路用御手当、出府中食料御手当、小使錢等等記す
2765		覚	郷夫の給金等について凡標準記せるもの
2766		御達	人足三十人十月十六日十七日差出スコト
2767		覚	役所御勘定人より金子借用書
2768		市田役所より召出状	
2769		申達儀有之候間	
2770		先触	
2771		御達	本馬五疋軽尻四疋明廿九日江戸表へ差出下され度
2772		御達	来ル十七日殿様外朝罷出につき賄等御世話下さるよう
2773		覚	御役人役割等
2774		市田年番庄屋より五ヶ村庄屋へ廻章	
2775		廻文	牛牧村より早々御順達被下度
2776		廻状	福与村より先々へ早々宗門人別改帳について
2777		手紙	川巡見につき仕度、賄方につき照会
2778		廻状	年番庄屋関川路二右衛門より五ヶ村へ
2779		飛脚の者止宿願入候	左京村御庄屋へ
2780		廻状	市田年番、下市田村外村々へ
2781		秋葉山開帳について	市田年番所より福与村外村々へ
2782		廻状	今田村三組初川手、山牛組等十八ヶ村江早々
2783		廻状	中関村方先々江早々村々当宗門人別改帳十六日迄に差出す事
2784		稲伏戸村、不取銀等、他三村へ	
2785		下市田村方先々に早々	明八日問屋へ御出会下さるべく
2786		中関村方先々江早々急用事	木曾定郷御敷免について
2787		廻状	牛牧村方先々江早々御代官近山元八様御場障のこと

2788		廻状	福与村江早々明十六日閑屋へ御出張下さるべく
2789		廻状	郡中議定書之事、五項目障屋修理其の他
2790		急廻状	御公役様同勢五百人、伊奈郡宿御泊りの赴
2791		廻状	中山分新左工門外六名召連れ御出張下され度
2792		廻状	福与村方先々江早々国鳴様、近山様、御出陣につき御暇迄に出張され度
2793		廻状	牛牧村方先々江早々国鳴様、近山様十五日御登駕につき御暇迄に出張され度
2794		廻状	重要事項についての廻状
2795		廻状	牛牧村方先々江早々明廿八日閑屋にて郡中惣会仕度
2796		廻状	大島山村方先々江早々明廿八日閑屋にて郡中惣会仕るべく
2797		廻状	今田村始先々江早々当宗門改帳差出され度
2798		廻状	今田村方順村先々江早々当宗門人別改帳差出され度
2799		廻状	よしだ村方先々江早々大急用此状着次第郷宿へ御出張下さるべく
2800		廻状	福与村方先々江早々同廿八日朝より郡中惣会仕度
2801		廻状	牛牧村方先々江早々
2802		廻状	牛牧村方先々江御公役様伊那街道筋御下向につき相談致し度
2803		廻状	中関村江郡中惣会仕り度
2804		御触	福与村江殿様御隠居なされ岩殿様御家督につき惣代を以て役所へ罷出につき
2805		御触	長嶺柄山分御庄屋中名前の衆引連れ十九日朝閑屋迄出願するよう
2806		廻状	今田村三組初組々に早々
2807		廻状	福与村え早々閑屋にて郡中惣会開き度につき御出張下され度
2808		廻状	田切村三組へ早々郡中惣会仕り度
2809		廻状	中関村方先々早々郡中惣会仕り度
2810		廻状	今田村方下村外村々え早々金子御持参相成度
2811		廻状	中関村々々々へ早々金子御持参八月朔日御出張下され度
2812		廻状	田切村御庄屋御出張下され度
2813		牛牧村方先々え早々お触	請職人は皆氏子に相成ること
2814		下市田村方先々早々割状市田年番所	
2815		大鳴山村方先々江割状	
2816		下村方平島田村え早々	
2817		今田村中組庄屋中大急用	
2818		牛牧村方先々二早々	
2819		中関村先々江早々	御役所において御條目御読下さる由につき
2820		牛牧村方先々江早々	
2821		今田村外村々庄屋中	
2822		御触書廻文 福与村初	秤の儀について
2823		御触書 中関村初	
2824		百姓常助死亡一件報告書	上市田村庄屋外役人より
2825		廻文 中関村初メ	殿様御登城についての御触
2826		廻文 福与村始め	殿様御登城について
2827		伊那郡寺院名一覧表	
2828		助郷村々	各助郷村の高、賦課人足
2829		写本妙法蓮華経提婆達多品第十二	和本二十枚位
2830		三宿一同申定之覚	市田、大島等三宿にて申合六項目
2831		御訴詔申上候覚	田畑、其の他について御訴訟の事控覚
2832		召連罷出づく召出状	上市田庄屋へ、見廻役名
2833		覚 検地帳目録	
2834		手紙五通	役人より閑屋宛
2835		乍恐以書付奉願上候	市田宿長四郎不行跡につき上市田村より願出
2836		乍恐以書付奉御届候	大地震につき役所へ届出
2837		請取證文 外一点	
2838		市田年番所より割賦状	
2839		請取書、人相書等 十一點	
2840		書翰一括 五點	
2841		覚	下市田村甚四郎、上市田村弥十に対して市田役所より審人申付
2842		郡奉行より差出すべき御触	人足四人内武人山駕籠壹挺、武人筆筒壹棒、軽尻壹疋
2843		郡奉行より御達	人足七人山駕籠二人長持三人筆筒二人
2844		覚	錢五百文受取
2845		覚	甲州道中脇往還花水橋普請助成金請取書
2846		市田役所より召出状	
2847		大屋敷村官兵衛に沙汰に及ばず旨	
2848		市田役所より上市田村外へ御年貢米	御年貢米納入につき
2849		郡奉行より召出状	人足四人、本馬壹疋
2850		上市田村閑屋への御達し	御家老一人郡奉行一人外二十三人出向につき休息所として頼込
2851		殿様御米駕の贈について御願	
2852		上市田小次郎へ不埒至極につき押込の御達	隠居につき相模むべし
2853		御触	殿様御通行につき
2854		受取書其他四拾點	
2855		築草御用二付罷越候道筋場所	下野国、武蔵国、信濃国、外
2856		覚	五十才位の女相果て其の身元につき照会状
2857		駄賃付之覚	惣高數百四十九疋其内訳
2858		米百俵二付老斗壹升八合	市田六ヶ村に割賦したもの、古い文書ですてがたい
2859		書翰	原町弥次右衛門殿へ
2860		覚	各村々の村高調、上飯田より市田六ヶ村に至

2861		村々御蔵米収め方について	
2862		市田役所よりの受取書 十二枚	年貢米其他
2863		御触⇒幕末期のもの	殿様御隠居につき
2864		覚	大宮社地境内出入につき熟談の一札
2865		手紙	江戸東禅寺に外国人住居相立につき騒動
2866		御評定所へ申上候口上	大嶋山二王山について
2867		江戸より信州飯田迄往來並賃銭取立	
2868		御巡見様荷物受取綴	十六枚
2869		寺社奉行支配青木文蔵の紹介状	
2870		雨乞入用割合帳	六ヶ村、合計式貫四拾式文
2871		人馬覚	市田各村、座光寺村、上黒田村、南條、飯田に至る
2872		上市田村と牛牧村と草刈場のことで	
2873		飯田城付山之証状の事	
2874		相定申一札之事	市田宿外十一宿連帯にて御用金都合仕るべく
2875		乍恐以上書御訟申上候	三州より送り出す茶の類尾洲より送り出す、くりわた、宿次荷物と御定め下さるよう願出
2876		乍恐以書付奉申上候	駄賃引下げられ難決致し居候、従来通りに御改め下さるよう願出の下書きなり
2877		此御荷物駄其村より馬出し飯田へ可送届者也	他十通
2878		請取申御先触の事	大嶋町問屋より市田町弥次右衛門へ
2879		御触	冷泉前中納言殿家根村宮内義印用事にて信州に致往來候間
2880		天羽七右衛門様に対する人馬割当案	
2881		陸運賃元賃銭江十三倍増	飯田駅江其他各駅江（市田駅より）
2882		陸運賃	元賃銭江十六倍増市田駅より各駅江
2883		郡奉行より御触	町在に婚禮の祝儀博奕其他について
2884		今般旧錢位御立替に付御賃	御定十二倍、一例新五十銭ハ金札式分二当ル、元百文銭ハ八拾文替 其他
2885		人足賃銭しらべ	子の年四割増
2886		元賃銭覚	市田より飯田駅の間
2887		江戸より酒井修理守様の御通り	人馬不足のため人馬よせ可候馬十疋歩八人下市田村
2888		元賃銭覚	当宿より大嶋迄
2889		記	飯田駅江一里ハ可元賃銭人足、馬
2890		覚	いせ屋藤兵衛より原町長作え荷物繼に受取
2891		賃銭計算書（駅間）	
2892		路金受取の覚	
2893		御定賃銭十倍増	飯田宿江
2894		無賃御用状調二付午四月より賃銭改表	
2895		覚	本馬割増覚一、本馬二疋水野加右衛門何々
2896		相対十八倍増	飯田宿江外
2897		元賃銭共十六倍増賃銭誌	飯田駅江（市田駅占）
2898		覚	元賃銭市田駅より三駅へ
2899		御触	小笠原兵庫江戸發候に江戸別格本馬、輕尻、具足両掛駕籠人足等
2900		御殊宿覚	桔梗屋伝右衛門表座敷入置、次ノ間八畳下の間八畳、立花屋藤兵衛裏座敷十畳次の間八畳等
2901		差出申一札の事	当宿荷問屋株の売買案
2902		差出し申詫書 他一通	小次郎及親類より 小次郎より弥次右衛門へ
2903		諏方下之宮縁起	木版にて十枚
2904		江之嶋大縁起五巻略記	
2905		校正泰平鑑	各大名の役所、馬印あり
2906		貫割高掛帳	
2907		江戸大火	極月晦日夜九ッ時出火罹災大名列記
2908		原町古地図	
2909		寺院名	
2910		御家老中、御年寄、御側御用人・・・	堀公家臣及謀高あり
2911		御若年寄氏名 堀藩	
2912		古文書目録（慶長、文祿、天正）	
2913		去年類焼の際各村々庄屋よりの見舞	
2914		諸国温泉功能鑑（全国巻付）	
2915		寒中見舞文書	
2916		御大名長洲打手被仰付候	松平備前守外三十三名列記
2917		郷夫賃銭支拂明細書	
2918		御用金請取書	
2919		覚	田畑の上、中、下につき取米書上
2920		肥前の国平戸の者朝鮮国へ商に	海上にて見付られ召捕られる
2921		條目	信玄より正覚坊江
2922		伊勢香良洲神社（大神宮）絵図	
2923		年号表	
2924		宇大門境立より奥の方について	
2925		酒及び餅の割付書付	
2926		御触	人、馬、乗駕籠四挺
2927		乍恐御辱に付以書付奉申上候事	不二道の信仰を記せるもの
2928		乍恐以書付奉願上候	下市田村忠八心得違の段
2929		先触	人足五十人但長持本馬七疋
2930		日數四拾七日出府賃銀	
2931		乍恐以書付奉願候	八月大雨にて信州の御領分山崩潰家等
2932		妻籠宿役人中へ	村數惣高懸人數馬數等
2933		市田年番所より郡中総代へ	殿様御家督につき

2934		覚	定納巻筆 溜池巻筆
2935		覚	御拂米代金請取書
2936		覚	御拂米代金請取
2937		乍恐以書付奉願上候	本曾四宿の助郷御免じ下さる願出
2938		市田役所より年番庄屋へ	御年貢米の内百俵御払相成るにつき
2939		市田年番所より田力村庄屋林蔵へ	江戸詰郷夫小兵衛不身持につき
2940		御得替百五拾兩御祝儀	神酒供餅蔵く
2941		宿御取計方御尋に付き申上候	
2942		結婚式五の仕方	
2943		差上申御受書之事	
2944		官兵衛不身持のため離縁	
2945		一札の事	宿役人の内老人早退出府致さすべく一札差入
2946		乍恐以書付奉願上候	持病のため白骨温泉へ入湯仕り度
2947		乍恐以書付御訴訟申上候	難波につき御免相御下げの願出
2948		申上候覚	病身につき閑屋役庄屋役御免除下さるよう
2949		覚	山吹・市田9ヶ村山里共に入会
2950		諸拂方調立勘定帳	
2951		人足、馬等繼立につき先触等	十数点
2952		各宿間人足数及賃銭各月調帳	
2953		御触等三点	
2954		新旧時刻対照表	
2955		人足繼立先触	
2956		繼立人馬賃銭清算帳	
2957		人馬、繼立の先触	数十件
2958		各藩役人果役人等往復人足繼立先触	数十件
2959		人馬、繼立先触	十数件
2960		人馬、繼立の先触	百数十件
2961		人馬賃二倍願書上	数十件
2962		長洲打手被仰付候	備前岡山松平備前守外三十三大名の名前連記
2963		御宿賃銭十倍増書上表	十二倍増の一表あり
2964		国々名山高山道しるべ書付	
2965		産上神縁起	
2966		人馬繼立の先触	式拾通
2967		御茶屋御殿修履見積書	
2968		覚	人馬繼立賃銭書上
2969		徳川崇拝之一文	
2970		杵筑留守居奥津菜隠居見物談	
2971		乍恐以上書申上候	七久保宿許可につき意見を申述べ
2972		伊那街道並道普請について陳情書	
2973		添書、勘定書及上市田三役人帰村御届	
2974		借用証書、請取書等	七点
2975		上市田耕地反別調	
2976		主上御元服御礼被為行恩敬仰出さる	
2977		白山妙理大権現御膳帳	
2978		先触	人馬繼立日程のこと
2979		寅年御年貢米勘定	
2980		午敷米元利書出覚	
2981		戌 上市田町御年貢納拂帳	
2982		不作付改覚 二冊	
2983		上市田村古略図	
2984		人馬繼立日×帳	
2985		人馬繼立日×帳	
2986		人馬繼立記入帳	
2987		諸色覚帳	
2988		人馬繼立帳	
2989		上市田五人組帳	
2990		松平大隅守より細川越中様へ御達し一文	桜田門外の変に関する文書
2991		飯田御城主様御家督につき御祝儀割合帳	
2992		御年貢取集帳	
2993		御触書	
2994		人馬繼立帳	
2995		人馬繼立帳	
2996		上市田村御年貢割付帳	
2997		村吏交代引渡目録書 式	
2998		覚 (家数人数等取調)	天保期
2999		乍恐以上書返答申上候事	常盤潤輔屋敷及垣について
3000		加助郷御付けられてもたえ難く御教し下さる願出	
3001		乍恐以書付御訴訟奉申上候	仲仙道四宿の加助郷の儀御吟味の上御免教下さる様願出
3002		税金集帳 2	
3003		御宿料之通	
3004		送り荷の添状 九点	
3005		人馬駕籠繼立の御先触 三十通	

3006		覚	珍客出向につき待遇方の御先触
3007		先触	江戸道中方信州飯田江
3008		荷物の送状	杉 善太郎外一人より
3009		割賦廻状	
3010		役人よりの請取書等 十三点	
3011		伝馬賃銀関係 五点	
3012		割賦廻文 十点	
3013		人馬駕籠等継立の御触 十点	
3014		見ノ段ノ九九銀百匁ニツキ銀ニメニツキ	
3015		伝馬につき賃銭取調書	
3016		御継立人馬惣辻字	北国街道 柏原宿
3017		田検見下調帳	
3018		御尋二付書付以奉申上候	立人馬について難勤儀願出の一札
3019		二等人馬贖勘定帳	伝馬所
3020		松岡改易後飯田城主歴代記	
3021		御先触 四点	
3022		助郷についての覚書	
3023		中馬につき御普請役より一札	
3024		積積要用集	礼儀儀式作法
3025		御合蓋之式	
3026		鬘斗のた、ム方見本	
3027		合村願書	
3028		御伝馬所諸帳面目錄並人馬触当難形	伊那街道市田宿
3029		上市田村丑ノ御年貢納松	
3030		午仮免状 上市田村 未仮免状 上市田村	
3031		覚 伝馬人足割賦帳	
3032		金式千両惣徳講仕方組帳	
3033		地価再修正之義ニ付歎願書	
3034		観音堂再建勸化帳	飯田以南各村
3035		覚	御肴料請取書
3036		御通達	如果事御通行につき
3037		御返事 伊那県巡村	
3038		明三日御小休之次第	
3039		五ヶ村助人馬勤高覚三	
3040		人馬調達先触 十八点	
3041		萬覚書一括	
3042		覚書一括	
3043		覚 先触	市田陣屋諸星小兵衛出立につき人足駕籠
3044		竹田公(耕雲齋)の歌 返歌	
3045		御触	
3046		弥次右衛門分御年貢調	
3047		十八国主各城主及各石高	
3048		書面約二十点	下書キ多シ
3049		陣屋役人柿沼又四郎書簡	
3050		苗字御免の一札	役所(陣屋)年番庄屋左衛門へ
3051		書簡	陣屋役人津久井又左衛門より関川源左衛門への書簡
3052		小学校世話役連名	但出勤日者一、六、三、八二御座主名原喜市外三十余名
3053		誂本巻別氏名	
3054		学校世話人氏名	
3055		学校属書目並器械簿	
3056		村々庄屋への通知	善光寺参の女の件
3057		覚	
3058		三州黒瀬村よりの書	三枚
3059		盗難ニテ盗まれた六品御届書	
3060		山道一件熟済書	取暖済口証文之事
3061		務川堅次郎より弥次右衛門への書簡	
3062		書簡	十四通
3063		覚	上市田村内立木調
3064		袋のみ(二袋)	学校御布告・村費明細書
3065		覚	松岡氏改易から堀氏までの領主
3066		和歌清書四点	
3067		市田村水利図(井水重点)	
3068		市田・山吹古絵図	
3069		駒場一松本間宿場絵図	
3070		書簡	
3071		條目	
3072		市田宿伝馬之衆	
3073		書簡	小笠原掃部大夫殿
3074		手書地図と村々の氏名の入った文	
3075		市田村の略史	
3076		医師死亡届入袋等	紙片のみ
3077		田九升蒔之田、六拾五兩 一、御陣屋前、代六拾五兩	

3078		各人別上納米の一部	
3079		細方五分通二口取集	
3080		船員募集ノ件	袋のみ
3081		覚	
3082		覚	
3083		御手本	寺子屋のお手本
3084		御下向ニ付御用句書留帳	上部破損
3085		馬三分増別銭取調書上帳	
3086		～下向ニ付捨三八ヶ村入用割合帳	
3087		庭訓往來抄序	
3088		乍恐以書附奉申上候	
3089		一、米三升八合志勺四才閏口十松	
3090		暖證文之事	
3091		覚	
3092		六月廿九日 一、拾式ヶ 北原稲雄様御供共ニ	
3093		寿明若様御通興ニ付諸入用割合之義・・・	
3094		覚	
3095		当御領分之内、南山今田村始三十六ヶ村之者・・・	
3096		取扱口済證文之事	
3097		伊那山論仕掛ヶて気の毒の山五番続・・・	
3098		乍恐以書附奉御訴訟申上候事	
3099		差上申一札之事	
3100		覚	
3101		これやこなたへ御免なれ、是ハ鹿嶋借り取の明神より・・・	
3102		書簡	諦道より奥村弘蔵様
3103		覚	
3104		書簡米二月御上落御住返東海道御旅行之事ニ候	
3105		書簡 多分之内費相掛候義ニ而・・・	
3106		たよりにまかせ一筆しめしまいらせ候誠に恐ひしゆかし 思いくらしまいらせ候	
3107		一札之事	市田里久石衛門より原
3108		書簡 御通行御役之儀、式拾年以來・・・	
3109		書簡 中村久米村百姓共へ可申渡候趣如左山論出入	
3110		借用中金子證文之事	
3111		書簡	久保田安兵衛より関川弥次右衛門様へ
3112		記一、金參拾五円 墓地買戻し料	
3113		書簡 大鳴村と境論有之	
3114		覚	
3115		覚	庄屋伝右衛門より弥二右衛門殿へ
3116		猶以右之通何も御情御出し候	
3117		覚	
3118		吉村氏のこと	
3119		伝馬賃錢の一部	
3120		包紙 表紙のみ	
3121		差出申御請書之事	
3122		書簡	田切弥右衛門より関川弥次右衛門様へ
3123		乍恐以書付奉願奉申上候	
3124		記(木の値段)	
3125		書簡	小森弥次左衛門より
3126		覚	いづみや三四部より原町年番所へ
3127		書簡 三月十日善左衛門重蔵右兩人申候者	
3128		覚	
3129		西教寺分	
3130		右之者勝手不知意ニ付家内召連当分之内村内関川借家・・・	
3131		御下知	
3132		一、今度宿次御訴訟之儀	
3133		書簡	倉田又左衛門より上沼衛門様等へ
3134		乍恐以書付御款願奉申上候	
3135		極月十五日玉屋婚姻祝	
3136		高野山弘法大師一枚起請	
3137		此度飛脚御差立ニ付	
3138		覚	原伝左衛門より関川弥次右衛門様へ
3139		助郷村々	
3140		覚 八月十二日吉田出原大鳴山三庄屋中	
3141		茂吉分	
3142		上市田駅村一札席願覚	
3143		金子請取覚	
3144		片桐宿へ	
3145		覚	
3146		二十八年年始祝集	
3147		覚	外に読み下し文13枚
3148		上 助入足書上 包紙のみ	外に袋一つ

3149		拂方覚 一、金四両老分老朱分飯田郷宿拂	
3150		寺子屋の手本(写し) (名頭、村名、国尺二等)	秋田志げ氏寄贈本
3151		戸籍総計、戸籍月括書類入のみ	袋のみ
3152		も路こし、我朝にもろもろの智者たちの沙汰し申さるハ 観念の念にもあらず	
3153		一、三月廿七日晴(日記)	
3154		借用覚	
3155		東海道、秋葉風来寺、伊勢参宮定宿附	
3156		甲子と釜の口として思いけし何でも吞志に二口、三口、四 口	小林安兵衛様
3157		覚、一、馬三疋 内老尺乗掛、老尺集軽尻、老尺荷物	布施弥市郎手紙 徳沢平蔵より各村問屋名主中
3158		覚	
3159		四ツ乃袖	
3160		建武二年亥歳小笠原貞宗法名開差寺板泰山正宗大居士五 十七死	
3161		覚	
3162		覚	
3163		下畑三畝三分、原畑三畝三分	
3164		覚	
3165		一、其方身持行諸我等氣二応二付、段々異見相加候得共	
3166		覚	
3167		覚一、二月廿八日朝より無尽集銭丑八時より	
3168		乍恐以書付・・・	御役所宛
3169		書簡	文七より弥市左衛門様へ
3170		包紙	包紙のみ
3171		出原村一里塚一件	封筒のみ
3172		借用金覚書写	
3173		唐沢井関係絵図	
3174		拂方分	
3175		縦八人数拾六分八へ米七合五勺扶持ニして高向程ト間、 答テ千式百石也	
3176		秀山堂探題野邑家兄弟	
3177		口に歌に甲子と釜の口として思いけし何でも吞志に二口、 三口、四口	小林安兵衛様
3178		後ノ世に見る人あらばたのしけん志婦紙にせん 是をた のしみ 短智書	
3179		漢詩	
3180		一、金拾両者、片方畑半野	
3181		包紙三枚	包紙のみ
3182		差出申請負一札之事	
3183		御年句	
3184		覚	一部分
3185		本田、新田二かきらす此度之大水二川押いねむさどかり 取申まし・・・	
3186		乍恐以急札申上候	
3187		覚	
3188		一言致啓上候	金子之義当方覚語仕罷有候
3189		覚	
3190		献立	
3191		出原村之与美源介より上ル目安之奉行衆よこめ衆様御引 申上達し候因両方共二進之申候	
3192		覚	
3193		井坪喜平太殿	
3194		覚	
3195		先達申渡置候通村々・・・	
3196		阿嶋より御引移り之節、吉田村拾六人、大嶋山村拾貳 人、出原村七人、牛牧村拾六人	
3197		書簡	下筋四ヶ村より関嶋弥治右衛門様
3198		覚	他に数枚
3199		書簡	上市田村年番庄屋より御役所
3200		小けんミ御引方不作之御免状原町分	
3201		百年の齢を經、今の世までも・・・丹波国大江山酒鶴童 子、信濃国戸隠山の鬼神	
3202		不肖の身	一部分
3203		今度御米被下候二付而難有奉候	
3204		可被相渡米ノ覚	
3205		覚 一、初二而可指出来積り、米高千俵二付米四拾俵ノ さん用二可被仕候	十兵衛より惣村中
3206		一札之事	
3207	午年	上市田村	
3208	寅年	江州矢賀大明神別当不動院	
3209		水戸様より阿部伊勢守様へ鎧甲上下置候	
3210		御仁恵御教小屋江施行明細書、外に近辺隣町施し名前付	
3211		八句陀羅尼 叢叢毘	
3212		只今牧田平兵衛儀明日御着陣候間、御村々是迄之通御 手当可被成候	

3213			曆東方肝ノ職不浄水有ハ肝ノ職へ通シテ肝ニサハリアリ	
3214			落書 関川宗次郎書	
3215			上市田村人数覚	
3216			奉願上候口上書之事	
3217			覚	
3218			覚	
3219			口演	
3220			座光寺村江引付諸人足記	
3221			一高百八十三石六斗式升三合上市田村	
3222			以手紙申入候、打続不正之天氣相御座候へ共相替茂無御座珍重存候	
3223			銀ハ初穂料、錢ハ祠給料	
3224			夏日久三部持久保田多右衛門	
3225			二百八番十分、二百九番十二分、二百十番廿一分、二百十一番廿六分	
3226			覚	
3227			親音分鶴吉金巻兩式分二朱	
3228			にしめ	
3229			御回状右之通り儘ニ受取申候	
3230			乍恐以書付御請奉申上候	
3231			覚	
3232			返々返々も極暑之時節ニ候間、万事御氣を附道中杯ハ別段・・・	
3233			当持錢相場覚	
3234			届	
3235			覚、一本馬八疋、一輕尻式疋	
3236			刻附覚	
3237			為取替申内濟議定之事	
3238			檢地帳一部	
3239			信濃国伊那郡箇原真因	
3240			上市田宿人馬割増請書	
3241			相撲番付表	
3242			雜物	
3243			先達而御咄申置候、賄代金御渡可申候間、明日中ニ御越可被下候、以上	杉崎庄蔵より原町間屋関川源左衛門へ
3244			今便差出候荷数左之通 一、拾六箇	松井林右衛門より関川源左衛門へ
3245			泉惣右衛門義家内一同去月中江戸屋敷出立、引越被候仰付最早今日頃到着之積故罷有候	熊谷伝治より関川九兵衛へ
3246			覚一、荷物式拾四箇 本馬七疋、輕尻式疋	大沢所平より関川源左衛門へ
3247			此度差立候荷数	大津所平より関川源左衛門へ
3248			口上 打続晴天ニ而御同度存候、一寸御越可給候	岩沢武助より関川源左衛門へ
3249			此手紙早々相届可給候	岩沢武助より上市田村茂輔へ
3250			口演 御巡見様今朝御出立御座候間御知らせ申上候	飯田より上市田へ
3251			今便差立候、荷数左之通 一、拾五箇御用分	佐野勝蔵より関川源左衛門へ
3252			此度差立候荷数左之通	松井林左衛門より関川源左衛門へ
3253			申入候然者五郎平、秋三郎小附三ツ外ニ高達行小附老ツ此段申入候	飯井善平より関屋源左衛門へ
3254			一前書 御達之趣承知御請印差出し	
3255			関屋九兵衛江急用有之、尙対差遣候間早々相達可申候	熊谷伝治より上市田村庄屋茂輔
3256			覚 一、中尾一郎様御用御荷物九品右之通儘ニ受取申候	上市田村庄屋甚右衛門より本町宿
3257			一、筵包三拾三箇 一、長持式棹外ニ小附老ツ	松井林右衛門より関川源右衛門へ
3258			申達候、明八日立、御荷物数左ノ通二有之候間、相改兼而達置候通取計可被申候	松井林右衛門より関川源右衛門へ
3259			覚 一、本馬三疋、但箇数拾式 一、小附老ツ	大沢所平より関川源左衛門へ
3260			記 一、式六分四等兼重	
3261			三千九百四拾番 一、田四畝式拾六分	他白紙二枚
3262			タナ田、一、田壹反三畝十一分此收獲米三石二斗八合	
3263			合反別地價内田反別六町七反式分地賃金式千三百円六拾七錢	
3264			西東拾間、西五間四尺反別壹畝廿三分、地價三十五錢金四十錢竹代	
3265			印形持参人員（源三郎、弥平次、孝太郎、伝四郎他二十一一名）	
3266			一番帳 一、反別二七四分八等島岡弥三郎、北原又四郎	
3267			二番合 反別七町壹反七畝九分地賃金二百二拾七圓五十六錢	
3268			記 一、金壹円拾式錢五厘内譯 一、金式朱札四枚民部省塩沢庄治郎	他五枚
3269			百九十番 一、下田式反四七五分、三斗式升 関川惣三郎	
3270			明十一日駒場出立左之泊順ニ罷越候條、得其意宿用意可有之候	
3271			壹等合一、七畝三分弥三郎 一、七畝廿六分同人	
3272			書簡此度無御無心中上度義二付以便願上候得共此者・・・	
3273			覚一先規仕来ニ相成申候ハハ少々之趣意金者差出シ可申候	

3274		昨日申渡候御用御荷物之外二御足輕荷物三箇小付巻ッ参位間左様心得被申候	
3275		都路は五十路餘里	
3276		無尽 掛金 返金 書覚	
3277		奉受取品之事	
3278		書簡一嘆願書	
3279		書簡	村惣代より小次郎へ
3280		覚 金野村惣左衛門より	市田御役所へ
3281		直指人必見性成仏(軸)	西本良高書
3282		記一郷藏へ大黒やより酒肴代など	
3283		郷藏に出した覚	万屋酒店より
3284		覚一銘々御出金の個人名	
3285		関川弥次右衛門への口上書	
3286		回章へ増瑞寺より各村へ	
3287		大島宿より市田宿問屋へ	
3288		貨銭六百三拾二文受取証	
3289		御廻状	中関村より市田役所へ
3290		記一大黒屋より彦藏へのお金の件	
3291		おぼへ	北河原より御役所(市田)
3292		口上代一飯田宿より関川庄屋へ	
3293		覚	駒場村庄屋より市田宿庄屋へ
3294		御廻状	中関村より市田役所へ
3295		覚一御差紙	法全寺村より市田役所へ
3296		覚	長峰、柄山庄屋より原町年番衆へ
3297		覚	中関村役人より下市田役人へ
3298		おぼへ一人足一	各村における
3299		覚	田切村北河原 彦左衛門より
3300		書簡(市田宿御役人中様へ出張先より伝右衛門より)	
3301		覚(原町御村用)	
3302		覚(今田中組庄屋仙右衛門より市田年番御衆中へ)	
3303		覚二通(芋平村より市田宿庄屋と中関村より市田御役所へ)	
3304		覚	中山分庄屋より市田御番所へ
3305		覚	大内三左衛門より上市田庄屋
3306		覚六通	上市田村庄屋
3307		上市田村 清水作右衛門へ	
3308		覚え 六枚	
3309		受取と覚 一通ずつ	
3310		覚 上市田村庄屋中	
3311		覚	
3312		書簡 市田宿御伝馬所御役所へ	飯田宿伝馬所より
3313		覚	上市田御役人へ提出されたもの
3314		おぼへ(おぼへ六枚と口上一枚)	福与村庄屋より
3315		手代より庄屋への書簡	
3316		人足文書の一部	
3317		口上 市田宿御役人中様	
3318		乍恐以書付奉願上候当村三役人より	出原村宝泉寺より書出し
3319		奉獻 賣獅子	
3320		記 上市田村御役人中へ	牛牧木村家より
3321		口上 飯田宿加藤与右衛門	
3322		市田伝馬町問屋へ	
3323		口上	(福与村) 崑一郎より
3324		郷夫人足の依頼	
3325		信州市市田宿問屋へ牛牧村木村氏よりの手紙	袋のみ一通と手紙二通
3326		宗門人別帳提出の一部	
3327		覚(入用品)	
3328		為取替申一札之事	
3329		拝借仕候御米之事	
3330		十一月十四日場所見分之上筋合相究候	
3331		今朝者御奉行様方へ廻り可被申上存候	
3332		乍恐以書付奉申上候	
3333		私共村方百姓市郎右衛門母かや儀当子九十才二相成候二付	
3334		覚	
3335		乍恐以書付奉願上候	裏面村送り一札之事
3336		日本橋より諸方法	
3337		天満大自在天神	
3338		関八州絵図	
3339		街道地図一部	
3340		屠蘇	
3341		観音様御年貢米残り	
3342		穢多屋敷求メ証文	
3343		運送駄賃 人足賃銀之事	
3344		牌屋払下げ先の一部	

3345		呼出状	
3346		宿帳の一部	
3347		覚	横帳の一部
3348		覚	
3349		是迄助合御願書雛形	
3350		阿部播磨守領分	
3351		大鳴へ使	
3352		口添	
3353		郡奉行からの命令	
3354		覚	
3355		大平記綱目大塔宮職鑑	
3356		酒吞童子・・・	
3357		苗字御免の状	
3358		其村願之義差出可申候間願書本紙我等名宛相認出可仕候	
3359		受取一札之事 一、金六兩貳分也	
3360		覚 一、金貳兩千二月かし此利拾貳匁	
3361		口演御通行繁クなり難立大變の事	
3362		口上明日津出し被下候様御願申上候事	
3363		明五日宵岡崎出立の件	
3364		年始のご挨拶文	
3365		金子三両差上申件	
3366		金子利子残金払いの事	
3367		甚暑之節御見舞之事	
3368		年始之挨拶文	
3369		甚寒の節御見舞文	普大寺無一より関川弥次右衛門様伊兵衛様
3370		書簡 亡父三回忌執行	
3371		書簡 当分助郷の件	
3372		書簡	瀧波小八郎から関川弥次右衛門へ
3373		書簡	上柳喜右衛門から関川源左衛門へ
3374		書簡 利足の件	上柳喜右衛門から関川源左衛門へ
3375		書簡	宮下平右衛門より関川弥次右衛門へ
3376		添書 (浮浪為追討多人馬御通行・・・)	
3377		覚 一人足恋人大鳴行	二枚
3378		書簡	亀割坂右衛より弥次衛門様へ
3379		文書一部 (毛利河内守様・・・)	
3380		書簡 (唐傘村佐藤長十郎から)	
3381		御尋に付以書附奉申上候	
3382		上市田地図 (手書)	
3383		記 (借用書)	
3384		今村恭太郎より関川弥一郎への書簡	
3385		墓地の件の書簡	
3386		結婚の持物の上紙をまとめたもの	
3387		奥山半僧坊の像の掛軸 (木版)	
3388		明治神宮奉賛会会員徽章規定	
3389		覚 その他十六通	
3390		地租改正関係	地租改正関係文書多数
3391		所有土地台帳	
3392		殺報轉輪記中	
3393		人足割付帳 (表紙無し)	
3394		御祝控帳 (表紙なし)	
3395		上市田宿家並図	
3396		小学校費出途ノ方扱	
3397		明治初期の上市田絵図面 (未完成)	
3398		書簡	北原森右衛門から関川弥次右衛門へ
3399		書簡	安下楠実から平栗四半次外二名へ
3400		地券取調二用候品 (当時反古也)	
3401		地租改正関係資料	多数
3402		戸主に付免役の者	
3403		上市田から牛牧への入作分	
3404		ろうそくの寄付 (一部分)	
3405		誓約書	
3406		看板 (鉄製)	
3407		字柯・・・、社地上地官林届出見本	外に明治八年六月十九日の布告も有り
3408		地価金	地租改正関係書類 (十枚)
3409		丑暮貫掛り記	
3410		東京麻布より関川弥一郎への手紙	
3411		沓摩原一飯田出張所より六部 (いろいろ有り)	
3412		覚一御通行一勤人足調	
3413		上市田村惣井筋、町・間 調別号左通り	
3414		河野村絵図	
3415		覚	
3416		信州伊那街道堀美濃守御取締所市田宿	

3417		河野村全図	
3418		県道編入願	絵図付き
3419		浅川沿岸農業水利改良計画略図	
3420		生田村勢一覽	裏は絵図
3421		下市田河原堤防略図	
3422		火葬場反別	
3423		覚	
3424		大坂新下りー淨瑠り入費謝礼	
3425		お金集金控	
3426		山中の沢を記した地図ー12枚	
3427		添書・・・今般御一新二付・・・	
3428		義社誘導委員依頼書	
3429		教長権少教正祖父江保忍代理人伊藤勇藏他之袋	
3430		田税第三期十調	
3431		地価等級表	地租改正の折
3432		村限絵図大きさ	
3433		火災御見舞13通	
3434		個人反別帳	
3435		公務告知書類(多数)	
3436		鉄道唱歌	
3437		測量方よりの手紙	
3438		下伊那郡市田郵便局中	
3439		出納帳	
3440		家系図(関川家)	
3441		歴代戸主名(関川家)	
3442		警察部関係委員会意見書	
3443		日誌	
3444		金銭まとめ帳	紙多数
3445		記ー御村用ー一村ごとの出費	
3446		酒とつまみ代を書上げた紙ー多数	
3447		北小路殿が来県する時の役割分担覚	
3448		北小路殿様以下宿泊割当	
3449		陸尺、馬指、茶方、先拂、給仕、間屋詰	
3450		座光寺村より上市田村副戸長へー記	
3451		覚ー万屋酒店より学校へ用立た	
3452		記ー大黒屋、萬屋の記録	
3453		覚ー一豆どや、大黒屋、興呂津屋など	
3454		北野小路殿様、落合様、村松様、青嶋様など人足覚	
3455		御伝馬所御諸郷中様	
3456		一、四百文式升、一、六拾八文とうふ式丁、	半河酒屋→才重郎様
3457		田切かく一、溜池二畝二拾七分、金壺門六拾壹銭	
3458		当県支配所地境杭認方	
3459		手紙を持って行った人名を書いた物	
3460		記、札 晴吉、幸吉、長九郎、重松の諸氏	
3461		メ 二拾九人分賃	包み紙のみ
3462		記ー上市田耕地学校御用本	
3463		書簡	市田宿間屋へ
3464		書簡	大平所左衛門より関川弥次右衛門へ
3465		記ー日記ー関川光保	
3466		切手三升などの書付(三枚他)	
3467		といや源左衛門(木版板)	
3468		上市田村反別地価惣計他多数	
3469		三州愛知県下書類(多数)	
3470		三月二十五日協議問題	
3471		取調帳簿(その他多数)	
3472		長野より入費	
3473		書簡雑文など多数	
3474		解説書 下書きなど多数	
3475		土地についての文書	
3476		乍憑以書付奉伺候	
3477		毎年書出入	紙ひもまとめ10個とばら紙7枚一つの袋に入っている
3478		記	多数で未分類
3479		産神様屋根替入用・学校加入金 蚕玉様造酒料入用・病院加入金 差引帳	
3480		地租改正	
3481		控之内田畑実地記	
3482		地価金千九百廿六円七十七銭	
3483		四百番口 田方之部	
3484		第壹番口 六等 田八畝九分	
3485		田方等級	
3486		冷水除坪数調帳	
3487		畑畔検地一番帳	
3488		地租開進調帳	
3489		田方等級寄	

3490		算法	
3491		記	
3492		出頭書 (本日八月九日説教開謀二附)	
3493		地価掛	
3494		地価決定のための等級づけ	
3495		小麦壹斗八升二合、一、金貳円六十二銭	関川宗三郎
3496		御布告摺拾六部御渡二相成候間御前之通り引立り郵敷 早々御順達可被成候	
3497		地價番付表	
3498		地租改正下調べ報告	
3499		滝ノ入山に関する書類	
3500		ひらがな六行 二十四孝三段目	直江山城守種綱手帳
3501		局長辞令一袋のみ	
3502		国幹会飯田支部趣意並に会則 (その他多数)	
3503		書簡 選挙応援のお願い	木村信より関川老台へ
3504		二・四事件の概要	
3505		長野県大町高等女学校一覧	
3506		穂高地方名所旧蹟概要案内	
3507		長野県豊科高等女学校校舍配置図と職員表	
3508		長野県南安曇農学校職員	
3509		道路橋梁調査表	
3510		物資・配給購入権並切符保管袋	
3511		信濃国の唱歌	関川邦雄が書いたノート
3512		修身引	関川国 (邦) が書いたノート
3513		雑記帳	
3514		作文帳	
3515		稲-灌漑・浸種・塩水搦・淡水搦など	
3516		雑記-勤学の歌など	関川邦雄使用
3517		経済部関係審議案	
3518		体格検査証明書 (十枚)	
3519		大東亜の建設を双肩に担う船員を募る-募集要項	
3520		船員就職許可書 (二十枚)	
3521		関川一実一名氏録の記事	
3522		日本放送協会無線電話聴取規約 (用紙のみ二十九枚)	
3523		火災保険申込書 (用紙のみ)	
3524		任官増俸辞令 (封筒のみ)	他に船員職業紹介所御中の封筒 (十一枚)
3525		書簡	一通は封筒のみ
3526		府縣道米川旦間線実測平面図	
3527		参事会巡視関係一学校其他一覧表 袋のみ	袋の中のもの23袋に整理する
3528		新築祝席順	
3529		新聞記事-原町	
3530		堀兵庫頭休 (宿札)	
3531		堀石見守様御小休 (宿札)	
3532		小笠原豊松丸様御休 (宿札)	
3533		堀石見守様御休 (宿札)	
3534		小笠原兵庫介様御小休 (宿札)	
3535		堀石見守様御休 (宿札)	
3536		六段二重箱	
3537		地券状面 (桐箱)	関川・ノ蔵
3538		特注掛軸入桐箱 (二欠塗り)	
3539		江戸初期以前の交通関係書類借用願	
3540		英語雑誌の一部	
3541		市田村長関川一実氏蔵文書十二通目録	
3542		古文書破損したもの	
3543		字牛麓山他入会について	
3544		会計報告	ガリ版印刷七枚
3545		豊丘村誌上巻の伴野庄コピー	
3546		上市田に存在する物調べ	
3547		関川家系図	
3548		南拾壹間五尺五寸、北拾貳間五尺五寸、東廿壹間五寸、 西拾九間式尺	
3549		関川弥一郎持畑図 (多数)	
3550		上市田種痘完了者九一人、未接種者四人記録	
3551		新築郷蔵添敷地次第宛心待書	
3552		何村 何耕地	
3553		記・田畑総計 下市田耕地分	
3554		綴目 下書の紙	
3555		畑地價附法	
3556		北原氏の選挙依頼	
3557		現在結婚者年令の対照表	
3558		文化元年より出生、死亡、送籍調査表	
3559		田畑荒地	
3560		第何大区何小区 何郡何村農工商	
3561		戸籍月拾届 (提出書類の書方)	
3562		御役人附早見	

3563		上市田戸籍簿の一枚	
3564		推薦状に貴君の名を連ねさせて欲しい。	遠山方景から関川一実様へ
3565		田方収穫地償付法	
3566		一、田反別式拾壹町三反七畝廿六分	
3567		字間ッ澤換地反別附 上市田村下市田江替地分 横帳	
3568		市田村・田畑・宅地其他民有地収穫地価尋問之儀有之条	
3569		田方 メ老町三反九畝十四分、四百七十五門七十四銭	
3570		甲府県より竹佐に匂送り軽罪人出奔入用留	
3571		山林野について第拾九大区市田村	
3572		村情大概	
3573		第拾九区老小区 市田村	
3574		征露大捷雙六	
3575		伊勢神社園面	
3576		村位等級及改正修正収穫反米表	
3577		記（戸籍帳などその他帳簿類名）	
3578		田反別・宅地反別など	
3579		村吏交代引渡目録書	
3580		等級仕訳	
3581		作文手本	
3582		生活改善共働会のピラ	「汗だ！意気（ココロ）だ！節約だ！」
3583		高压炊事器のピラ	
3584		信州姥捨山縁記	
3585		園原和歌集	
3586		水路分枝図	
3587		宅地図三枚	
3588		助伝馬人馬御扶持米	
3589		記（日記メモ）	
3590		記（二月九日租税金取集など）	
3591		農家の協同と肥料	農林省
3592		畑皆納（返す分）	
3593		善光寺と姥捨山名所また一つ湯河原温泉	
3594		天龍川水門工事園面	
3595		武徳殿建設趣意書	
3596		大島川上流山の地図	
3597		メモ書（九名の名前あり）	
3598		表封筒のみ（多数）	
3599		富草郵便局よりの書簡	
3600		陸上大会出場援助金集の趣意書	
3601		信濃地図（個人書地図）	
3602		祈場の御祝儀	
3603		上（駒場村の内、大野分）	表紙のみ
3604		街道の人足代	
3605		勉強したことを覚え書留めメモ	
3606		鐘鑄原での運動会作文	
3607		六景をよんだ和歌	
3608		新報	
3609		妙法蓮華教教典	
3610		仏の名前十三名書かれている	
3611		諸買物帳	
3612		ゴム印（十九個）	
3613		天龍川上流河川改修工事訂正説明書	
3614		天秤一式	
3615		木で作られたシャモジみたいな物	
3616		封書・書類をまとめた袋など（中身なし）	
3617		ふすま書はがし①（三枚）	
3618		ふすま書はがし②（二枚）	
3619		ふすま絵はがし（六枚）	
3620		知久龍崖書（七枚）	
3621		復命・日常など一部	（全体はよくわからない）
3622		是秀居士筆の遠磨園	
3623		ふすま書のはがし（四枚）	
3624		書簡（六通）	
3625		書簡	
3626		書簡（十六通）	
3627		書簡	松昭院役僧より原町宿御役人中
3628		書簡	吉田村庄屋より上市田村問屋様
3629		書簡と覚	喜左衛門より問屋様
3630		書簡	左保伴右衛門より関川弥次右衛門様
3631		書簡	弥右衛門より関川弥治衛門様
3632		書簡	鳴田権三郎より関川弥治右衛門様
3633		書簡	稲川政右衛門より
3634		書簡	北原久蔵より関川弥治右衛門様
3635		書簡	吉田庄屋より問屋弥次右衛門様

3636		書簡	関川弥次右衛門より関川彦三郎様外
3637		書簡	中山沖右衛門より関河源左衛門様
3638		書簡	岩崎佐兵衛より関川源左衛門様
3639		書簡	北原金助より関川弥次右衛門様
3640		書簡	宛名等不明
3641		書簡	大ノ分庄屋廣吉より立花屋藤兵衛様外
3642		書簡	木下新一郎より弥次右衛門様
3643		書簡	木下新一郎より弥次右衛門様
3644		書簡	山岸□□より関川源左衛門様
3645		高掛公役金割合帳	
3646		書簡 (一部分)	江戸芝巻丁目永之介より関川弥次右衛門様
3647		書簡 (一部分)	弥次右衛門・塩澤伊兵衛より市田御役所へ
3648		覚	専照寺世話人より原町問屋様
3649		覚	木□□屋酒店より関川様
3650		覚	さ□や八代吉より問屋様
3651		覚	原町□□屋より関川様
3652		覚	
3653		書簡	片桐三左衛門より関川源左衛門様
3654		覚	大黒屋仁右衛門より登以屋様
3655		書簡	市田年番より林次郎左衛門様
3656		書簡	忠作より関川弥次右衛門様外六人の村役人様
3657		書簡	塩瀬善次郎より関川弥次右衛門様
3658		書簡	中嶋清七より福与太郎左衛門様外四名様
3659		書簡 (一部分)	竹上いん居より関川弥次右衛門様
3660		書簡	矢沢長三郎より関川弥次右衛門様
3661		覚 (一部分)	
3662		書簡	宮田弥右衛門より関川弥次右衛門様
3663		覚	□□佐助より関川弥次右衛門様
3664		書簡	小原喜右衛門より関川弥次右衛門様
3665		書簡 (一部分)	宛名等不明
3666		口上	専照寺より問屋源左衛門様
3667		書簡	岡田亥兵衛より弥次右衛門様
3668		書簡	□子新七より関川弥次右衛門様
3669		書簡	関川弥次右衛門様
3670		書簡	源太郎より御署様
3671		追加文	手紙の追加文か
3672		書簡	藤田弥七衛門より関川源左衛門様
3673		書簡	宮下平左衛門より関川弥次右衛門様
3674		書簡	市田局関川より新井兄
3675		書簡	関川弥次右衛門様
3676		書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
3677		書簡	岩崎七郎兵衛より関川弥次右衛門様
3678		書簡	喜七郎より関川源左衛門様
3679		書簡	源左衛門より大洞友右衛門様
3680		書簡	森谷平五郎より関川源左衛門様
3681		書簡 (年数早見四部)	庄兵衛より関川源左衛門様
3682		書簡	丹羽揚三より関川源左衛門様
3683		書簡	池上啓龍より関川弥次右衛門様
3684		書簡	五右衛門より関川源左衛門様
3685		書簡	北原喜右衛門より関川弥次右衛門様
3686		書簡	矢沢彦右衛門より関川源左衛門様
3687		書簡	唐沢利左衛門より関川弥次右衛門様
3688		書簡	長沼左重太より関川弥次右衛門様
3689		書簡	殿岡屋喜七郎より関川源左衛門様
3690		書簡	北原森右衛門より関川弥次右衛門様
3691		書簡	上原六左衛門より関川様
3692		書簡	池上新左衛門より関川源左衛門様
3693		書簡	忠作・勝左衛門より関川弥次右衛門様
3694		書簡	小□衛門より関川様
3695		書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
3696		書簡	京都千本御中屋敷忠作より関川弥次右衛門様
3697		書簡	内村磯吉より関川弥次右衛門様
3698		書簡	源□より関川弥次右衛門様
3699		書簡	源左衛門より関川弥次右衛門様
3700		書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
3701		書簡	鈴木次三郎より扇屋忠作様
3702		書簡	平沢弥二郎より関川弥次右衛門様
3703		書簡	村沢角蔵より問屋源左衛門様
3704		書簡	与十郎より武藤虎助様
3705		書簡	北原勝三郎より関川弥次右衛門様
3706		書簡	大澤所平より関川源左衛門殿
3707		覚	近藤平格内岩村藤兵衛より飯田より内藤新

3708		書簡	北原豊太郎より北原勝太郎様
3709		覚	八千屋庄平より上田村庄屋源左衛門様
3710		書簡	新井村 北原武右衛門より関川源左衛門様
3711		書簡	名子村 関川兼次郎より関川源左衛門様
3712		書簡	岩淵口法より関川源左衛門様
3713		書簡	今村文□より関川源左衛門様
3714		書簡	東須久右衛門より関川弥次右衛門様
3715		覚	関屋弥次右衛門様
3716		書簡	成瀬金三郎より原町宿門屋様
3717		書簡	北原森右衛門より市田宿関河弥次右衛門様
3718		書簡	こんや仙左衛門より源左衛門様
3719		書簡	乍失礼書状を以一筆啓上致候
3720		書簡	座光寺岩五郎より関川弥次右衛門様
3721		書簡	牛牧村貞造より関川弥次右衛門様
3722		書簡	丸田屋欽兵衛より関川源左衛門様
3723		書簡	長沼八六より関川弥次衛門様
3724		大相撲之節人馬賃錢	六月十三日分
3725		書簡	山吹今村文庫より関川源左衛門様
3726		飯田御役所御用定	
3727		覚	
3728		書簡	山吹家今村□□より関川弥次右衛門様
3729		口上	水口や政八より関川源左衛門様
3730		書簡	法全寺村重左衛門より関川弥次右衛門様
3731		書簡	原八十二より関川源左衛門殿
3732		書簡	山田栄蔵より関川弥次右衛門様
3733		書簡	小木曾武兵衛より関川源左衛門様
3734		書簡	木本久次郎より関川源左衛門様
3735		書簡	木本久次郎より関川源左衛門様
3736		覚	関川御氏 六右衛門
3737		覚	向井康三郎より関川源左衛門殿
3738		書簡	石神後泉より関川弥次衛門様
3739		書簡	名古屋村名主より原町門屋様
3740		書簡	今村文庫より関川弥次右衛門様
3741		書簡	北原勝太郎より関川弥治右衛門様
3742		書簡	奥山圓平より関川弥次右衛門様
3743		覚	
3744		書簡	今村文庫より関川弥治右衛門様
3745		書簡	宮下平右衛門より関川弥治右衛門様
3746		書簡	田切伝右衛門より関川源左衛門様
3747		書簡	大原より関川様
3748		書簡	五右衛門より弥次右衛門様
3749		書簡	長沼八六より関川弥次右衛門様
3750		書簡	北原森右衛門より関川弥次右衛門様
3751		書簡	打沢村與左衛門より関川弥次右衛門様
3752		書簡	北原勝太郎より関川源左衛門様
3753		上納方割合	
3754		南岳大師無常偈	
3755		書簡	木村民蔵より原町門屋へ
3756		書簡	岩崎佐兵衛より関川源左衛門様
3757		書簡	大原より関川様
3758		覚	□□勝助より関川源左衛門様
3759		書簡	専勝寺より原町源左衛門様
3760		書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
3761		書簡	大手町宮下宗兵衛より関屋九兵衛様
3762		書簡	新井原 林治郎左衛門より関川弥次右衛門様
3763		書簡	飯岡喜七郎より関川源左衛門様
3764		書簡	山田栄蔵より関川弥次右衛門様
3765		書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
3766		書簡	保助より関川様
3767		通知	桜町門屋より原町門屋へ
3768		書簡	明嶋忠助より関川弥次右衛門様
3769		書簡	藤田弥右衛門より関川弥次右衛門様
3770		書簡	かつをより関川様
3771		書簡	勝太郎殿御家内元日朝出産致し無難御座候 御安意可被下候
3772		書簡	部奈園蔵より関川源左衛門様
3773		書簡	打沢村堅左衛門より関川源左衛門様
3774		書簡	林村カミや嘉兵衛より清水様
3775		申迄も無之候得共成丈夫なベニて大水にて少しづつ御入御うで可被下候	酒屋より あねさまへ
3776		書簡	山吹村今村文庫より関川弥次右衛門様
3777		書簡	岩崎長十郎より関川弥次右衛門様
3778		覚	一、式駄金弥 一、四駄左源次

3779		富士山下より上迄九里あり此間敷及依ヲ並依敷石敷ニ合半割渡シ人数間幾何	
3780		書簡	北原勝太郎より弥次衛門様
3781		書簡	安吉より弥二右衛門様
3782		書簡	都竹彦七より閑屋弥次右衛門様
3783		書簡 暑中見舞	齊藤権蔵より閑屋弥次右衛門
3784		書簡	中嶋吉治より閑川源左衛門様
3785		書簡	かつはらより閑川弥次右衛門様
3786		書簡	岩崎七郎兵衛より閑川弥次右衛門様
3787		書簡	清口舎より閑川雅君様
3788		書簡	平右衛門より原町閑川源左衛門様
3789		書簡	藤田伴右衛門より閑川弥次右衛門様
3790		書簡	阿久澤権平より閑川源左衛門様
3791		先日森右衛門殿以御無心申入候所御聞届被下候趣承り忝仕合奉存候	
3792		血くね、大こん、小んにゃく、さかな	
3793		牛牧村往還筋九丁廿三間、但座光寺村境より上市田村境迄	
3794		口演 甚寒二向ひ候得共文吉様方御情静之由	
3795		来十四日、十五日両日之内朝五ッ時より九ッ時迄	長瀬五郎衛門・野原半三郎・閑屋新助より村々庄屋中へ
3796		書簡	松嶋又右衛門より傳右衛門様
3797		書簡	新井村矢沢彦右衛門より閑川源左衛門様・田切長九郎様
3798		封筒のみ	部奈園蔵より閑川源左衛門様・塩沢伊兵衛様
3799		此先触其宿ニ止置当人着之・・・	阿久澤恒士から閑川源左衛門殿
3800		(手紙) 拝借した品早々御返済可申上候	飯田平左衛門から閑川源左衛門
3801		其村々飯田大都屋御金抱御小人召抱候間、右勤候様有之候ハハ私宅江罷出候様被申付可被下候	
3802		明十四日清信院初七日達一夜相当ニ付刻限四ッ半時・・・	牛牧村弥三郎、下黒田村仙左衛門、原町源左衛門、上黒田村やす、座光寺村栄左衛門
3803		書簡	宮脇権右衛門より閑川弥次右衛門様
3804		書簡	弥次右衛門様
3805		書簡	宮内口太郎、岩淵忠作より弥次右衛門様
3806		書簡	右京より閑川様
3807		書簡	大次口二郎より閑川弥次右衛門様
3808		書簡	膳左衛門より閑川弥次右衛門様
3809		書簡	丸太屋歎兵衛より閑川弥次右衛門様
3810		書簡	北原勝太郎より閑川弥次右衛門様
3811		書簡	矢沢長三郎より閑川弥次右衛門様
3812		書簡	北原勝太郎より閑川弥次右衛門様
3813		書簡	弥兵衛より唐次新三郎様
3814		日本略史	

3815		徒然草参考 五	
3816		写真と絵はがき	
3817		絵はがき	
3818		絵はがき	
3819		十八史略訳語大全(中)	
3820		学校体育の指導要領	
3821		青年学校小学校の問題一家事科における	
3822		日本家庭教育訓	
3823		英語教科書一PART(1)	
3824		用文例	
3825	江戸より明治	暦	十三冊
3826	江戸時代より明治	暦	十五冊
3827		萃勸愚鈔上(妙)	
3828		奇談梅草紙 卷之二	
3829		妙法蓮華經 卷第五	
3830		妙法蓮華經 卷第八	
3831		妙法蓮華經 卷第七	
3832		妙法蓮華經 卷第四	
3833		妙法蓮華經 卷六	
3834		妙法蓮華經 卷四	
3835		妙法蓮華經 卷第六	
3836		猿跳など運動行動図	
3837		坐禅和贊	
3838		和歌食物本草 卷之下	
3839		浜真砂五右衛門一代記	
3840		銭湯親話 ①②	
3841		吉野郡女楠	
3842		謡曲本	
3843		武士訓	
3844		田村磨 鈴鹿合戦	
3845		奇談このはな草子一巻之三	
3846	江戸時代	御前義経記	
3847		日域要言内花王花一二編	新軒趣意書
3848		玉簾前蟻訣(たまものまえあさひのたもと)	道春館巧の段
3849		極彩色線扇一八ツ目中離別の段	
3850		問答集一(男問・老僧答)	B5版
3851		小夜中山鐘由来	
3852	明治	刪修近古史談	
3853		小学読本巻七・八	
3854		中等教科漢文読本巻之一	
3855		往生へ成沸問答書	
3856		日本王代一覽 卷之六目録	
3857		木版本一和本(建武の新政の話)	
3858		日本王代一覽 卷の七	
3859		祖来先生答問書中	
3860		楠正成の話	
3861		義仲の話	
3862		問答集(男問・老僧答言)	
3863	江戸時代	小幡小平次死霊物語	
3864		江戸ヨリ御荷物参候	子九月廿四日 市田伝馬町へ
3865		御差紙之事(虫喰)	
3866		觸書	
3867		割賦	村入用之儀外
3868		輪章(回状)	助郷免除願二付惣代東京行入用
3869		乍恐以書付奉歎願候	人馬賃銭再値上げにつき
3870		書簡	
3871		乍恐以書付奉願上候	当御支配元棚倉領分金子貳百八拾兩上納
3872		覚	人馬継立先觸れ
3873		助郷諸雜用入用帳ひな形	御下向之節中仙道定助郷当分助郷
3874		勤高人馬割仕状帳ひな形	御下向之節何宿定助郷当分助郷
3875		覚	御陣屋御普請につき献納金外
3876		廻章	陸運会社出張所等設立の件
3877		原由及慣行成跡	明治十三・四年頃か
3878		第九番学区牛牧学校之義	上市田村の憂慮
3879		合村願書 筑摩県権令永山盛輝殿	
3880		私立学校設立伺	牛牧広呼小校
3881		地引帳総計精算表	南第拾九大区一小区伊那郡市田村
3882		上市田・牛牧・出原・大嶋山・下市田・吉田戸長役場之印	
3883		市田郷枝村之分り候事字	
3884		女大学	貝原益軒先生述
3885		百人一首	

3886			宇集便覧	八畫九畫
3887			日本王代一覽	
3888			倭王篇 卷下	
3889			書翰消息揃	自筆本
3890			庭訓往来	自筆本
3891			別書(書簡文)	
3892			信濃国名所古蹟高附絵図	木版印刷
3893			村名・町名他御手本	関川弥次右衛門の筆跡
3894			郵路往来	
3895			近郷寺院	
3896			節句幟の寸法	
3897			頭書秘傳之名法	田中家関川瑞光
3898			田方新旧反米反地價各村比較表	三十二ヶ村分
3899			先觸れ(御普請役上條要助)	駒場方
3900			先觸れ(萩野寛一様)	
3901			書簡	部奈団蔵方
3902			書簡	関川弥次右衛門方部奈団蔵へ
3903			書簡	部奈団蔵より
3904			書簡	部奈団蔵より
3905			書簡	福与・中山・部奈・峠
3906			書簡	関川源左衛門様 福沢 治方
3907			書簡	市田宿問屋弥次右衛門様 飯島手先栲杖屋傳右衛門様 大沢常五郎
3908			廻状	陣屋修理のこと
3909			書簡	北原森右衛門方関川弥次右衛門へ
3910			書簡	片桐慎一郎方弥治右衛門へ
3911			書簡	片桐慎一郎方弥治右衛門へ
3912			書簡	中塚量平方弥治右衛門へ
3913			書簡	中塚量平方弥治右衛門へ
3914			書簡	今村豊三郎方弥治右衛門へ
3915			書簡	座光寺右京外五名方原町庄屋へ
3916			書簡	安養寺養山方宗閣へ
3917			書簡	福与六郎左衛門方弥治右衛門へ
3918			書簡	津久井又左衛門方弥治右衛門へ
3919			書簡	弥治右衛門方片桐慎一郎へ
3920			書簡	津久井又左衛門方弥治右衛門へ
3921			書簡	松尾佐次右衛門方弥治右衛門へ
3922			書簡	北原喜右衛門方弥治右衛門へ
3923			書簡	橋都新九郎方弥治右衛門へ
3924			乍恐以上書奉願上候御事	
3925			覚	
3926			覚	
3927			譲渡一札之事	
3928			先渡申細之事	
3929			覚	
3930			書簡	北原森右衛門
3931			乍恐以書付御訴訟申上候御事	雛形
3932			扱證文之事	大瀬木山一件
3933			人相書	
3934			秋葉寺役より上市田へ	
3935			覚(鎮守大神御降屋氏神への寄附)	
3936			覚(初期飯田城主)	
3937			諸事覚書	
3938			廻文を以申上候	市田年番所より福与村等へ
3939			関河家記録用市田駅関書	
3940			三月三日桜田外騒動荒増書取左之通り	
3941			神護山長久寺ト上飯田村百姓吉右工門ト公事ノ覚書	
3942			信州飯田町屋覚書	
3943			人相書	
3944			継人馬印鑑	
3945			立入人取扱方覚書	
3946			高木伊勢守様より御廻状写	
3947			覚	井水掛け方につき年取村へ遣はしたる書翰
3948			中弥五右衛門から源左工門宛書簡	
3949			関川弥次右工門宛書簡	式通
3950			上市田宿家並図	
3951			人足役付覚	御駕籠付・先拂・長持付・問屋場帳付等
3952			什物之覚	
3953			関川家過去帳	
3954	明治4	1871	高札 定 何事によら須よろし	二月 太政官
3955	明治4	1871	高札 定 一切切支丹宗門之儀者	三月 太政官
3956	明治3	1870	高札 御達と申定	午 三月
3957			宿札 堀兵庫頭休	

